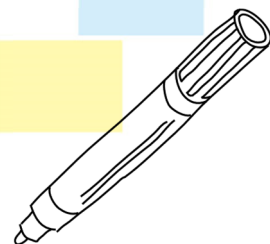


**ぬまづ
地域デザイン
ワークショップ**



平成 31 年 1 月

沼 津 市

目次

1	第1回ワークショップのまとめ	
	西部地域（原・浮島・愛鷹）	1
	東部地域（金岡・大岡・門池）	4
	中央西地域（今沢・片浜・第二）	7
	中央地域（第一・第五）	10
	中央南地域（第三・第四・大平）	12
	南部地域（静浦・内浦・西浦・戸田）	15
2	第2回ワークショップのまとめ	
	西部地域	19
	東部地域	22
	中央西地域	25
	中央地域	28
	中央南地域	31
	南部地域	34
3	市長へのプレゼンテーション（地域の将来像）	37
4	市長講評・意見交換の概要	
	西部・東部地域	43
	中央西・中央地域	47
	中央南・南部地域	51
	記念撮影	57
5	参加者アンケートのまとめ	61



1 第1回ワークショップのまとめ



第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

原

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

海岸沿いが楽しめる

- 原海岸のサイクリング、ジョギング
- 千本浜までのコースが最高!
- 景観がすばらしい
- ヒックアップもできる、グラウンドゴルフもできる

水がきれいでおいしい

- 水がきれい
- 水を汲みに来ている人が大勢いる。富士山からの湧き水が無料!
- 水がおいしい

夏まつりの花火がすごい!

- 花火がすごい!
- 規模は小さいが夏まつりの花火が◎

歴史資源がたくさんある

- 歴史的遺産もある
- 白鷺さんの松陰寺に行くが、お寺に素晴らしい秘蔵がある
- 赤こう会の人が大勢来ている
- 白鷺さんの藤などやっている
- 有名なお寺がたくさんある
- 小学校では地域の語り部の話を聞く機会がある

自慢できるお店がある

- コンビニが多い。田舎の街なのにお店が充実している(奥国城通り)
- 温泉もある
- カイネスホームが広くて楽しい
- 高島酒造が富士山からの地下水を使用している。
- 水がおいしい
- 炭豆腐店も有名
- 風間カラオケに行っている

若い人に歴史・文化継等が知られていないので、伝えていかねければならない

- × 若い人に歴史・文化継等が知られていないので、伝えていかねければならない

静かで住みやすい

- 静かで住みやすい
- アパートが多い
- × アパート住人は地区の行事に参加することができない。自治会の会員ではない

子どもの遊び場が少ない

- × 圧倒的に子どもの遊び場が少ない!
- × 子どもを車に乗せて富士市まで出てしまう。市内は駐車場が少ない

道に危険がある

- × 夜通暗すぎる(駅からの細い道)
- × お年寄りの自転車のマナーに問題がある
- × 1号線ハイパスへのトンネル内の危険自転車を多々目にする

川が大雨時汚れている

- × 大雨の時、沼川のゴミがとても多い

情報発信が弱い

- × 情報発信が弱い(特定世帯向けの)

少子高齢化している

- × 子どもが少ない
- × 子どもが居ても将来は外に出てしまうのではないか
- × 核家族化が進んでいる
- × 高齢化が進んでいる

子どもを見守るつながりがある(保育園〜小学校)

- 原町保育園が素晴らしい
- 先生達がすばらしい。人気があり、入りにくい?
- 近くの小学校に入るので、原町保育園に通っていた
- 原小、原中に通学していた

地区のつながりが強い

- 人がいい(動着しているときよく話しかけてくれる)
- 地域のつながりがある
- 仲間意識が高い
- PTAの役員をやっていた
- コミ出しを協力している
- 町内会の役員もやってきた
- 地区のお祭りに参加している

高齢者の見守りがある

- 高齢者への前ましをやっている
- お年寄りのお助け隊に登録した

2. 校区のまちづくりの方向性

原

海岸沿いを利用しやすくする

- ◇ 海岸沿いに駐車場を整備する
- ◇ 海岸沿いのコースを紹介するパンフレットを作成する
- ◇ 海岸に入る道が細くわかりにくいので、案内板があるといい(原海岸)

海を活かしたイベントを考える

- ◇ 年に1回ビーチバレー大会をやった方がいいと思う
- ◇ K-mixで三保海岸の掃除+地元のおいしいものを食べるイベントやっていた。原でもやりたい

歴史資源への関心を高める

- ◇ 歴史資源に関心を持っていてる人を増やしたい
- ◇ イベントがあると一時的に広まるが、時がたつと忘れられてしまう
- ◇ 昔の人の話を聞いて残していきたい(地震の話など)
- ◇ 歴史を勉強する会などあれば、参加する子どももいると思う
- ◇ 昔遊びを小学校で教えてくれた。奥国寺城まで遠足に行った
- ◇ 伝える場、語り部の保存をすすめる(狩野川台風の話等も)

水くみ場は地区で守りたい

- ◇ 水くみ場を道の駅に整備してはどうか
- ◇ 地区内の水くみ場は地区の人で大切に守りながら使いたい

地元のお店を応援する

- ◇ 地元のお店を利用して応援していく(高島酒造の河津桜エキースの入ったお酒など)
- ◇ 高島酒造さんに喋らせて人を呼んでもらい、周りの商店にも人が増えるといい(試飲など)
- ◇ 沼津市民はラブライブを知らない
- ◇ ラブライブの限定シヨップができています

人が集まりやすい場所を作る

- ◇ 人が集まる場所を作る
- ◇ 地区センター、公民館の開放日を作ってほしい
- ◇ 地区センターの利用手続きの簡素化を図りたい
- ◇ 道の駅ができると人が集まるといい
- ◇ 道の駅(くるる戸田のような)があるといい

地区の危険情報を共有する

- ◇ 変電所がある
- ◇ 変電所情報を地区内で共有できるようにしたい

災害時に備えた体制をつくる

- ◇ 防災センターを作る
- ◇ 津波避難タワーを作ってほしい
- ◇ 災害時、要支援者に列する列師ができるのか不安

高齢者の見守り体制をつくる

- ◇ 高齢者の見守りに協力してくれる人を増やす
- ◇ 高齢者向けの交通安全教室を開催する

自治会情報を広く伝えたい

- ◇ アパートの人は自治会に入れない?
- ◇ アパート住人にも自治会の情報が伝わるようにした方がいい
- ◇ 子ども会のつながりもほしいと集団通学・下校からももてしまおうのではないかな



海あり、食あり、宝あり げましまあいのまち原

- I♡HAPA
- つなげよう宝 原
- 海あり 食あり 人あり 原
- 明るく 元氣よく 3<の町 原
- げましまあいのまち 原
- 富士山と駿河の海が見える元氣が出る、はらはらするまち原

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

浮島

1. 校区の現状について ○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

自然に恵まれている

- 自然がいっぱい
- 自然がたくさんある
- 海・山近くて自然がいっぱい
- すぐ山にも海にも行ける
- ひまわりの畑がある
- ひまわり畑

- 景色が良い、山を散歩していても自然から景色をほめられる
- ピオトーブがある
- 湧水が多い
- 水がおいしい

- 野鳥が来る。観察に良い場所が欲しい
- 野生動物に会える（シカ・サル・キジ）
- わりと過ごしやすい気候

興国寺城跡がある（地域資源）

- 興国寺跡
- 城跡があり、これから整備が進むこと
- 古墳がある

コンビニ以外の店が少ない

- 惣外とコンビニがある
- コンビニの移動販売が便利
- × 空き地が多い
- × 地区外へ買い物に行っている
- × 大型スーパーが無い
- × お店が少ない
- × 企業が少ない（少ない）

東名高速は便利、公共交通は不便

- 新東名インターの活用。ラプライブ（アニメ）で成功。イベントに使える場所である
- ネオババイサがある
- 根方バイパス、スマートインターチェンジができて便利
- スマートICが近く、車で移動が楽
- 来年、ショッピングモール（ららぽーと）ができる。バスを走らせてもらえるかも？（もらいたい）
- × 交通アクセスの不便さ
- × 交通のアクセスがよくない
- × バスの本数が少ない
- × 公共交通機関が少ない
- × 移動手段、バス本数少ない。富士市は近くまで岳南鉄道がある
- × 道が水没する

交通事故が多い

- × 交通量が増え、事故が多発している
- × 交通事故が多い（？）
- × 道が凸凹
- × トラックが多く危険

歩行者の安全が確保されていない

- × 子どもの通学路が整備されていない
- × 通学路が整備されていない
- × 夜になると暗くて歩きにくい
- × 夜間の照明が少なく暗い

犬猫の糞書が増えている

- × 近所の猫のフンの処理
- × ノラ猫が多い

ゴミ出しのルールが守られていない

- × 外国人のゴミ出しトラブル
- × ゴミ当番が大変
- × コミの不法投棄が増えたこと
- × コミの指定日以外のゴミ出し
- × カラス（？）がゴミを荒らす
- × 資源ごみの場所が遠く大変

地域コミュニティの仲がよい

- 地域のお祭りがにぎわっている
- 行事に対する熱心さ
- 浮島中の依頼で白井貴子さん作の歌がある
- 浮島の鹿伝説（物語）がある
- 近所なかよし
- 子どもと歩いていてよく声をかけてもらえる（笑顔で）
- × 高齢化。子どもが少ない

2. 校区のまちづくりの方向性

浮島

自然を活用した取り組みを進める

- 緑の多さ、景色の美しさをPR
- 湧水・ラーション（駅）を作っただらどうか
- ひまわり以外にも（コスモス、菜の花等）
- ほとんどの里（観察できる場所）の整備

浮島の特色を活用した名産品をつくる

- 東海大跡地の利用
- 湧水を活用したコーヒーなど
- ゆまづ茶以外の名産品を創り出す！

バスによる利便性を高める（ららぽーとの活用）

- バスを増やせたら良い（個人バス？）
- 駅、ネオババイサ行きのバスなど
- ららぽーとがきたら周遊バスを依頼する
- 小さなワゴン等

道路整備を進める

- 南北のアクセス整備（鉄道、バス、安全な歩道等）
- 岳南鉄道を根方街道沿いに延伸（原or片浜駅近くへ）

安全・安心なまちづくりを進める

- 街灯を増やそう
- 街灯の色の工夫
- コミ捨て場トドア（不法投棄の防止）
- 地域最強の防災システムづくり（シェルター、施設など）

高齢者の力を活用する

- 老人の員守り（夕方安全な場所ですべてお話ししながら参加自由で行う）
- 浮島地区の「なんでも屋」さんを作る

子育てのしやすさをPRする

- 子育てしやすいのもっとアピールしては、保育園が多く、自然もいっぱい
- 子供たちが集まるイベント、施設、会場等を考える
- 地域の情報発信。ITを使った良さのアピール

地域に住んでいる人とのつながりを強める

- 他の地域から転入してきた人にも仲良くしてほしい
- 暮らしについて、外国人への英語でのアナウンス（コミ出し方法英語版等）
- コミュニティ祭りを広くPRし、地元以外の多数参加を促す



自然豊かで 子育てしやすく
みんなイキイキできるまち “浮島”

- 自然豊かにな暮らしやすい町
- 自然豊かで健康を保てる町
- 自然の中で、子供～高齢者まで安心して暮らせる街

- 豊かな自然の中で子育てしやすく、老人もイキイキできるまち
- 自然豊かで子育てしやすい町
- 然と人を活かせる町

- みんなが元気で明るいまち
- 若者男女仲良く住みやすい浮島子
- 街からお年寄りまで便利に住みやすいまち

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

愛鷹A・B

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

豊かな自然環境がある

- 自然が多い (A)
- 緑が多く自然が多い (A)
- 湧水が豊富 (A)
- 静かな環境 (A)
- まちと自然が適度な距離感 (A)
- ほどほど都会、ほどほど田舎 (A)
- 風光明媚であることが自慢 (A)
- 山台から海が見える (A)

生活の利便性が高い

- 病院、個人医院が多く、高齢者には便利 (A)
- 市立病院のドクターヘリが活躍しているよう (A)
- だ (B)
- 温泉 (ニューウェルサンプラ) がある (A)
- 買い物する場所はコンビニでよければ困らない (B)
- 地区センターは地区の中心にあり便利 (B)
- 犯罪はあまりない (B)

- × 病院が近いので仕方ないが、サイレが多い (A)
- × 書店がない (A)
- × 交通の便が悪い (A)
- × バスがなくなるのは困る (B)

スマートインターによる活性化に期待できる

- 愛鷹スマートインターが開通し良くなった (A)
- スマートインターチェンジによる交通の利便性が良い (A)
- スマートインターチェンジによる活性化が期待できる (B)

ららぽーとによる活性化に期待できる

- ららぽーとができること (B)
- ららぽーとができることによる地域活性化に期待している (B)
- × ららぽーとができることによるデメリットが心配 (B)
- × ららぽーとができ、人が集まると治安が心配 (A)

道路環境に課題がある

- × 道路の整備が遅れている (A)
- × 狭いバイパスの早期整備をしてほしい (A)
- × 無走路面が走行しているが、取り締まりが厳しい (A)
- × 道路の白ラインが薄い (B)
- × 一方通行が多く、他県の人が走りにくい (B)
- × 東根路開券の道路整備による環境が心配 (B)
- × 地域の街灯が暗い、間引かれている (郵便局付近を除く) (B)
- × 根方街道の大通りが暗くて不安 (B)

道路が狭い

- × スマートインターが開通して、その真下の道路にカーブが連続している (A)
- × 根方街道が狭い (A)
- × 根方(新旧と中)が怖い (A)
- × 根方線がせまく歩行が出来ない (A)
- × 根方線の横断が怖い (A)
- × 愛鷹スマートインターに向かう道路(赤坂地区)が狭くて大型車両が怖い (A)
- × 田んぼの道路の安全性、狭いので交通量が増えたと困る (B)

渋滞が多い

- × スマートインターによる時間帯の渋滞 (A)
- × 根方街道がららぽーとで渋滞しそう (A)
- × ららぽーとへ行く人が裏道に入って事故が増える (B)
- × ららぽーとへの右折ラインを長くする交通整備 (A)

災害対応に不安がある

- × 災害対応、市の補助金でブロック塀改修 (A)
- × 避難場所 (愛鷹地区センター) の耐震性に問題がある (A)

ゴミのポイ捨て、不法投棄に困っている

- × コミの不法投棄で困っている (B)
- × 田んぼ道にゴミが多い、ポイ捨てで困っている (B)
- × こみ捨てルールをきっかりに、日常的なつながらが限られはじめた (B)

- 環境美化委員長で不法投棄の回収や投棄防止の啓発をしている (B)

行事が盛り上がる

- 何かの行事にはかなりのまとまりがあるように思う (B)
- まちおこしをしようとして行動する人たちがいること (A)
- あしたかローカルマーケット (B)
- コミュニティセンターの木工講座の講師をしている (B)

人と人との関係が比較的良好い

- 人と人とのつきあいが増えればよい (A)
- 親しみやすい (A)
- リタイヤや細工士の関わり合いが世情よりは深いと思う (B)
- あいさつしてくれる人が多い (と思う) (B)
- あいさつする子供にあって (B)
- × 社協に在籍している (B)
- 校区の指導員をしていた (B)
- 組の福祉の仕事をした (B)
- すっと仕込んで、小中は愛鷹だった (B)

- こみ当番で、地域の子どもと会話することが楽しい (A)
- 自治会、PTA等の役員を務めた (A)
- 体委委員として関わっている (A)
- PTA活動、子供たちの声が聞こえない、活動内容が分からない (A)
- 地区の組織をしている (B)
- 地域のネットワークに参加している (B)

2. 校区のまちづくりの方向性

愛のまちづくり

- ◇ 地名 (漢字やめ) に絡めてのまちづくり (A)

健康寿命を延ばす

- ◇ 老人のケアをし、健康寿命を延ばす。例：体操 (A)
- ◇ 高齢化時代にどう向き合うかの施策 (民間、公共ともに) (A)

子育て・教育環境の充実

- ◇ 女性の活躍の場をつくる (A)
- ◇ 子どもが育ちやすい環境 (たなほクラブ)。愛鷹地区センターももっとサポートしてほしい (A)
- ◇ 高齢者ともっとつながりをつくる (たなほCのポランティアなど) (A)
- ◇ 日本の教育、小中学校の充実 (人工芝or天然芝の整備) (A)
- ◇ 地区内に公園がほしい (B)

愛鷹ブランドの確立・PR

バランスのとれた産業振興を推進する

- ◇ 農業、工業、商業のバランスをとる (都市計画の見直し) (A)
- ◇ 個性のある産品の生産物、加工品をつくる。無農薬、規格外の活用 (A)
- ◇ 道の駅、スマートインターロードへ大型トラックの駐車可にし、農産物販売をする (A)

魅力ある土地利用を検討する

- ◇ 地域の個性をアピールするには何が良いか、ランドマークがほしい (A)
- ◇ ららぽーとと病院間の土地の利用方法は？ (A)

商業施設について周知を図る

- ◇ ららぽーとができることによるメリットとデメリットを明確にしていただく。それを近くに生かしている方にちよつとわかりやすくアナウンスする (B)
- ◇ 商業施設の検討段階で、地域住民の意見を聞く機会が欲しい (B)

安全安心なまちづくり

安全な道路整備を進める

- ◇ 道路整備 (A)
- ◇ 歩道の整備 (歩車分離) (A)
- ◇ インフラの整備、道路拡幅を望む (B)
- ◇ 住民が安全に安心して生活できるよう、街灯や道路の整備に努めてもらいたい (B)
- ◇ 春の木幼木園前の歩道を地下道にしてもらいたい (A)
- ◇ 通園、通学用の道路を用意する (朝の1時間だけ車は通れない) (B)
- ◇ 道路の問題 (舗装の傷みなど) を写メして市に送ったら改善してくれるシステムを作る (B)
- ◇ 街灯を増やしてほしい場所のアンケートを取って必要となるように増やす (B)

災害に強いまちづくりに取り組む

- ◇ 災害時の対策。安全な避難所の設置と避難路の確保 (A)
- ◇ 避難所の二次活用 (公園、コミュニティ、見晴らし台) (A)
- ◇ 一人暮らしの人に、どうやって声をかけていくか心配である (B)
- ◇ 災害時の避難所について、市がどこまで指示を出すのか示してほしい。防災教育にも力を入れてほしい (B)
- ◇ 災害時の同無線が聞こえるようにしてほしい (有線にする、ネットで見られるなど) (B)
- ◇ どうしてもここに住みたい！と思えるのが疑問！自己改革も必要だが社会インフラの充実を望みたい (交通アクセス、災害予防、水害対策) (B)

不法投棄対策を講じる

- ◇ こみの分別が面倒で住みたくない。業者に委託してどうか (B)
- ◇ ポイ捨て問題には「監視カメラがあります！」という看板を設置してはどうか (B)

地区内の交流を促進する

- ◇ 挨拶は、自分からしようと思う (B)
- ◇ 地区の中で助け合いを重視したい。優先すべきと思う (B)
- ◇ 住民のつながりをつくるために趣味の作品の発表の場がほしい (市民サロンのような気軽なもの) (B)
- ◇ 老人と若者が同居する方策の提案が、市や地域から欲しい (行政、市民とのタイアップ) (B)
- ◇ 若い人が集まる町になるため、何かを始めよう (ラブライトとかが?) (B)

その他

- ◇ 市長と関わる場を設ける

キャッチフレーズ

未来輝く LOVE town あしたか (A)
安全・安心 愛される故郷 あしたか (B)

- 愛のある、愛の見える街、愛鷹 (A)
- 明るい、安全・未来がある (B)
- 子や孫が自慢のできるふるさと愛鷹 (B)
- 「愛」あしたか (A)
- 個人個人が(ひとりひとり) かがやける街 (A)
- 未来豊かな愛鷹 (A)

- 明るい、安全・未来がある (B)
- 子や孫が自慢のできるふるさと愛鷹 (B)
- 災害に強く事故のない、安全、安心の環境に人と物が活性化する町 (B)

- これからもっと良くなるまち (B)
- 安心の安全。愛されるまちあしたか (B)
- 赤やんからお年寄りまで安心してすごせる安全な町 (B)

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

金岡

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

すこししやすい

- コンビニ、ドラッグストア等増えてきて暮らしやすい
- スキ薬局、ダイソー、オキノ等の店ができています
- 公益性の高い事務所が多い(郵便局など)

- × 地域のお店が少ない
- × 商店街がない(地域のお店がない、チェーン店ばかり)
- × 食ハ物屋さんあまり無い。～20:00にはしまっちゃ

災害に強い

- 水害の心配が無い(津波、川)
- 人が増えている

交通の便が良い

- 沼津駅に近いので交通の便が良い
- 交通の便が良い、東名・新東名のICが近い

- × 公共交通機関(バス)が少ない
- × 駅に出にくい(車が無いと移動できない)

学校が多い

- 学校が多く(小中高)通いやすかった
- × 岡宮からだと小学校、中学校が遠い

スポーツ、散歩を楽しむところがある

- 市街地調整区域。自然が多く、散歩、ランニングしやすい環境
- アスルクラロ沼津がある
- 犬の散歩に良い地域と思う(門池公園)

地域資源が活用されていない

- × 明治資料館。せっかく良い建物なのに、人が入っていないような…。活用を考えた。市民の関心は？

道路環境が良くない

- × ハイパスより北の道路整備(通車時間)
- × 駅前公園と根方道がぶつかる交差点の渋滞(通車時間)
- × 西方面に行くのが不便
- × 交通事故が心配
- × 道が狭んでいる

- × 道路の草刈り→道路へ草が生え出している
- × 茶畑が残っている
- × 道が暗い(街灯少ない)
- × 歩道橋老朽化
- × 街灯が少ない
- × 電柱の地下ケーブル化をちょっと進めてほしい

柔軟な自治会活動ができていない

- × 子供会、中学部、女性部の役員をやったこと→もう少し善身を聞いてほしい
- × コミ捨てルールが厳しく、新しく引っこして来た単身者に伝わりにくい
- × 子供が減った。老人が増えた

地域との関わりがある

- ご近所つきあい。まあまあある
- 元邑歩こう会に参加→知り合いになれて良かった

- 引っこして来たばかりであるが、役員がまわってきてしまったが、知り合いができて良かった
- 校区祭にトランプを貸し出した(父が自治会役員)

2. 校区のまちづくりの方向性

人が集うまちづくり

- ◇ メディカルビルディング構想
- ◇ 特色のある商店街、飲食店の誘致をする!
- ◇ 金岡地区のコミュニティバス! 外に出ることで、元気な高齢者
- ◇ 学校、公益性の高い施設(郵便局、消防局、資料館)の維持・発展

スポーツ、自然を活かしたまち

- ◇ (スポーツ) マラソン大会の開催(少し前に新東名マラソンがあったので)
- ◇ アスルクラロをもっと盛り上げる!!
- ◇ 自然環境の維持、大切にする(活用)
- ◇ ウォーキング大会

安全安心なまち

- ◇ 細くて暗い道路の改善(安全第一)
- ◇ 防災関係への参加

楽しんで参加できる自治会づくり

- ◇ 自治会の運営を改善する(全員が気持ち良く参加する方法を!)
- ◇ 楽しく、自然と取り組みたくなるようなコミ出しの仕組みづくり
- ◇ 地域の人とあいさつ→通学の子供たち→散歩している方々



世代を超えて進化しつづける近未来地区、
KANAOKA

- 。 世代を超えた共生
- 。 若者から高齢者まで豊かに暮らせるまち
- 。 進化しつづけるまち
- 。 人と人をつなぐ近未来地区

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

門池

1. 校区の現状について ○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

まちがきれいで便利だ

- 門池中心にまちがきれい**
- 比較的まちがきれい
 - きれいな門池がある
 - 門池という地域のシンボルがある
 - 静かである
 - 門池周辺を歩いて健康づくりをしている
- ×
- × 公園のトイレが汚いのではいけない。洋式のトイレがあるといい
 - × お年寄りが休憩できるベンチがあるといい
 - × 2年後には、日本でオリンピックが開催される。汚れている汚い所を直していけないと、きれいな日本のイメージから遠く離れる

生活に便利だ

- 病院・スーパーが使いやすい
 - なった
 - 近くのスーパーがあり助かる
 - 基本的に住みやすい(他の街と比べて)
 - 生活するうえで必要なものが身近でそろう
- ×
- × グルメ街道が最近ではクルマ街道

アクセスがよい

- 沼津市内のいるなら所にアクセスしやすい
 - 東名、ハイパス等の車の便が良い
- ×
- × 坂が多く、のぼりがつらい。バスが利用しにくい

水がきれい、環境がよい

- 水が綺麗
- × 下水が整備されていない
- × まちには悪臭が漂うことがある

災害の心配がない

- 災害の心配がほとんどない
- 高台に位置するので水の害がなくいい

道路に課題がある

- 道路が狭い**
- × 道路が狭い。側溝のフタが無い
 - × 道が狭い
 - × 道路が狭くてキケン
 - × 道路がせまい。歩道が確保できない

自転車道がなく危険

- × 自転車道生活するには不便である
- × 自転車が通る道がない
- × 自転車が通る人にやさしくない
- × 道が多い

道路が冠水してしまうところがある

- × 道が水浸しになり、くるぶしあたりまで浸ってしまう。通学路、東高の横
- × 水路にフタがなくて危ない

危険な箇所がある

- × 道が分かりにくい。狭い
- × 道路に電柱が多い

駐車場が少ない

- × 駐車場が少ない

街の中に危険な所がある

- × 築30年経過した空き家が増えた
- × 情報保護があまり出来ていない
- × 街灯の少ない地域が多々ある

地区が頑張っている

- すばらしい行事がある
- 地区でのコミュニティの行事が多い
- 門池まつりに花火大会がある
- 門池まつりとはともなうあった
- 町内会が頑張っている
- 成人式がすばらしい
- 地域の中で季節を感じられる。桜、お祭り
- (門池まつり) 20周年。地域と中学生の関わり
- 門池でのイベント活用方法が少ない。
- 門池の桜のライトアップがなくなってしまうって残念だ。ライトアップを本格的にやってみよう

地区との係わりがよい

- 地区の人たちでそうじをしたりと仲が良く感じました
- 門池コミュニティががんばってます
- 将棋を週3日ほど千本クラブでやっている
- 保護司をやっている
- 体育委員をやっている
- 組長をやっている経験になった
- 補助で役員をしていた
- PTAで広報部長をやっている。幼稚園→中学校も

ゴミの出し方に課題あり

- × 最近、アパートも増え、アパートのゴミはゴミ当座はなわってほしい
- × ゴミの管理(収集場)の木の散歩でフンを片付ける袋を持ってほしい人がいる

2. 校区のまちづくりの方向性

門池

イベントを充実させる

- ◇ 新しいイベントを考えたほしい
- ◇ マルシェやイベントをしてほしい
- ◇ グルメ街道のイベントを門池でできるといい
- ◇ イベントの時期は春がいい

門池の桜のライトアップ

- ◇ 桜のライトアップを復活させたい
- ◇ 入場料金をもらって門池の桜をライトアップし、専門の人を雇ってやったらどうしようか
- ◇ 桜のライトアップは市でがんばって行ってもらい、ボランティアを募集するなら参加したい

ボランティアを募集する

- ◇ 行事のボランティアを募集したら参加したい人はけっこういると思う
- ◇ 大学生を上手に使う
- ◇ 日本大学、沼津高等学校
- ※ 課題あり
- 三島にはネットワークがあるが、なかなかにボランティアだけでは、難しい
- 仕事をしている人にとっては、ボランティアは難しい

環境美化を進める

- ◇ 門池の歩道の雑草がひどい。国・市に言えば対応してもらえらる
- ◇ 地区の一角清掃で早刈りをする
- ◇ 春秋の2回、地区のクリーン作戦を実施している
- ◇ こまごまの収集車の数をふやす
- ◇ 「行き止まり」の看板をもっと見やすく書き直す

わかりやすく情報を伝える

SNS等を活用する

- ◇ インターネット、ライン等の活用
- ◇ インターネットだけでなく、ラインで知らせた方がいいかも?
- ◇ 今はインターネットで情報を知ることができる
- ◇ 空き家を市が買い取り、賃貸棟として安く貸したらどうか
- ◇ インスタグラム、フェイスブックを活用する(地域のコミュニティに)
- ◇ コミュニティですぐに境界がある。市で桜等の観光資源を生かせるような活動をし、広報やSNS等で広めたらどうか
- ◇ 小中学校を活用して地区の情報を知ることができるようにする
- ◇ イベントの情報を知らせる方法があるといい

アニメの活用等によりわかりやすく伝える

- ◇ 情報開示。理解内容、計画、どこまで届いているのか
- ◇ 広報を見ない。市のHPにはイベント情報が掲載されている
- ◇ 広報にアニメを使って頑張っている
- ◇ 広報にアニメのある人にもわかりやすく!
- ◇ 障害のある方達が住み良い、情報伝達のできるまちづくり
- ◇ 障害のある方達がコミュニティを作り話し合い、市などにお願い(困ったことを)していく

地区活動を盛り上げる

- ◇ 地区の人材を活用したい
- ◇ 将棋を学習クラブ等で教えてもらえらるといい
- ◇ 新しく地区に入ってきた人に、親切に行事についての説明や楽しさを伝えられる様に積極的に行事参加していく

腕章を作って活動をPRする

- ◇ 門池地区、散歩中守る会等の腕章をつくる

門池コミュニティの参加者を増やす

- ◇ 門池コミュニティの人数を増やせば
- ◇ 門池コミュニティの人は長年頑張っている。パターナックが決まっている

キャッチフレーズ

にぎわい・交流があり美しい門池
だれにでもわかりやすく安心できるまち

- ふるさとにほころびあふれる街
- "みんぼ"が情報を持って地区をつくり
- 情報が見える化

- クリーンで安全な地区づくり
- 安全な余裕ある道路交通
- 門池の希望。水がきれいで住み良い所、下水工事をいそいでほしい

- 地域の活動が活発な活気のある街
- 地区の意見が通る街に
- 交流を楽しみに思える町

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

今沢・B

1. 校区の現状について

豊かな自然や歴史資源がある

- 昔と比べ、水がきれいになった(B)
- 川沿いの桜がきれい(B)
- 自然がある(B)
- 文化財が豊富(B)
- 沼川沿いの桜並木がキレイ。観光に活かせる(B)
- 富士山が見える(A)
- 沼川沿いの桜、花(彼岸花) (A)

住環境が良い

- 団地のリノベーション・新築で満足(A)
- 住居が増えている(A)
- 住みやすい環境(B)
- 防犯対策が良い。住みやすい(B)
- 駅から近い(B)
- 病院、福祉が多い(B)
- 団地が新しくなった(B)

バスが便利

- 安い物が便利。西友や優でできる(A)
- 近くに買い物する所が多い(A)
- さらばーとがもつとできる(A)
- スーパーコンビニが近くにあり良い。(A)
- 団地が近い(B)
- 店が少ない(A)
- スーパーがない(B)

子育て環境が充実している

- 小・中が近い(A)
- 高校通学に便利(A)
- 小・中学校が同じところにある(A)
- PTA活動が盛ん(B)
- 子ども達が素直・優しい(B)
- 子ども会の会長をしている(A)
- サッカー少年団やお祭りに協力している(A)
- 今沢川の先生(B)
- PTA役員(B)
- 子ども会会長(B)

買い物に便利

- 安い物が便利。西友や優でできる(A)
- 近くに買い物する所が多い(A)
- さらばーとがもつとできる(A)
- スーパーコンビニが近くにあり良い。(A)
- 団地が近い(B)
- 店が少ない(A)
- スーパーがない(B)

道路・踏切に課題がある

- × 歩道が凸凹している。歩きにくい(A)
- × 踏切の閉まっている時間長い(A)
- × JRの踏切が長い(A)
- 団地の周りの道路は歩歩するには私にこっちは歩きやすい場所(B)

防災面の安全・安心に課題がある

- 水害が心配(B)
- 大雨が降るとトプから水が溢れる所がある(B)
- 側溝の水はげが酷い(B)
- 水がつかやまい(低地) (A)
- 大雨が降ると道路に水が溢れる(A)
- 市営駐車場の排水路がつかやま(低地) (A)
- 災害に対して早く放水路を造ってほしい(A)
- 災害の心配が少ない方の地域だと思おう(A)

地域との繋がりが

- コミュニケーションが取れている(A)
- 陣営を持っていて、地域の事に動いてくれる(A)
- 地域の行事が多く住民同士が関わる機会が多い(A)
- 地域コミュニティが盛んで、まとまりがある(A)
- 自治会役員がコミニケーションが良い(B)
- 地区センターができた(B)
- 皆様の笑顔がすてき(B)
- 地域の方々が優しい(B)
- 人が優しい。お年寄りへの声掛けを大切にしている(A)
- 組の役員をしている(A)
- 民生委員をやっていた(A)
- 自治会の役員をしている(A)
- 自治会役員(体育) (B)
- 自治会長(B)
- 自治会長(B)
- 婦人部で清掃(B)

今後の地区活動に向けた課題がある

- × 人間関係が昔より薄くなっている(A)
- × 代間のつきあいが浅い。世代間ギャップ(A)
- × 自治会への参加が偏る(A)
- × 高齢者への参加が少ない(B)
- × 高齢者・独り暮らし等が来れない(B)

水害が心配だ

- 水害が心配(B)
- 大雨が降るとトプから水が溢れる所がある(B)
- 側溝の水はげが酷い(B)
- 水がつかやまい(低地) (A)
- 大雨が降ると道路に水が溢れる(A)
- 市営駐車場の排水路がつかやま(低地) (A)
- 災害に対して早く放水路を造ってほしい(A)
- 災害の心配が少ない方の地域だと思おう(A)

津波が心配

- × 津波の心配がある(A)
- × 地震、津波が来ても避難する所がない(A)

少子高齢化が進んでいる

- × 子どもが少ない(A)
- × 若者が減ってきた(校区祭・祭りの) (B)
- × 支部の人口差が激しい事(B)
- × 少子高齢化(B)
- × 子どもが少ない(B)
- × 老人ホームが近くにない(A)
- 少子高齢化(B)
- 高齢者が増えている(B)
- ことらきサロンのボランティアをしている(A)

2. 校区のまちづくりの方向性

今沢・B

沼川の桜を観光資源として活用する

- 桜祭りを片浜、今沢、原地区で観光化できないか? (A)
- 沼川桜の観光化PR (A)
- 桜祭りにさびやかウォーキングを誘致する(A)
- 沼川を漂川みかみにする(A)
- 沼川の桜の木をしっかりと管理してほしい(A)
- 沼川の桜並木をもっときれいに生長させたい(桜の木の手入れ)(鳥の駆除) (A)

交通の利便性を向上させる

- 道路・踏切の整備を進める
- 沼川遊歩道を片浜ー今沢一原にかけて整備する(A)
- 踏切についてJRと交渉。通過列車によって踏切時間を空ける(A)
- 道路についてMy City Reportアプリの活用、周知を図る(A)

住みやすさをPRする

- 高齢化モデル地区にする。PRして住みやすくなる町にしたい(A)
- 空き家の活用(店・テイクアウト等) (B)
- コンパウトシティであることもPR (A)

公共交通(バスなど)の導入等を検討する

- 100円コインバスの復活(さらばーとが出来るので) (B)
- コミュニティバス(マイクロ)を運行してほしい(B)
- 来朝さらばーとがオーブンするので、片浜駅の利便性が良くなると思う(B)
- 乗り合いタクシーの整備(A)
- 公共交通の整備。沼津全体をつなぐ(A)
- 大型バスを小型に。道が狭く危険(A)
- 片浜駅ーさらばーと間のシャトルバス(A)

高齢者にやさしいまち

- 独り暮らしのおおへの訪問、声かけ(B)
- 独り暮らしの家庭に月に一度の訪問(B)
- 安全確認のために黄色の布ハンカチ等を身やすい所へ結ぶ事と約束していた。体が動く所までだが... (B)
- 地域の声かけ、見回りチームをつくる(B)
- 男性のお年寄りをもっと外出させる方法を考えて(A)

子どもが安心して遊べる環境づくり

- 子どもが安心して遊べる環境づくり(B)
- 学童が放課後過ごす場所を学校内につくれないか? (A)
- 防犯カメラ設置、道路などにもっと増やしてほしい。子どもを声掛けしてほしい(A)

若者が戻ってこけるふるさとづくり

- 都心に出て行った子どもを戻す事ができないか? (B)
- 若者のリーダーに期待(B)

子どもが安心して遊べる環境づくり

- 子どもが安心して遊べる環境づくり(B)
- 学童が放課後過ごす場所を学校内につくれないか? (A)
- 防犯カメラ設置、道路などにもっと増やしてほしい。子どもを声掛けしてほしい(A)

安全・安心なまちづくりを取り組む

- 水害対策の基盤整備を進める
- 大川の整備をしてほしい。桜を使う(A)
- 沼川のゆめせつ工事着工(A)
- 地域の水が出た時に早く排水するために放水路を至急実施(A)
- 沼川放水路に今沢の水害をなんとかできないか? (B)
- 放水路に期待(B)

防災時の対応の周知を図る

- 浸水地区の把握(A)
- 避難場所の確保(津波) (A)
- 津波の訓練をして欲しい(A)
- 防災・防犯体制の強化。防災マニュアルの周知理解(B)

イベントを活用したまちづくりに取り組む

- 今沢まつり。地域良心的。現在は1日だが2日続け開催してほしい(B)
- 小学校PTA親子トーマラソンなど年齢関係なく交流できるイベントをつくる(B)
- 地区センター、中央公園を中心にしてコミュニティをさらに活性化させる。(お年寄りも若者、子ども達とのふれあいの場、イベント) (B)
- 校区祭の運動会の場で体育部が色々と考えているようだが、運動会と限らなくても外のスポーツも考えて欲しい(A)
- いろいろな行事の参加(B)

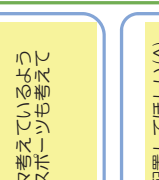
相談機能を充実させる

- 地区センターに市の相談員さんを配置してほしい(A)
- 井戸端会議の促進(B)



若いも若きもすみやすい 桜のまち 今沢(A)
笑顔あふれるまち・今沢(B)

- 誰もかすんでみない町(A)
- 人に優しい地域(A)
- 桜、駅近はかになり住みやすい(A)
- 桜並木、祭りを今沢と原をつなげるとアピールしたい(A)
- もう少し沼川の整備と人を呼び込む桜を使ってにぎやかな町づくりをしたい(A)
- 人が集まる住み良いまち(A)
- 若いも若きも仲良く手を結び沼川の桜を見に行こう! (A)



若いも若きもすみやすい 桜のまち 今沢(A)
笑顔あふれるまち・今沢(B)

- 老人から子どもまでやさしい町(B)
- やさしい心の町(B)
- 皆が助け合い楽しめるまちづくり(B)
- 近郊付き合いができる町(B)
- よい生活の町(B)
- 笑顔あふれるやさしい街づくり。楽しい街。きれいな街(B)
- 安全安心と自然にやさしい街づくり。笑顔あふれる今沢のまち(B)
- 親しみやすい地区今沢(B)
- 子どももお年寄りも笑顔あふれる町(B)

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

片浜

1. 校区の現状について

○ いいこと × 困りごと ● 関わり

生活しやすい

交通の便が良い

○ 沼津駅に近く交通の便が良い (西間門)

買い物に便利

○ コンビニがたくさんある。スーパーもたくさんある
○ ららぽーとへの期待大

自然・歴史が豊か

○ 旧東海道が通っており歴史的な事
○ 古墳がある
○ ショッピングコース (千本松原)
○ 千本松原と富士山が良く見えること
○ 公園があること (片浜北公園)
○ 海岸線があり、景観がよい
× 海のゴミが多い
● 海岸一斉清掃

道が狭くて危ない

× 道路が狭い (生活道路)
× 旧道の歩道が狭い
× 小・中・ elementary とも通学路が危ない
× 朝の交通

道路整備が足りない

× 生活道路の整備がよくな
いこと (旧道～線路)
× 東西の道路に対し南北の
道路がないこと
× 交通が不便

地域の憩いの場が少ない

× 旧道沿いに公園がない
× 校区内に遊べる所がない
× 喫茶店などの店が少ない

コミュニティ活動が活発

○ コミュニティセンターの活動が盛ん
○ コミュニティ祭りがいい
○ 地区センターが市内で一番良い
○ 使いやすい地区センター

● 自治会役員
● 線北の副会長
● 地区の防災員
● 海岸一斉清掃

顔の見えるご近所つきあい

○ ほどよい距離間のご近所つきあいがあ
る
○ 近所との関わりが多い
○ やさしい子どもたち

● 片浜生まれ片浜育ち
● 子どもが片浜中に通っている

× 住んでいる人がかなりかわらないこと
× 空き家が増えてきている

2. 校区のまちづくりの方向性

片浜

地域資源を活かしたにぎわいづくり

◇ 北公園でのイベントを増やす
◇ 海岸線の堤防の有効活用
◇ 片浜地区の真の花火大会
◇ 千本浜の花火大会を復活させる
◇ 各地区の神社を活用した公園整備 (旧道沿い)
◇ 文化財センター跡地を地区のにぎわいづくりに活用する
◇ 車輦基地を利用したイベント

人が沼津に長びくってこるまち

◇ 次の世代の人達 (小中高生) へ地
区の良さを伝える
◇ 若い小中高生の沼津に対するイメ
ジの増進
◇ 各種専門学校の誘致
◇ 夜遅くまでやっているお店が増えて
ほしい
◇ 夜の駅前のにぎわい復活

子ども達が笑顔で暮らせるまちづくり

◇ 安全に子ども達が歩ける通学路をつくる
◇ 駐車場のある公園を
◇ 子どもが集まれる場の創出 (児童図書館など)
◇ まちづくりはものづくりと生活づくり

鉄道高架と関連道路の整備を進める

◇ 鉄道高架をはやく進めて地区の道路の整備
を進める
◇ 鉄道高架進めてもらいたい
◇ 生活道路の整備・舗装道路の徹底

交通アクセスの充実

◇ ららぽーと直通のバスを片浜駅から出す
◇ 駅の近くに駐車場を作る！
◇ 東から来る電車を原まで行くようにする
(×沼津止まり)

キャッチフレーズ

人にやさしく 子どもも大人も楽しめるまち片浜
～未来は君たちのものだ!!～

。 楽しくて明るい街
。 子どもも大人も楽しめる町

。 子どもにやさしい街づくり
。 未来は君たちのものだ!!

。 地域の子どもにやさしい町
。 人にやさしい 住んで安心

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

第三

1. 校区の現状について

○ いいこと × 困りごと ● 関わり

自然環境が豊か

- 空気がきれい
- 海山川の自然がすべてそろっている
- 自然を活用したイベントがある
- 海にも山にもすぐ行ける
- 香雪山ウォーク
- 狩野川マラソン

海がキレイ

- 海岸がキレイ
- 海があり、遊べるところがある
- 魚がおいしい

景色がキレイ

- 景色がとてもきれい
- 香雪山から見える景色、夜景
- 夜景がとてもキレイ
- 富士山がキレイに見える

車でのアクセスが良い

- 伊豆、箱根にアクセスしやすい
- 沼津アルプスへの連絡が良い

公共交通が不便

- × バスの本数が少ない
- × 車が無いと買い物不便
- × 周りのよい所へのアクセスが悪い

災害対策に不安がある

- × 津波の対策がなされていない
- × 東海地震が心配
- × 災害対策の情報がもっとほしい

ゴミが多い

- × コンビニのゴミ、食べかす
- × タバコの吸い殻
- × 空き地にゴミ散乱

子育て環境が不十分

- × 公園がない
- 子供を集めたイベントを行っている
- 子育ても考えて地元に戻った（進学で東京に行った）幼稚園が地元
- 子供がイベントに参加

日常生活に不便がある

- 生活に必要なもの、場所が近い
- × 総合病院がない
- × お店が近くにない
- × 個人商店がへってきたので不便な面がある
- × お店、施設が遠い

若者に魅力的な場所がない

- × 帰ってきてても娯楽が少ない

道路に課題あり

- × 道が狭い
- × 道路のゴミの投げ捨てが多くなっている
- × 側溝の水が溢れてしまう
- × 自転車通行が危険

人とのつながりがある

- 人とのふれあいがありありがたい
- あいさつをしてくれる

- 地域のイベントに参加

2. 校区のまちづくりの方向性

第三

人が集まるまちづくり

若者向けの情報発信を強化する

- ◇ 若い人に見てもらいたいSNSで、景色や地域のよいところを発信する
- ◇ 若者に話題性のある情報発信
- ◇ 若者向けのSNSで沿津をPR。関心を高めてもらう

地域のイベントを活発にする

- ◇ 地域のイベントに参加してみる

子供を中心としたまち

まちをきれいに保つ

- ◇ 海岸線の清掃作業を奨励していく
- ◇ 気が付いたゴミを拾う

子どもが参加する清掃活動を進める

- ◇ クリーン作戦できれいに。交流、子供の学習ポイントカードなどを作って、子供が清掃活動に参加できるようにする

子育て環境を充実させる

- ◇ 自然環境を活用した子育て環境の充実
- ◇ 子ども（小中学生）幼児主体の発表会（地区センター等）を多数行う
- ◇ 公立の幼稚園をつくってほしい

公共交通での回遊性を高める

- ◇ 路線バスは中型化して本数を多くしてほしい
- ◇ 地区循環バス（小型、マイクローバス等）をバス路線外に作る
- ◇ コミュニティバスなど整備してほしい

車でも生活しやすい交通対策を進める

- ◇ 静浦バイパス開通に向けた交通対策を進める

民間企業等と連携したまちづくり

- ◇ 地価が下がっているのを活かして起業家を呼び込む
- ◇ 事業主を誘致する
- ◇ 企業とタイアップ



明るく快適に暮らせるまち

- 赤ちゃんからお年寄り、みんなが快適に暮らせるまち
- 生活楽ちん、明るい町へ！
- 自然と人が育つ町、地域
- 稼げるまち

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

第四

1. 校区の現状について

治安が良い

- 治安が良い
- あいさつがよく贈こえ、互いに声を掛け合っている
- 子どもが中心になって校区＝地区に住みやすい。ベターベストな「フナイキ」
- 地区が住民の「マチ」（会社、企業が牛耳っていない）

自然が豊か

- 狩野川の河川敷が整備されている
- 沿津アルプスの一部の香貫山がある
- 自然が豊か
- 散歩するにはすばらしいロケーション
- 空気がきれい、長生きできそう
- 山が前にあり、鳥の鳴き声が良い

自然を楽しむイベントがある

- 第四地区は親子で楽しむ釣り大会、クイズウォーク、ふれあい祭り等、地区全体が家族的になってとても良い
- 香貫山クイズウォークは楽しいと思っている。以前家族で参加した！

若者が少ない

- × 若者が少ない
- × (我が家もそうだが) 子供の絶対数が時代と共に減少 (仕方ない?)
- × 高校生の遊び場所がない
- × ラブライブに偏見がある?

駐車場が少ない

- × 市役所周辺の駐車場が少ない
- × 駐車場が少ないので人が集まりにくいと思う
- × 文化センターの駐車場に入るための交通渋滞

マナーが悪い

- × 大の散歩で後始末をしない人が目立つ
- × イエローチョークを知らず、地元でも実践しては
- × コミの分別で担当の方が困っている
- × 外国人だろうと言っているのが本当だろうか

住環境に恵まれている

- 駅に近い
- 市役所が近い
- 文化センターがある
- 図書館が近い
- 交通の便が良い
- 病院、スーパー、銀行など近くにある

放送が多い

- 地区の放送が多く何をすらかよく分かる
- × 朝から大きい音で放送されるのは正直キツイ
- × 放送が聞こえない

まちなかに元気がない

- × 沿津仲貝世アークードを新しくしてほしい
- × 中貝世のジャッター街。家賃を安くして若者に夢を!

通学路が危険

- × 通学路は危険?
- × 通学路に木が茂り暗い感じがする所がある

地域とのつながり

- 交通安全運動、防犯のまちづくり活動に参加
- 子供の頃からずっと第四校区で生活している
- 子供3人が第四小中だった(南本郷在住)

- 青少年育成部で、クイズウォークや釣り大会を運営している
- 赤十字担当だった
- 仕事一本(ゴミ出しくらい?)
- 今年も組長。毎日公園で大の散歩をしながらおしゃべり

2. 校区のまちづくりの方向性

香貫山の活用

- ◇ 香貫山の活用
- ◇ 桜を増やす(門地のように)
- ◇ 香貫山にロープウェイで登れたら、多くの人が集まると思う
- ◇ 涼しい夏の夜に、親子、おじいちゃんおばあちゃんで楽しい溢踊り大会をやってほ? (夜店を出して)
- ◇ 香貫山を観光スポットとして地区全体活気ある街にしたい

いつまでも元気で過ごせるまち

- ◇ 第四地区で生涯学習できるサークルを作ってほしい(ハン学習とかカクアオアとか)
- ◇ 年寄りが一人で住んでいても安心な街づくり

交通渋滞の解消

- ◇ 交通の流れの改善
- ◇ 信号機の右(右折)をつける
- ◇ 信号のシミュレーションをできたら、渋滞がなくなると思う
- ◇ 歩車分離の交差点を増やす
- ◇ 文化センターに有名な歌手等にたたくさん来てもらう為にどうしたらよいか、考え、対策を練りたい
- ◇ バス通りを明るく!(ブルーは犯罪減少色)

駐車場の整備

- ◇ 駐車場を屋上、地下を利用して増やしたら良いのではないかと

地震・津波に強いまち

- ◇ 地震、津波の脅威を減らすように安全対策の方針を共有できるようにしたい

子育てしやすいまち

- ◇ 子育てしやすい環境づくり
- ◇ 公園を増やす
- ◇ せせらぎ公園。滑り台があるが他の遊具も置いてほしい
- ◇ 子供が安心して遊べる屋内施設
- ◇ 「子供天国 香貫」憲法。夫婦は子供6人以上

働く場があるまち

- ◇ 働く場。サテライトワークの活用
- ◇ 若者にチャンス!(ジャッター街の活用)
- ◇ 沿津の総算といえは? 代表的な食べ物
- ◇ 外食する店を増やし値段を下げる(働いている方に)

歩きやすいまち

- ◇ 歩道の整備(安全に歩ける、ポコポコしない)
- ◇ 歩道を広く出来たら、歩行者、自転車の不便さがなくなると思う
- ◇ 「住民天国」をめざして、①車走行の禁止 ②自転車に転換

市役所周辺の整備

- ◇ 市役所周辺の整備(文化センター、体育館など)
- ◇ アスルトラロのサッカー場を作ってもらいたい。多くの人が集まると思う

情報発信の強化

- ◇ ラブライブで来た方達の誘い込み
- ◇ SNSで情報発信し共有する
- ◇ 情報発信が少ないので、市のホームページだけではなく、広報をもっと充実した内容でくり返し発信してもらいたい
- ◇ コミ出アプリア(さんあへる)の活用
- ◇ 泊まれる施設を作る。民泊など



宝モノ、見つけるのでなく創るもの…第四

- 快適に生活できている地区
- 自然豊かな安全な街
- 沿津(香貫)の宝
- 宝モノ、見つけるのでなく(皆が)造るもの
- 安心安全。緑の地区第四地区
- 山と海と富士山のぞむまち
- 若者が活躍する自然一杯の街

- 住んでいる人も訪れる人もうれしい楽しい第四地区
- みどりど美顔あふれる町!
- 香貫地区、我が子の時代は天国!以上!
- 安全、安心、活気、便利
- 自然を愛する暖かい街!
- 和楽の地区、第四地区

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

1. 校区の現状について

自然が豊かだ

- 田んぼの風景
- 豊かな自然
- 自然環境が良い
- 沼津アルプス、狩野川

沼津アルプスがある

- 沼津アルプス（トレイル、登山道）

歴史的資源がある

- 中野さん
- 大平新城跡

ウォーキングできる

- 歩くこと
- 地区のウォーキングをしている

交通手段に課題がある

- 東海バスの定期券（ラクラクバス）。1回100円で乗れること
- 大平車庫より新橋までバスで行くことが出来る
- （三島、函南、清水町）他の市町村が隣接している車のアクセスが良い
- × 交通が不便。バスで30分（沼津駅、三島駅）
- × 交通手段（バスの本数等）

街灯が暗くて危険

- × 街灯が暗い
- × 夜道が暗い
- × 街灯の高さ。高すぎて困る

生活環境に課題がある

- × 野焼きがある
- 病院・施設がない
- × 病院がないこと（歯科はある）
- × 銀行がない。郵便局・JIAはある

お店が少ない

- 店が少なくて良い
- × スーパーがない。コンビニのみ
- × 店が少なくて不便
- × コンビニが一軒しかないので買い物に不便
- × 食料品の店舗（スーパー等）がない

幼・保・小・中の連携あり

- 幼・保・小・中の連携

子供が出て行ってしまおう

- × 小中学校の習来
- × 少年高齢化
- 帰りたい場所、「ただいま」の帰りにしていききたい
- 子供が大平に長く住ってくださるような地区にしたい
- 元PTA会長をやっています
- 中学2年に通っている
- 家を建てました！
- 幼・小・中の子供が通っていた
- PTA主任児童委員をやっている

コミュニティ活動の今後が心配

- × 少年高齢化の中、コミュニティ活動の行く先が心配
- 連合自治会の事務局長をやっている
- 民生委員を20年程やっている
- 消防団に入った。3か月の訓練が無事に終わった！

大平

- いいこと
- × 困りごと
- 困わり

農業に係る資源がある

- 新鮮な野菜、米
- × フラワーロードがない
- お父さんが専業農家をしている

車が多く歩行者が危険

- 近年は道路整備が進んでいる（福井さんの醤油屋の風呂とか）
- 96年にはじめて信号がついた
- × 交通量が増えた「通り道」化
- × アルプストンネル後の横断歩道
- × 車の交通量が増えた
- × 車が無いと生活できないところ
- × 南町の交差点の見通しが悪い
- × 車が真ん中を通る
- × 車の通りが多くなり、年寄りの横断が及びない
- × 歩道にデコボコがあり歩きにくい

水害があり不安だ

- × 年に一度くらい水害がある
- × 雨が降ると道が冠水してしまう
- × 道路の排水が悪い
- × 狩野川。堤防が低い。排水方法を考える
- × 水害対策、土石流対策

停電があった

- × 停電、電源
- × 停電の復旧に時間がかかった
- 台風で停電の際、気にかけてくれ連絡をくれた友達がいいた

ゴミ分別・当番が大変

- × ゴミ分別
- × ゴミ当番、ドブ清掃

コミュニティのつながりがよい

- コミュニティに入ること
- 自然にあいさつし合う
- コミュニティ活動が盛ん
- 近所付き合いが良い
- 地域ネットワークサポート
- 大平の子供はあいさつがとてよい
- × 年寄りのことで耳を傾けてほしい
- × 自治会を統合してはどうか？
- × ネットは財政と神仏

2. 校区のまちづくりの方向性

登山道を整備する

- 登山道の整備
- 鷹頭山頂の整備
- 首都圏からお客さんがたくさん来る
- お茶を飲める場所があるといい（駐車場あり）

働く場所をつくる

- 大平内周辺。企業を誘致
- 子供が外へ出て行ってしまおう→働く場所が少ない

道路の安全を確保する

- トンネル（ハイパス）が開通することにより交通量が増すので、交通安全（信号機等）の対策が必要
- 信号、横断歩道の整備
- 道路の整備。ハイパス道の伊豆中央道への連絡

大平を子育てしやすい地区にする

- 体育祭、校区祭、幼小中まとめ1日で大平運動会にする
- 子育て支援サポート（例：子育て中の母子の居場所づくり、特典）
- 大平は私立の幼稚園、保育園だから地域連携の保育を行う

意見交換、見直しの仕組みづくり

- 意見交換できない
- あったらいいなで仕組みはできあがるが、一度できた仕組みはなかなかなくならない

自然を活かしたイベント

- 秋葉イベント
- 沼津アルプスイベント開催
- 自然の中で朝日ガ体験！

農業と関連したイベント

- 野菜などの出店イベント

バスを利用しやすくする。回遊バス

- 伊豆箱根鉄道の駅へ接続するバスの設定（バスや特典（フリーパス等）
- バスの本数は増えないの？

側溝を安全に！

- 出来るだけ側溝にフタをつける

地域の元気なお年寄りに頑張ってもらおう！

- ゴミ当番等は、地域のできる人（ヒマな方）を活用
- 元気なお年寄りに頑張ってもらおう！

コミュニティ活動のスリム化

- 時間、お金、出資が多い
- Oしなきゃいけないが苦痛
- 限りなく最低限必要な…避難訓練（自主防、消防団の連いは？）
- シンブルに考えたい。なんでコミュニティが必要なの？
- ちゃんと理解できていない

イベントの周知を図る

- 沼津アルプスの山頂に商品券を置いておく！
- 沼津アルプスや歴史的資源も多くの人が（市外も含め）が来られるように、駐車場や案内図等の整備

土地利用の規制緩和を行う

- 少年高齢化。外からの居住受け入れ。土地買入れが難しい。市街地調整区域に伴う大平ルールが厳しい
- 荒れ果てた田畑を売ることができない
- 宅地にすれば欲しい人が多い
- と思う
- 地盤が悪くて宅地化が進まない

災害時の安全確保

- ブロック塀対策
- 土砂災害危険区域4区
- 地域の危険な場所を把握する
- 避難場所が分からない時、要支援者の心の不安に対応できるようにする

災害時の連絡を密にする

- 自主防災と災害時の連絡がとれるようにする

本当に望まれるイベント

- 「ためになる」地域行事をやりたい！
- コミュニティ活動、地域行事の見過し
- 生活をよりよくなっていく気持ち。寄り添うこと

キャッチフレーズ 自然に活きるまち Oh!ひら

- 大平利活用
- 自然豊かで住みやすい大平
- お年寄りから幼児まで、安全で住みやすいまち
- 自然と共に生きる町大平
- 自然がスゴイ大平
- 会ったらあいさつ、みんな知り合い

- 住める豊満おひら
- ワフワフ、ドキドキ大平
- 困ったときはお互い様
- 自然と共に生きる町大平
- 自然がスゴイ大平
- 会ったらあいさつ、みんな知り合い

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困りごと ● 関わり

静浦

少子高齢化

- × 人口減少が明らかに進んでいる
- × 夜人が少なくて怖い
- × 街灯を付けてもそもそも人がいない
- × 若い人が少ない

景色がキレイ

- 富士山がきれいに見える
- 元中学校（山）からの景色が良い

インドアで楽しむ場所が無い

- × 室内での遊び場が少ない

生活するのに不便がある

- × バスの本数が少ない（特に西浦・戸田方面）
- × コンビニが近くに無い

消防団の担い手不足

- × 消防団のなり手が少ない
- × ボランティア要素が強すぎて大変
- 消防団活動をやっている
- 消防団をやっていた。子ども会会長、校区長をやっていた

自然に恵まれている

- 人間以外の生き物がいる（シカの鳴き声が聞こえる）
- 気候が一年通して良い

海が楽しめる

- 海が近くいつでも行ける
- 志下海岸（マリンスポーツ、ウォーキング）
- × 志下海岸が汚い（トイレもない。しまっている）

釣りが楽しめる

- 各地から釣り客がたくさん来る
- 釣りスポットがたくさんある

山が楽しめる

- クライミング（沼津アルプスの）
- 沼津アルプス（登山）
- × 獅子浜地区むき出しの（山）崖が多い

水産業が盛んだ

- 水産業・水産加工業が盛ん
- × 柱となる企業・産業が無い

静浦小中一貫学校がある

- 小中学校の見た目
- × 旧静浦西小学校の有効活用（図書館欲しい）

交通環境に課題あり

- × 道が狭い
- × 信号無視（歩行）。道路整備。横断歩道を使わない傾向

情報発信に課題がある

- 映画のロケ地に使われ始めた
- × PR不足。情報発信が下手
- × 新しいことを始めても伝わってこない
- × プラント化できるものも活かしきれない
- × 高齢者はSNSを使ってない

地域内の繋がりが強い

- 人と人の繋がりが強い
- 八幡さんの祭り
- × 言葉がきつい（最初は）

2. 校区のまちづくりの方向性

自然をしっかりと守る

- ◇ 自然を残す。維持管理の仕組みをつくる
- ◇ 清掃活動など自然を守る活動をする

自然を活かしたまちづくり

- ◇ 自然資源を活かした観光業の更なる推進

効果的に情報発信する

- ◇ 全国に発信する
- ◇ プラント化する

公共交通を使いやすくする

- ◇ 交通網の改善（陸…バス・電車。海…フェリー（定期船））

消防団活動がしやすいまち

- ◇ 消防団員に適切な手当を支払える仕組みをつくる
- ◇ 消防団員が確保できる環境づくりをする
- ◇ 消防団の活動を知ってもらう

新しい魅力をつくる

- ◇ 水族館とか目玉になるものがあると良い
- ◇ ラブライブを活かす

旧静浦中を活用する

- ◇ 旧静浦中学校の活用

国外からも人が集まるまち

- ◇ 多様な文化を受け入れる地域。外国人の受け入れ
- ◇ コリアタウンの様なものを作っても良いかも

キャッチフレーズ

人と自然で癒されるまち
国際港“静浦”！！

- 。 交流。人・地域・自然
- 。 国際港静浦！！
- 。 いやしの町

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困ること ● 関わり

内浦

自然に囲まれ空気が水がおいしい

- 空気がおいしい。水がおいしい
- 自然に囲まれている
- 自然が多い
- 温暖な気候
- お寺の鐘が聞こえる

新鮮な食べ物が食べられる

- ミカンがおいしい
- 新鮮なアジがすぐ食べられる

海岸や富士山の眺めが良い

- 長浜あたりから見る富士山がキレイ
- 海岸の景色が良い

買い物に不便

- × お店が少ない。買い物は大人に長岡に行く

観光客に人気がある

- ラブライブで観光客が増えた
- アニメで人気
- 水族館が2カ所ある

公園や地区センターがキレイになって良い

- 地区センターを利用して色々な事が出来る
- 長浜城跡の公園がキレイになった

若い人が少なく人口が減少して将来への不安がある

- × 若い人、新しい会社が少ない
- × 小学生（子ども）の減少
- × 人口が減っている

地震・津波が不安

- × 地震・津波が心配

防災施設が不十分

- × 地震時の高所への階段が少ない
- × 放送が聞こえづらい

歴史的な建物の保全が不足している

- × 歴史的な建物、場所の保全、アビールをやりきれない
- × 三津のトンネル、東条英機の碑開先

道路・交通の便が悪い

- × (特に) 夏に道路が混雑する
- × 交通の便が悪い
- × 自動車が無いと生活に不便
- × 三津坂のトンネルの水溜まり、電気を明るくして買いたい

耕作放棄地、海岸のゴミがあるため改善し欲しい

- × 放置されたミカン園がとても多い
- × 海岸に緑花が欲しい
- × 海から流されてくる海岸のゴミの処理
- × 三津坂の掃除をしている人が、ゴミを捨てる人達が多い

近所付き合いが深い。顔が見える関係が良い

- 作った料理をくれる人がいる
- 小学生がいつもあひさつをしてくれる
- 近所付き合いがあり、区民が分かる
- 意外と閉鎖的でない

校区との関わり

- 内浦で住み働いている
- 消防団・自治会の役員をしている
- 料理教室で教えている
- 内浦小、長井崎中出身

2. 校区のまちづくりの方向性

海岸や道路の環境整備を進める

- ◇ 海岸に花や緑を増やす
- ◇ 果物のモリンゴ、レモンを植える（歩道に）
- ◇ 数人の人達との掃除。海岸など自分が住んでいる地域の清掃
- ◇ 道路のゴミ拾いや草取り

新しいお店が欲しい

- ◇ 新規起業支援
- ◇ カフェや洋食店が少ないので欲しい

市でまちづくりのビジョンを示して欲しい

- ◇ この地域をどうしたいのが市でビジョンを示して欲しい

歴史的な物を保存する

- ◇ 歴史的な物（祭りのお囃子）などの保存

道路・歩道を整備して便利で安全にしたい

- ◇ 自然の歩道整備（農道、ミカン園の道、登山道などを）災害対策にもなる
- ◇ 道路の整備
- ◇ 新しい道路を作る
- ◇ 高速道路からのアクセスを良くする
- ◇ 放水路横の信号（沿道行き）の青を長く
- ◇ タ方ウォーキングしていると道が暗いので外灯をつけて欲しい
- ◇ 車を運転するときに電柱が邪魔なのでどうにかして欲しい

古い物と新しい物が混在した寛容で住み良い町 内浦

キャッチフレーズ

- 改革
- フラゲヤタコもまってるよ
- 新しいまち内浦
- わくわくする未来のある町
- 内浦だよ！全員集合
- 住み良い内浦
- だいたいま。住みたいまち

内浦

名産品を作ってアビールしたい

- ◇ 名産品のアビールががんばって！
- ◇ 干物を流行させる

観光客が増えるような対策

- ◇ 奥駿河の日曜市の店を増やす
- ◇ イベントとかのアビールをもっと頑張って
- ◇ アニメブームを観光に活用
- ◇ 観光地の整備をがんばって

IT産業を呼び込み人口を増やしたい

- ◇ IT産業との関わりを持ってないか（新しい産業）
- ◇ 情報のグローバリ化
- ◇ 文化の融合（既存の文化と新しい文化）

畑を貸すなどの空地・空き家対策を進める

- ◇ 畑の貸付（希望者）
- ◇ 古い建物、空地、畑の有効活用
- ◇ 半自給自足の推進（高齢者等）
- ◇ 空き家対策・移住を活性化して欲しい

崖の補強や避難階段を作り防災対策を強化する

- ◇ 居住地付近の山崩れ斜面の補強
- ◇ 地震避難時の高所への階段を増設

- 古い物（文化や人）と新しい物（文化や人）が混在した寛容な町
- 自然となかよくなる村
- 子供大人も皆仲良く住める内浦
- 海や山とおともだちになれる村
- エコでええ

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困ること ● 関わり

西浦

豊かな自然環境

風光明媚

- 海・山景観
- 富士山がきれいに見える
- 富士山がきれいに!
- 海越しの富士山がきれい
- 空気がきれい
- 星空がきれい

自然を楽しむことができる

- 自然で遊びができる
- サイクリング（ルート）、マリンスポーツ

- × 塩害がある
- × クモが多い
- × ハチが多い

特産品がある

- ミカン産業（発展可能）
- ミカンがおいしい

住みやすい環境

- 老人養護施設がある
- 寝るのに静かである
- 子どもを育てるのに安心して子育てができる
- ゴミ出しがしやすい
- 車の運転が億劫でなくなってきた

生活する上で課題がある

- × 店が無いので買い物が大変
- × 商店がなくて不便を感じる
- × 買い物が大変（特に年寄り）
- × 飲食店街（直売所不要）
- × 病院が遠い、少ない
- × 夜の病院が無い
- × 通学・通院が大変。遠くて時間がかかる

- × 交通が不便（バス）
- × 子ども達の遊び場が意外と危険
- × 一部のラブライバーのマナーが悪い
- × サイクリストの多さ（邪魔）

少子化が進んでいる

- × 子どもが減っている

ご近所の関わりが強い

- 人柄が穏やか（久連）
- 近所の人の顔が分かる
- 近所同士の関わりが強い → 防犯に繋がる
- × 他人の事を気にする
- × 近所との付き合いが無い
- × 友達が少ない

インフラの整備が進まない

- × 道路が狭い
- × 市街化調整区域が外れない
- × 法整備必要（都市計画/国立公園法）

- × 自転車が多すぎない（道路の問題）
- × 海上交通化必要（通学・通学）

自治会活動に工夫が欲しい

- × 話し合いが多すぎて楽しむ時間があつた方がよい（会議など多すぎると）
- × 行事が多すぎて良いが最後は人に押し付ける所がある
- × 歌や踊り“宴会”とかの楽しさが無い
- × 人の意見に“文句”が多い。考え方が遅れている
- × 自治会活動の多さ

2. 校区のまちづくりの方向性

自然を活かした施設を整備する

- ◇ 老人養護施設を誘致する
- ◇ サイクリストの拠点の整備
- ◇ 地元の間伐材を利用したサイクルラックの製作
- ◇ アクティビティの場所や回数を増やす。釣り堀、サイクル、マリンスポーツ

子育て環境を充実させる

- ◇ 子どもの成長（スポーツなど）やれるようにさせて欲しい

安心して住めるまちづくりを進める

- ◇ 安心して生活できるように。教育、就業、健康

情報発信を積極的に行う

- ◇ 景観の良さを紙面のみならずSNSで発信する
- ◇ SNS等のツールを利用して集客し、地元がにぎわうこと
- ◇ 地域に人を呼ぶこと。宣伝
- ◇ 2020オリンピックに向けて海外に宣伝していく

特産品を活用する

- ◇ ヌラ（みかん）をもっと上手にアピールする
- ◇ 特産品のPR活動の活発化

地域の資源を活用する

- ◇ 西浦保育所跡地、木負ミカン小屋、さらさらサンビーチ時期外の活用
- ◇ 空地の利用
- ◇ 花類の沿道整備

交通手段を充実させる

- ◇ 交通の便利性（マイクロバス）
- ◇ 交通の充実。路線バスの便数を増やす、料金を下げる
- ◇ 海上交通化（生活向上や校区拡大。小型船（50名前後）、自転車持ち込み可、毎時受付（5時～23時）等）
- ◇ 法整備、規制緩和を行う

住民の活躍の場をつくる

- ◇ 地元の住民の活躍、活動の場をつくる
- ◇ 個人ではなく、グループになり参加をもっと色々な意見ややり方を参考に（取り入れる）

キャッチフレーズ

未来は幸せ みかんの郷 西浦

- 。 美味しい楽しい安心西浦!
- 。 地域のサイクリング西浦
- 。 球業（農業）と自然活用のベッドタウン化（通学・通学）

- 。 ここに未来がある
- 。 みかんの町西浦
- 。 いなかだっというじゃない
- 。 皆が幸せになれる地域だ!（西浦）

2. 校区のまちづくりの方向性

第1回ぬまづ地域デザインワークショップのまとめ

1. 校区の現状について

○ いいとこ × 困ること ● 関わり

戸田

海がきれい

- 海がキレイ。浜もキレイ。富士山キレイ
- 戸田港がある
- 家の前の湾内でイルカを見た

海の幸がある

- 海の幸。タカアシガニ、深海魚（漁業）
- 海産物（タカアシガニ、深海魚）

有名な農作物ある

- シキビ（お花）の生産地（農業）
- タチバナ（柑橘類）の北限生息地（農業）

地域の歴史がある

- 洋式帆船の発祥の地。ハタ号（歴史）
- 江戸城築城の戸田石（伊豆石）採掘地（歴史）
- 重要文化財松城邸（歴史）

観光業がある

- 釣り船がある。専業で釣り船をやったり、観光向けもある
- 民宿がある。減ってきている
- リピーター多い。東伊豆とは違う素朴さがある

人口が減っている

- × 子どもが少ない。人か少ない（若い人が外へ行く）
- × 人口減少（高齢化）。限界集落に最悪なるのでは

子どもの育つ環境がある

- 自然があって子どもがびのび育つと思う
- × 公園無し（外で遊ぶ所なし）
- 子どもが保育所。来年少学校に入学する

病院がない

- × 病院がない

働く場がない

- × 地元（地域）で働き口を探すのが大変
- 食堂で働いている

ゴミの分別が分りにくい

- × ゴミの分別が面倒。分かりづらい

情報発信出来ていない

- イワシの祭、カツオの祭を新しくやる
- ブランド化できる素材はある
- × SNSが活用出来ていない
- × PRが下手。発信するやり方がうまくない

地域コミュニティのきずなが強い

- 地域の人はいきたい顔を知り？
- × 行政区（合併）により自治会の機能が不十分
- 小・中合同の運動会をやった
- 商工会役員をやっている

PRする

ふるさと納税でPRする

- ◇ ふるさと納税などで発信
- ◇ お得意感・限定感を出してみる？

ハダトロハンパンをPRする

- ◇ トロハンパンはB級グルメになっている

戸田弁をPRする

- ◇ 言葉が荒っぽい。最初に“ばか”がつく
- ◇ “鶴瓶の家族に乾杯”（TV番組）で全国放送された
- ◇ 朝からケンカしているみたい
- ◇ 漁師さんの言葉でもある

自然を守る活動をする

- ◇ 海をきれいにする活動

交通の便を良くする

- ◇ 道や交通の便を良くする

人を活かす

ボランティア活動をする

- ◇ ボランティア活動をする

移住者を増やす

- ◇ 外から来てくれる人は戸田を気に入ってくれる（ジャ乱Qのまこと夫妻が移住してきた）
- ◇ 移住者が多い
- ◇ 来る人は拒まず
- ◇ 地区の人達が開鎖的？
- ◇ 戸田の人は独特（頑張っているのか、頑張っていないのか）

お節介な人を利用する

- ◇ 言いたいことだけ言う。説教ばかりする
- ◇ メリットが無いと参加しない
- ◇ 外の人に意見を聞かない

若い人への情報発信

- ◇ 若い人への情報発信
- ◇ SNSを活用する

地域活動への理解を深める

- ◇ 消防団、夜警署を住民の人から集めている
- ◇ 年始のご祝儀も払って貰えない
- ◇ 苦情の方が多くなる
- ◇ 地元の縁の下の力持ちになっている



とだじやないよ戸田だよ！
ディープ
来てみてわかる深海な港まち

- 来てみてわかる戸田のよさ
- とだじやないよ戸田だよ。沼津じゃないういよ戸田港です

- 西伊豆港のまち 戸田
- ディープな港まち。深海のような心の深さの戸田



2 第2回ワークショップのまとめ



■ 地域の特徴について

○ 特徴

× 課題

西部地域

自然・歴史など

自然に恵まれている

- 自然が豊か(A,B,C)
- 山があり、川があり、海がある(A,B,C)
- 原海岸がよい。釣りができる(A,C)
- 秋空の千本浜のツーリング(A)
- 海岸のPRをした(サイクリング、網引き)(C)
- 富士山からの湧水が多い(C)
- 水道水がおいしく安い(A,B)
- 富士道の桜がよい(A)
- 3校区でそれぞれ特徴を自覚している(B)
- ニューエルサンピア沿岸の立地(A)
- 愛鷹の自然をPRしたい(C)
- × 原は松林がもったいない(C)

海岸や富士山の眺めが良い

- 自然景観が良い(A,B)
- 茶畑、田んぼが広がる環境が良い(A)
- 愛鷹山と富士山の景観がよい(A,B,C)
- 長浜あたりから見る富士山がキレイ(B)
- 海岸の景色が良い(B)

歴史文化がある

- 歴史的なものなどが多くある(A,B)
- 日隠さんの歴史がある(A)
- 源頼朝が馬をとめた古い家がある(A)
- 愛鷹は武田信玄が治めていた(A)
- 源平合戦の場所だった(A)
- 植松家がある(A)
- 興国寺城跡がある(A)
- 静かで安全(A)

道路・公園など

スマートICが整備された

- 交通の利便性が良くなった(C)
- 高速道路へのアクセスが良い(スマートIC)(C)
- ネオハースカがある(A)
- × 基盤設備(インフラ)都市計画の再検討が必要(A)

道路に課題がある

- × 道路を安全な環境にする(B)
- × 道路が狭い(A,B,C)
- × 道路がないまち 幹線道路(B)
- × 根方街道の道幅の狭さ(C)
- × スマートICから、原と周辺の道路整備(A)
- × 原らぼーとによる人口増(風間災害発生した場合)のため、早急に道路整備を(A)
- × ネオハースカの道路が整備されていない(C)
- × 事故、渋滞が多い(C)
- × インフラ整備(道路、歩道、自転車通路、街灯)(A,B,C)

にぎわいなど

原らぼーとができる

- 原らぼーとができる(A,B,C)
- スマートICや原らぼーとができる活性化が見込める(B)
- 地域にいいこともある(A)
- 地域を訪れる人は増えていく(原らぼーと、IC)(A)
- × 地域の受ける恩恵も多いが、課題もある(A)
- × 通常の人口以上の人が原らぼーとに集まっている(A)

特徴的なイベントがある

- よさこいイベントは発信力がある(A)
- 浮島で野菜を売るイベントがある(ひまわり畑)(A)
- 狩野川周辺できつねの嫁入りのイベントがあり面白く思った(A)

活力がない

- × 娯楽施設がない(A)
- × 人の集まる場所が少ない(C)
- × 色々なことが不足している(店等)(B)
- × 原らぼーとに期待はあるが、地元の方策がない(B)
- × 活力の生まれにくい街(いつまでも発展しない(特に原地域)(B)
- × 人や産業の活力の創生が必要(B)

公共交通等が課題

- EV/バスの運用(A)
- × 公共交通(バスなど)が少なく不便(A,B,C)
- × 南側にJR、北側は車、バスのみ(C)
- × EVの充電所が少ない(A)

公園が少ない

- × 子どもの遊び場を安全、安心な環境とする(B)
- × 公園の遊具が少ない(A,B)
- × 子どもが安心して遊ぶ公園がない(A,B)
- × 原、浮島、愛鷹は公園が少ない(C)

土地利用が大きく変わる可能性がある

- 公共施設等が比較的多いまち(アクアプラザ等)(B)
- 貨物ヤードが設置されている(B)
- 開発途上(有効活用できるスペースがある)(C)
- × 野放しにしているのは雑多なまちなちになってしまっている(A)
- × 空いた土地の利用方針が必要(A)

日々の生活など

少子高齢化が進んでいる

- 愛鷹は幼稚園や学校がマンモス級に人が多い(C)
- 子育てしやすい環境がある(C)
- × 子どもが少ない(次世代が残りたい街にしない)(B,C)
- × 高齢化が進んでいる(A,B)
- × 若者減少の為、魅力的な地域にしたい(職場、アルバイトの場)(C)

空き家の問題がある

- × 空き家問題がある(A)
- × 明電舎の宿舎にはあまり住んでいない(A)

暮らしやすい施設がある

- 飲食店が多い(C)
- 市立病院があり安心して住める(C)
- 小学校跡地に桜のきれいなグラウンドがある(A)
- × 高齢でも車がないと生活ができない(A)

コミュニティ・協働など

災害時の対応に課題がある

- 自衛隊が近いので災害時安心(C)
- × 災害時のいざという時の対応や伝達が不安(A)
- × スマートIC周辺から、原らぼーと周辺の災害時の対応
- × 根方街道沿い、屏が地震の際に危険(A)
- × 愛鷹地区センターが古い(避難所なのに)(C)
- × 防災に対する情報が少ない(C)
- × 地域の放送、無線が聞き取りにくい(C)
- × 原らぼーとにより災害時に被災する風間人口増(A)
- × 災害時の避難場所として明電舎を使いたい(A)

治安に問題がある

- × 街灯が少なく暗い所がある(A)
- × 治安のよくない所がたくさんある(A)
- × コミの分別が難しい(C)
- × ホイ捨てがある(C)

コミュニティ活動が盛ん

- 地域、人々のつながりの強さ(A,B,C)
- 顔がみえ、関係が築けている(A,B,C)
- 自治会、コミュニティが海外からみても素晴らしい(A)
- 地域コミュニティが盛ん(行事等)(B)
- 地区センターが素晴らしい
- 全国的に有名な壁紙がある(A)
- × 住民の高齢化、地域行事への負担が大変(C)
- × 校区共通の特徴が共有されていない(B)

■ 私たちの地域の未来

西部地域

◆ 私たちができること

1. 豊かな自然環境と歴史資源を活かす

① 環境・景観の保全

- 自然は「絶対守る」宣言(B)
- 適度に田舎の景観を維持したい(B)
- 山に、自然の散歩コースを整備(B)
- 豊かな自然を守り、後世へ残す(C)
- 自然を感じながら散歩(B)
- 時間がかかっても、色、高さ、デザイン等、道路の景観づくり(A)
- 都市景観の美しい街づくり(A)
- 海と山の有効活用(B)
- ◆ コミの管理をする(C)
- ◆ コミを拾いながらの散歩(C)
- ◆ コミ拾い活動の参加(C)
- ◆ 自然環境の整備はできると思う(A)

③ 自然を活かした広い公園の整備

- 大きい遊び場、駐車場付き公園(A)
- 大きな公園を(クインズ北側)(A)
- 三地区にまたがる広大な公園(B)
- 緑がいっぱいな公園や施設(道の駅等)(B)
- 自然を活かした365日稼働の市民公園づくり(B)
- 自然を活かした公園づくり(A,C)
- ◆ 大きなアスレチック設備の建設等(A)
- ◆ 犬と散歩する 公園で遊ぶ(B)

② 地域の自然の紹介・体験

- ヒオトープの整備(ホテル、トンボ魚)(A)
- 自然とふれあえ体験(例: 田舎水産館)(A)
- 淡水魚の水産館、浮き島沼水産館(A)
- バードウォッチング(小学校・保育園等では既にやっている)(A)
- 湧水スポットを作り、環境整備して周知ツバメが8月頃に何千と集まってくる(A)
- 公共施設等と共生する賑わいのまちづくり(アグリパーク等)(B)
- ひまわり畑がある(A)
- 一年中花が咲く。東海大入口周辺(A)
- ◆ 河川の生き物の説明等の協力(PRしたいB)
- ◆ 自然公園の必要性を積極的にPRしたいB)
- ◆ 毎週末遊びに行く(A)
- ◆ 体験しに行く(A)

④ 歴史のある地域資源を活かす

- 歴史の観光マップ。インスタツール有料(A)
- 観光アプリをつくる(複数の観光ポイントクリアで景品)(A)
- ホケモンGOのようなアプリを作ってまち歩きを楽しく(A)
- 外国人観光客へ沿津の良さをアピール(A)
- ◆ 西部地区ガイドMAPの作成(A)

3. 新たな魅力を地域の活力につなげる

① さらばーとを活かす

- さらばーとにラジオ局を作り、地域の情報発信(A)
- さらばーとに沼津市の情報発信基地を(磐田を参考に)(A)
- 広い土地を活かしてイベント(A)
- 観光客(さらばーと目当て)も、住民も巻き込む発展の仕方(A)
- さらばーと来場者へ沿津の食文化を伝えたい(A)
- さらばーととコラボしたイベント(A)

② 地域ならではのイベントづくり

- 沼津西部といったら...というイベントを作る(A)
- イベントが盛り上がる交流(C)
- 愛鷹競技場で音楽フェス等のイベントをする(C)
- 3地区合同でのイベント(干本、ネオバサ等)(C)
- 観光資源をもっと多くの人々に来てもらう(C)
- 活動しやす地域(音楽を自由にできる施設等)(C)
- ベイサイドも盛り上げる(湖南のように拓く)(C)
- コミュニケーション(場所、音楽イベントなど)(C)
- ◆ 子どもと一緒に地域のイベントに参加する(C)
- ◆ イベントや交流に参加(防災関連なども)(C)
- ◆ 地域行事への参加(C)
- ◆ イベントへの参加(周囲への情報拡散)(C)
- ◆ 進んで地域のイベントに参加(C)
- ◆ 音楽活動(C)

③ 就労・進学場の創出

- 企業を増やす(人口減少をなくす為)(A)
- 高校卒業後進学できる大学、専門学校を増やす(A)
- 流入人口の増加⇒地域の活力、活性化(B)
- 働く場所があつて若い人が住む地域(B)
- 市立病院、さらばーと、企業で活気のある街(C)

2. 生活の安全・安心を高める

① 道路・公共交通の整備

- 道路の整備
- 道幅を広くする(A)
- 富士市との距離が近くなる(良い。都市間連絡)(A)
- 夜、散歩やジョギングが安心して出来るように街灯で明るくする(A)
- 道路を無くし、地中化にする(C)
- 道路のインフラ整備とともに人々が集まる地域(C)
- 線路を拡張し安心安全な交通路(C)

公共交通の整備

- 電車の走る街(B)
- 岳南電車を延伸して原駅の北辺りまでほしい(B)
- 沼津駅からのバスを便利にして、人の流れを作りたい(B)
- 交通インフラは東部全体に等しく行き渡っている(B)
- 高齢者のための便利な交通手段(C)
- ◆ 電車通勤にする(B)

② 災害対策を進める

- 治山治水のモデルとなった沿津(B)
- 災害に強い地域、道路や避難路の整備(C)
- 災害時のコミュニケーション(CG)を作成し、周知する(C)
- 地震や津波発生時にすぐに住民が対応できるように指導する(C)
- メールで防災情報を発信する(C)
- アプリで自分のことを管理できるようにする(マイナンバー等)(C)
- ◆ ハザードマップを確認する(C)
- ◆ 災害時に高齢者と関わっていききたい(C)
- ◆ 自分の家の整備(C)
- ◆ 声のかけ合い(C)

さらばーとを防災情報拠点にする

- 防災頭巾は静岡県ならはのもの(A)
- 防災責任者等、電力発電設備の整備(A)
- さらばーと関連の災害対策パンフレットを配ったり、配った(A)
- 観光客が静岡県の厳しい避難訓練を体験できるイベント(A)
- ◆ 災害時に地区を知らない人の誘導(A)

4. 高齢者や子どもにやさしいまち

① 高齢者が暮らしやすいまち

- 高齢者が安心して暮らせる街(A)
- 病人ばかりでなく健康な高齢者も住みやすいまちづくり(A)
- 高齢者と若者が同居できる、活気のある街(B)
- 生涯住みたい街(子ども、女性、福祉)(B)
- 買い物(日用品)できる場所がある(C)
- ◆ 在宅介護の経験の話をする(A)

② 子育て環境の充実

- 学童保育の充実(鷹地区センターの活用)(A)
- 塾のような勉強やスポーツも教えてくれる学童保育の充実(A)
- 子どもがスポーツできる環境がある(A)
- 地域と学校の連携を図る(A)
- 分業して先生の負担減らす(A)
- 教員研修クラス、の学校に(A)
- 教育的見地から昔の寺子屋を参考に道徳教育を行う(B)
- 医療費無償制度以外に子育て家族が増える取り組み(C)
- 土日祭日の保育イベントなどを(C)
- ◆ 学校以外の地域の“先生役”を受け持つ(A)

③ 地域の人材活用の仕組みづくり

- 地域のイベントで地域の人々が気軽にお店をひらけるようになる(A)
- ◆ ハンドメイド作家さんが作ったものを売る(A)
- ◆ 自分ができるワークショップを開いてみたい(A)
- ◆ 地域人材募集で自分の技術を活かせることがあれば参加したい(A)
- ◆ 情報を発信する サークルをつくる(B)
- ◆ 地域ボランティア(子どもたち、老人)(B)

高齢者と子どもの交流

- 高齢者の経験を活かした交流の場作り(C)
- 高齢者に将棋等を教えてもらえらる。伝統文化を伝えてもらえらる(A)
- 高齢者と子どもが触れ合っている街(C)
- 退職した人等がボランティアで勉強教えてくれる(A)
- ◆ 高齢者として子どもを守りしてみたい(A)

- 古いもの〈自然・歴史〉と新しいものが融合して発展する

西部地域(A)

- 育て！輝け！自然と共に 未来につなぐ地域の絆(B)

- 美しい自然をもとに 人と人が交流し

安全と平和に暮らせる西部地域(C)

■ 地域の特徴について

自然・歴史など

自然がきれいで景色も良い

- 富士山がよく見える(A,B)
- 沼津アルプス(A)
- 自然がきれい(整備の継続のおかげ)(B)
- 気候が良い(暖かい)(C)
- 「水」のイメージできれい(水との関係)(C)
- 海のスポーツができる(内浦の方)(C)
- 空気がきれい(C)
- × 自然を活かしきれいでない(C)

特徴的な公園がある

- 門池の森をPTAで整備している(A)
- 門池公園が良い(A)
- 門池公園がきれい(C)

自然を活かした公園が多く過こしやすい

- 公園が多い(B,C)
- 大岡公園や小さな児童公園等公園が多い(B)
- 公園が多く観光資源が多くある(B)
- 大岡公園は小山があり、散歩に最適(A)
- 自然を活かした公園がある(愛鷹公園、黄瀬川公園、門池公園)(C)
- × オリピックに向け公園トイレの東化必要(A)
- × 公園が多いが整備されていない(B)

花の名所となっている

- 国道一号線の桜(A)
- 花がきれいな場所が多い(門池公園、運動公園、神明神社)(A)

環境美化に取り組んでいる

- どの川も清掃されている(A)
- 自然を大切にしたい地域づくりが良い(C)
- 狩野川の沿道が整備されている(C)
- 道端のゴミが目立たない(ポロンティア活動が多い)(C)
- × 千本浜の美化、人が休む場所がない(A)
- × ホイ捨てが多い(B)

地域の歴史がある

- 沼津の歴史、健康のために沼津アルプスに行く(A)
- 江原素六先生の歴史がある(A)
- 沼津の歴史を調べている(A)
- 前方後方墳(A)
- × 自津の意味、歴史を知ること(A)
- × 地域の歴史、名物の活用が乏しい(A)

安全・安心に課題がある

- 小さい子どもの遊び場がない(A)
- × 不審者がいる(A)
- × 通学路に危険箇所がある(壁の倒壊等)(A)

治安に課題がある

- 自宅できて隠れた場所減った(C)
- × 空き家が多い(沼津駅前周辺)(C)
- × 少年自然の家、行くのが怖い(C)

住みやすい環境が整っている

- 住宅が増えてきている(B)
- 住宅地区が多い(B)
- 静かな住環境(A)
- 大の散歩している方が多くほのほの(B)
- 沼津では比較的人口が多い(加B)
- 面積の割に人口が多い気がする(B)
- × 区画整理がなされていない(B)
- × 障害のある人もない人も通じやすい(B)

学生・子どもが多い

- 学校が多く、学生が多い(C)
- 世代パランスがとれている(C)
- × 人口減少(C)
- × 大学等で県外に出た人戻らない(B)

災害対策に不安がある

- 地震に強い地域(A)
- × ハザードマップがわかりにくい(A)
- × 災害対策で逃げる場所は大岡南小(C)
- × 災害時のマニユアルが出来ていない(C)

道路・公園など

幹線道路でアクセス良いが課題がある

- 幹線道路が整備され、アクセスが良い
- 大きな道があり、アクセスが良い(B)
- 車で移動しやすい(車庫、新東名Cが近い)。
- 横の道も作り始めている(B)
- 交通の便が良い(B)
- 三島にも沼津にも行きやすい(C)
- 駅や主要道路へのアクセスが便利(C)

幹線道路が渋滞する

- × 朝晩の渋滞対策が課題(B)
- × 国道1号に信号が多く渋滞しやすい(A)
- × 246号線の渋滞がひどい(C)

インフラを整備する必要がある

- × 公共のインフラ整備が遅い(A)
- × 開発が進んでいくのにインフラ整備が必要(C)
- × 下水道の整備の遅れ(農業用水と下水が一緒になってしまう)(C)
- × 沼津の町が広くて分かりにくい(C)

生活道路・公共交通に課題がある

生活道路が狭い

- × 道路が狭いが、交通量は多い(A)
- × 道が狭い所が多い(B,C)
- × 交通量の割に道が狭い、汚い(A)
- × 道路環境が良くない→交通マナーの悪化?(A)
- × 住民地帯道路が狭く、整備の行き届いてない(B)
- × 門池公園の道が狭くなったりする(B)
- × 幹線道路以外の道路整備(B)

道路が歩行者、自転車に優しくない

- × 道路の整備(自転車車道)
- × 自転車レーンが狭い(B)
- × 車道の道幅が狭い(C)
- × 自転車が多い(C)
- × 自転車が多い(C)
- × 自転車が多い(C)
- × 道がカタタタ(C)
- × 車道、歩道がわかれていない(C)

公共交通に課題がある

- × 三島行のバスがなくなつた(榎方街道)(C)
- × 交通の便が悪い(C)
- × 駅前のさみしさ(A)
- × 大岡駅の営業時間が19:15まで(A)

東部地域

車があれば生活に便利

- 駐車場が少ない(B)
- × 車がないと生活するのが不便(B)
- × 駅前にも車を停めるところがない(C)
- × 三島行のバスがない(榎方街道)(C)
- × 交通の便が悪い(C)

日常生活に便利

- スーパーや銀行等暮らしに必要な所にいきやす(暮らしやすい)(B)
- コンビニが多く住みやすい(B)
- 生活が便利(スーパー、郵便局、銀行)、静かな環境がある。大岡は一部を除いてこの両方に強い(B)
- 生活する上での利便性がよい(B)
- 地域のお店を大切に守っている(B)
- 生活の基盤となる買い物スポットがたくさんある(C)
- スーパーや飲食店が多い(C)

街灯が暗く、改善が必要

- × 道路の危険(街灯の暗さ)(B)
- × 停電が暗々あって交通が不便(B)
- × 電柱が倒れてため事故がある(B)
- × 岡宮の上の方は夜間暗い所が多い(B)

コミュニティ・協働など

ゴミ出しルールがわかりにくい

- ゴミの出し方を地域の人が教えてくれた(A)
- × 地域のルールがわかりにくい(ゴミ出し等)(A)

新しい人への対応課題(外国人等)

- × 外国人の存在(交流が見えない)(A)
- × 新しく入ってきた人への案内が不足している(A)

コミュニティのつながりがある

- 中学校区ごとのコミュニティが強い(A)
- 地区、地域のつながりがしっかりしている(A)
- 子どもたちの地域学習が盛ん(A)
- 校区祭に自主参加している(A)
- 地域の交流がある(イベント等)(B)
- 地域の活動が活発(B)
- 開かれた学校もあって身近(B)
- 住民同士のあいさつができる(B)

その他

- × まちづくりの行政のビジョンが見えない(C)

にぎわいなど

遊びに行ける場所が少ない

- カフェが多い(C)
- 学園通り、リコー通り等メインストリート中心に発達している(A)
- × 遊ぶ場所(若者向け)がない(A)
- × 感じのいい店(飲食店)が少ない(A)
- × 遊歩施設が少ない(大型ショッピングモール、運動公園)(C)
- × 店が少ない(ショッピングセンター等)(B)
- × 人を呼んだり、集まったりできる場所がない(B)

観光資源の活用に課題がある

- プラザヴェルデ、ラクーンでイベントある(C)
- ラブラブが多いので観光客が多い(C)
- × 観光などの誘致(名物を作る(今あるものを生かす、なければ作る)(B)
- × 地域に観光資源はあるが、活用できていない(B)
- × 市・町を巻き込んだイベントがない(駅南部に集中している)(C)

アスレクラロがある

- アスレクラロという宝があるが…(A)
- サッカークラブチーム(現J3)がある(A)
- アスレクラロを盛り上げていきたい(C)

- ほぼ街暮らしチョーどいい！東部(A)
- 観光と暮らしに力を入れた みんなが応援してくれる町
東部地域(B)
- 思いやり・コミュニケーションが自然に湧いてくる
住みやすいまち(C)

私たちの地域の未来

◆ 私たちにできること

1. 自然と歴史の恵みを活かす

①豊かな自然を守り継承する

- 自然豊かなきれいな地域（湖・川・港・公園）(A)
- 自然、水産、水資源を大切にしている地域(A)
- 海の幸（しらす、桜エビ）等の捕獲量を今の半分に戻してほしい(A)
- ◆ コミの分別をしている(A)

②自然資源を活かす

- マリンスポーツを地域住民が楽しむ(B)
- 海岸（緑）松林の効果的な活用（マリンスポーツ、釣り、ヨット等）(B)
- 「海岸へ行こう」プロジェクト（レジャー用品レンタル、漕泊）(B)
- 漕泊内の遊歩道に沿ってランドゴルフ場の整備(C)
- 海岸線でのイベントの開催(C)
- 千本浜サテライトイベントを復活させたい(C)
- ◆ 海岸でのイベントの参加(C)

3. 活気とにぎわいのあふれるまち

①にぎわいのある商店づくり

- にぎわいのある商店(C)
- 若い世代の事業主が中心を生かして沿津商店街に出店（例：三島市）(C)
- ショッピングモール・商店街の活用（コミュニティ、eコマースとの連携）(C)
- 「魅力」ある商店街(B)
- 沿津駅前周辺のシャッター街を活用する(B)
- 商業中心の街になる(B)
- 観光資源を地域活性化に活用する(A)
- さらば〜への期待(A)
- 子ども、若い人が集まるおしゃりなカフェ(C)
- 商店街の空き物件をコミュニティスペース、公園や駐車場にする(C)
- 地元（地域）の人々も魚河岸をもっと利用(B)

- ◆ 市街地の小さな商店のコミュニティに参加している(C)
- ◆ Eコマース関連のアドバイス(C)
- ◆ 地元の食材を可能な限り食べている(A)

③情報発信の強化

- 観光都市を目指してPRしていく(B)
- 沿津の名産、物産をPR(B)
- 地域の良さをもっと外に向けてPR（市ホームページ、ページ、動画）(B)
- 沿津の魚をいろいろいるところをもっと宣伝する(A)
- 沿津の観光資源を活かして観光、沿津の民を来訪できる地域（地原市町村、沿津市民PR）(A)
- ◆ インターネットを利用しての発信を続ける(B)
- ◆ 他所へ出かける(C)
- ◆ 最先端沿津のPRをする(C)
- ◆ 市の歌「沼津ふるさと音頭」をもっと広めてほしい(C)
- ◆ ネット（SNS、写真）で情報発信(C)
- ◆ 情報発信したり、イベント企画はできる 英語も少し話せる(C)
- ◆ 観光客、友達に地元の魅力を紹介できる(A)
- ◆ インスタグラムで情報発信できる（食、自然）(A)

③歴史資源を活かす

- 文化歴史を活かした地域（文化財、資料館、神社、天然記念物、美術館）(A)
- 沿津全体の歴史遺産をまとめる（旧東海道等）(C)
- 旧東海道のパンフレットの作成(C)
- 各地区にある神社を利用したミニ公園の整備（トイレ整備）(C)
- JRさわやかウォーキングとのタイアップ(C)
- ウォークラリーやウォトララーで沿津の良いところ、歴史を知る機会を作る(C)
- ◆ 沿津の歴史資産の整理（古代〜現代）(C)
- ◆ 沿津の文化、歴史等を伝えるポスター等を作る(A)

②イベントの充実

- イベント、各観光地をまわって、沿津各地を利用したイベント(A)
- 放水路の敷地を利用したイベント(A)
- 情報発信の地にしたイベント(A)
- イベントを増やしてアスリート設立を実現(A)
- 沿津の魅力を発信(A)
- 沿津に協力してもらい、子どもが参加できる楽しいイベントを増やしたい(A)
- やし、みんなが楽しむ(A)
- 1日市、15日市のよ、駅周辺でイベントを行う(B)

- ◆ イベントに参加できる(A)
- ◆ 子どもも参加イベントを企画する(A)
- ◆ イベントに積極的に参加する(A)
- ◆ 沿津の昔話、地域に関する本の読み聞かせをする（広場、地区センター、空き家のカフェ等で）(A)

2. 住みたいと思われたいまち

①基礎整備を推進する

- 高梁事業の目安は？(C)

②交通の利便性の向上

- 道路が狭いので、バスを小さくし本数を増やす(C)
- 高齢者や車のない人に無料の循環バス（スーパー、病院、銀行、学校等）(C)
- 道路の整備（老人が多くなっている為）(A)
- 市内各所めぐりのコミュニティバスづくり(C)
- 都立からアクセス、三島〜沼津間で運行していた新幹線連絡車の原駅までの延長(C)
- 沿津駅、国一、沼津港、さらば〜と結ぶ道路、公共交通機関(C)
- 海岸周遊シャトルバス運行（片流れ、さらば〜と、善い）(C)
- 観光を含めた巡回バスの運行に補助金を(C)
- 駅前から港までのお客様をつなぐトローリーバス(B)
- 観光船を入れてほしい(A)

③万全な防災体制づくり

- 安全安心な地域（防災、防犯）(A)
- 災害時の避難場所の見直しをしてほしい(A)
- 地震、津波、自然災害等への対策を徹底して市民の理解を得られたい(A)
- 「防災提言」があるから津波も大丈夫という声が届きたい(A)
- 今更の南側に津波の避難場所(C)
- 堤防等を強化して防災避難都市として人口増(B)
- ◆ 近所に呼びかけ(C)
- ◆ 自宅に災害時の備えをする(A)

4. コミュニティのぎすな強いまち

①子ども〜大人まで盛んなコミュニティ活動

- ワークショップを定期的に開催し、他の地域との意見交換もできたい(A)
- 市民の決定が目に見え、市民から信頼されている地域(A)
- ゲームができる場所（トランプ、UNO、ボードゲーム等）(C)
- 沿津市民の交流できる場作り（スペース、SNS上）(C)
- 世代交代が出来るまち⇒自治会の役員等(B)
- 大人が楽しめるコミュニティ活動(B)

- ◆ 沿津を出ての友人を呼んで集まる(C)
- ◆ 子どもと高齢者の話をよく聞く(A)
- ◆ 地域での参加（地域デザインワークショップのような）(A)
- ◆ 市民憲章推進協議会の委員に参加する(A)
- ◆ コミュニティ活動に「楽しみながら」参加する(B)
- ◆ 地元の情報に積極的に参加し、地域の活性化に寄与(B)
- ◆ 市民体育館の利用率をアピールしたい(B)
- ◆ 地域のコミュニティに友人を誘って参加する努力をする(B)
- ◆ 仲間作りをして地域の良いことを広げていく(B)
- ◆ 地域コミュニティ活動への参加(C)
- ◆ 移住してきた事業者のコミュニティに参加(C)

- ◆ 老人のお話を聞くボランティア（傾聴ボラ）(C)
- ◆ 若いファミリー層を助けるボランティア(C)
- ◆ 地区センターとか公園を利用してラジオ体操等すると、子供から高齢者まで集まると思うので、市で推奨してほしい(C)
- ◆ 高齢者に喜んでもらえるボランティア活動（歌、演劇等）(A)
- ◆ 運動電車が高齢者に席を譲る(A)

中央西地域

②住みたい魅力づくり

- 人が集まる（人口が増える）にぎやかな地域(B)
- 若者が住みたくなる地域（お店、公園、カフェ、グールム、空き家の活用）(A)
- 家（地元）を出た学生たちが戻ってきたくなる場所(A)
- 若者が地元で就職したいと思える(A)
- 特徴のある産業を優遇して誘致する(B)
- 隣近接「企業の誘致」(C)
- 住居街と工場が別にある静岡県東部地域の中心(B)
- 移住者への税金の控除（例：ふるさと納税）(B)
- 沿津の人口を増やす(C)
- 観光客が住みたくなる地域（観光客が住みたくなる地域）(A)
- 観光客が住みたくなる地域（観光客が住みたくなる地域）(A)
- 住みたくなる強み(A)
- 住みやすい地域(A)

④特色ある教育環境づくり

- 大学を誘致してほしい(A)
- 特徴ある学部等を所有する大学を誘致して、若者を呼び(B)
- 高齢化を活かして高齢者が子どもたちの面倒を見るシステムを作る(B)
- 若者も高齢者も共存しやすいまち(B)

- 安心できる防災体制をつくる(B)
- 沿津放水路のスピードアップ（津波等の為）(A)
- 沿津の放水路を早期に完成させてほしい(C)
- 沿津の浸水をしてほしい(C)
- 大雨のハザードマップ(C)
- 大雨時には狩野川河川敷が埋まる 避難場所は西高3階(C)

- ◆ 散歩中、津波避難ビルの確認(A)

②外国人との交流を深める

- 外国人との交流を深める(C)
- オリンピック控え、外国人対面を充実させる(C)
- 外国人労働者との交流を促す コミュニティの場の拡大(C)
- 数カ国語での看板等の設置(C)
- ◆ 外国人との交流の場を作る（コミュニティの立ち上げ）(C)

③高齢者が活躍できる環境づくり

- 高齢者が住みやすい地域（コミュニティ地区センター、公園、健康、安全のイベント等）(A)
- 老人ホームを作りたい(A)
- 高齢者が健康に長生きできるように市主催の体操教室をたくさん増やしてほしい(A)
- 食生活の指導、日常生活の指導等(A)
- 高齢者、障害者にもやさしいバリアフリーな地域(A)
- 空き教室を利用して、デイサービス(A)
- 高齢者が働ける環境をつくる(A)
- お助けセンターが出来るまち(C)
- 元気な老人が仲間のある時に、市民の役に立つ場所が欲しい(A)
- 小、中学校で地域の祭り、イベントを行う（ファミリー世代と高齢者世代をつなげるため）(C)
- シニアが活躍出来るまち（例、子どもを預かる、トライパー）(C)
- 紙本図書館 老人による子どもへの読み語り(C)

- やさしい自然と歴史・文化 やさしい人があふれる

中央西地域(A)

- 子供からお年寄りまで 生き生きと過ごせるまち(B)

- 海と歴史と人の幸 働きやすいダイバーシティ(C)

- 人も自然もグルメも豊か

お出かけしたくなる楽しいまち “中央西” (D)

■ 地域の特徴について

○ 特徴 × 課題

中央地域

自然・歴史など

豊かな自然に恵まれている

- 山、海といった自然に恵まれている(D)
- 高山が美しく見える(C)
- 狩野川が城外とせられ、ゴミが流れていない(C)
- 水がおいしい(C)
- 運動公園や海の公園に近い(A,C)
- × 塩害がひどい(C)

安全・安心なくらしの充実など

暮らしやすい

- 便利なわりに静か(C)
- 高い建物が少なく空が広い(D)
- 大体の用事は徒歩で済ませることができる(D)
- 不便もあるがホッとできる(D)

学校が多い

- 学園通りというだけあって、学校が多い(B,C)
- × 東海大学がなくなつた(C)

就業の場が少ない

- × 若者の定住化(A)
- × 就業の場所がない、働くイメージを持たない(A)

治安に課題がある

- × 街灯が暗い、少ない(D)
- × 駅から西に向かう道路が暗くて危険(D)
- × 夜になると治安悪い(酔っ払い、不審者)(A,D)
- × 道端でタバコを吸う人が多い(A)

空き家が増えている

- × 雑草、腐屋の問題がある(A)
- × 空き家・空き店舗・空地が増えた(A,B,C)
- × 年々街が寂れていくのがよく分かる(C)

道路・公共交通など

道路環境に課題がある

- 三つ目ガードは自転車で移動しやすい(A)
- 道が狭い(C) × 通勤時間帯に交通渋滞が発生する(B,C)
- 道路がデコボコ(D) × 車が不便で、一方通行が多い(B)
- あまねかカードが不便で、 × 一方通行が多い(B)
- 寒い、冬物で不衛生(A) × 駐車場が少ない(分が)
- 車道の白線が薄い(特に中央線)(C)

歩行者が安全に歩けない

- × 夜の道が暗くて危険(B,C)
- × 歩道があまり整備されておらず、歩きにくい(C)
- × 自転車と歩行者の区分けがわかり加減(B)
- × 狩野川沿いの歩道が整備されていない(B)

にぎわいなと

にぎわいがある

- 人が集まる(バき)場所(B)
- 多くの人が歩いている(B)
- 学生も多く、比較的若い人が多い(B)
- 駅周辺は学生が多くにぎやかである(長時間滞在)(B)

多くのイベントが開催されている

イベントが多い

- イベントが多い(祭り、ラブライブetc.)(A)
- 狩野川、中央公園などでイベントが多い(D)
- よさこい祭りなど参加できるイベントがある(A)
- aroonichii(アルコムチ)続いて欲しい(C)
- 菜街の楽しみを常に考えている(C)
- × イベント時のマナーが悪く、地元にとっては迷惑(D)
- × 参加者が一部のみに限定されている(D)
- × イベントに関する予算が少ない(A)
- × イベントが軽小気味、地元の参加が少ないのでは(C)

情報発信に課題がある

- × 地元向けイベントの告知が少ない(D)
- × イベントの情報が届かない(A)
- × イベントを主催する人には余裕がなく、情報発信にまで手が届かない(A)
- × 北口の方のイベントは知らない、車もとめられず行きにくい(A)
- × 日本株モニターは上にあり過ぎて目にとまらない(A)

駅周辺に課題がある

- どこへ行くにもアクセスが良い(A,B,C,D)
- 自都圏への通勤、通学の圏内である(C,D)
- 駅に近いので人が多く集まる(A)
- 駅を中心とした街けが生活圏(B,C)

南北の行き来が不便

- × 南北の行き来が不便(A,B,C,D)
- × 駅で分断され、回遊性がない(A,B,D)
- × 早く高架が実現し、南北の道路が平面になるように(A,B,C,D)
- × 駅周辺が歩きづらい(B)
- × 駅周辺の移動で間に遅れてしまふ(地下道等が小さい)(C)

地域に商店街がある

お店が多くて便利

- 買い物する場所が多く便利(A,B,C,D)
- 商店街がある(A,B,C,D)
- 繁華街があり、飲みに行くには便利(A)
- 飲食店が多い(A,C)
- 街のリノベーションに取り組んでいる(C)

商店街に活気がない

- × 商店街に活気がない(B,C,D)
- × 郊外へ買い物客が流出している(B)
- × ショッパーが閉まっているところが多い(A,B,C,D)
- × 食事が滞った(C)
- × にぎわいが少ない(B)
- × 1/5、人が通ります(B)
- × 駅からのテナントが少ない(B)
- × 新たな店が建たない(C)
- × 古い文化が根付いていない(A)

特別に魅力的な店舗が少ない

- × 若者が買い物する店がない(B,D)
- × 女子高生が集まる場所がない(B)
- × 特徴がない(A)
- × 行きたい場所・目的がなく「5分り」が得意(B)
- × テナントで売っているようなおもしろい物が少ない(C,D)
- × この地域に来る目的がなくなった(C)

公共交通に課題がある

- 交通の便がいい(バス)(D)
- × バスの本数が少ない、休日のEVバスが少ない(D)
- × バスの乗り方がわかりづらい(D)
- × 交通機関の乗降時間が早い(C)

公共施設が多い

- 公共施設が多い(C)
- フラワーフェスティバルがある(D)
- フラワーフェスティバルが出来て北口へ行く機会が増えた(D)
- 平地で歩きやすく、自転車も乗りやすい(B)
- × 街の集中がない(C)
- × 都市機能が分散している(C)

観光資源を活かしきれいでない

観光資源がある

- 沿線の玄関口であるとともに観光の玄関口である(D)
- 北は富士山、駅前は公園があり、観光、憩いの場が多い(D)
- 舟をはじめとして、食べ物が多い(D)
- グルメがよくメディアに取り上げられている(D)
- 新しいものが増えている(EVバス、カフェ)(D)

ラブライブの集客がある

- ラブライブのおかげで土日に活気がある(C)
- ラブライブの商品を出すことに人が集まる(D)
- × ラブライブチーム終了後の課題がある(D)

エリアとして課題がある

- 東名、414、伊豆へ続く道路が寄り交通量が多い(素通りしないで足を止めてもらえたら...)(B)
- × 観光客の通過地域である(C)
- × にぎわいが存在しており、広がりがほしい(B)
- × 観光は海のみ、まちなかとつながっていない(B)
- × 外部に売りにできるほど環境が整っていない(D)

アピールが足りない

- × ラブライブのにぎわいが活かしきれいでない(C)
- × アピール不足である(D)
- × グルメはおいしいのに、広まっていない(D)
- × 向売っ気がない(D)
- × 市の催物の発信力が弱い、人を集める意識が希薄(D)
- × アピールするものが定まっているか? (D)
- × コシ! といった名物、名所がない(C,D)

情報発信方法に課題がある

- LINEやメールでマタニティや産後の情報が届く、インスタも(A)
- 地域の人が自ら情報を発信できるようなといい(A)
- × ネットに掲載されていても見ない、情報発信の方法を検討する必要がある(A)

コミュニティ活動がさかんである

- 両地区とも地域のコミュニティ活動はさかんだと思う(A)
- 今住んでいる人が幸せになることが大切!(A)
- × 校区間の交流がうすい(特に学生)(A)
- × 子どもが大学で津津を離れると地域とのつながりが弱くなる(A)
- × まちの美化に参加する人が少ない、市がやるのか?(A)
- × 住みやすくなるのか、人集めをするのか、目的をしよう(A)

コミュニティ・協働など

人口が減少している

- 様々な年齢の方が住んでいる(C)
- × 人口が減少している(A)
- × 子どもの数が減少している(A)
- × 高齢者が多く、子供が少ない(C)

私たちの地域の未来

◆ 私たちができること

1. 交通の利便性の高いまち

① 道路・公共交通の整備

駅南北のアクセス改良

- 南北の道を整備、駅周辺の地下道を拡大(C,D)
- 駅南側はカードを乗車通行に！(B)
- 駅の通行料無料化、(B,D)

駅・道路の整備

- ホーム幅を広くしてエスカレーターを(C)
- 駅周辺の再設計・整備、古い駅舎(C)
- 道路をもっと広げてほしい、段差の解消(D)
- 自転車が行きやすい場所(D)

公共交通の充実

- バスの本数を増やして南北をつなぐ(D)
- ミュニバスを復活させる(D)
- 津波までのシャトルバス、愛鷹公園のシャトルバスの出発点を商店街の先にする(B)

3. 高齢者や子どもにやさしいまち

① 子育てしやすいまち

- 子育て世代の人が引越してきたくなる街(C)
- 土日、子供と遊べる場所がある(A)
- 地域の人口増加、子供、親子の増加(C)

③ 病院・福祉施設のあるまち

- 医療、福祉、介護の提供施設(モール)が商店街や大型商業施設に隣接(C)
- 県下一の総合病院、救急(C)

4. コミュニケーションがあり、安全・安心なまち

① 情報発信力を高める

- 津波の情報発信をフォローする、フォローし合う(A)
- 防災無線を地区のイベント情報の広帯に使う(A)
- ◆ 高層を話し合える場があるなら、今後も参加(A)
- ◆ 情報を発信していく(口頭・SNSでシェアしたり、フォローをする(A))

② 学生が元気なまち

- 第一・第五地区区合同学生イベント(B)
- 大学や仕事があり、若者が働きたくなる街(C,D)
- 若者が住みやすい津波になるように、Uターン就職したい企業を増やす(D)
- 駅前に自習室が欲しい(夜遅くまでOK)(C)
- ◆ 学生に優しいサービスがあれば利用したい！(C)

④ ボランティアが盛んなまち

- ボランティアに参加しやすい環境(A)
- 高校・大学生がイベントボランティア活躍(A)
- コミ出しマナーや生活など外国人をサポート(D)
- ◆ ボランティアに参加するだけでなく企画する、仲間づくり、つながりを持つ(A)
- ◆ ボランティアとして、通訳のサポート(D)

② 歩行空間の整備

- 歩道を整備する(舗装、緑石)(B)
- 車の入らない歩行者専用道路、散歩に行きたくなる地域(C)
- 沼津城の堀割を潤していた水流(現在暗渠)を生かして小さな“せせらぎ”を作りたい！(C)
- ヘルシーロードとして、“快適空間”を(C)

③ 駐車場・駐輪場の整備

- 市営の駐車場を作ってほしい(B)
- 駐輪場の分散化を図る(B)
- 割引サービス(P)で車も便利に(B)

④ 首都圏との連携強化

- 働きに行く人が、沼津に帰って来てくれるようにしたい(A)
- 通勤補助制度、ベッドタウンハンズ(A,C)

2. 市の「かお」にふさわしいにぎわいのあるまち

① 地域のコンセプトの明確化

- 住む街なのか、観光の街なのか(C)
- 沼津ならではの特徴ある街づくり(あえて首都圏と同じようなことはしない、あまり力を入れない)(A,C)
- 長寿な子育て、沼津なら魚? 観光のまちにしたいのか? 内をよくなったのか、外をよくなったのか(A)
- 沼津=〇〇というアピールポイントを共有する(A,D)
- 高層化あるとしたら、都度見直し都市計画を行っているの? 20年前から(C)
- ◆ 沼津の町をもっと知る(D)

② 回遊性の創出

- ◆ 観光資源を活かす
 - 観光資源を地元民が楽しめるようにする(B)
 - 駅北側の空き地でのイベント開催、そこにいけば、他で使えるクーポン発行、一の市、十五日市のような(B)
 - 駅北から駅前まで歩行者天国(沼津Bar祭り?)(B)
 - 観光案内所が分かりにくく、営業時間が短い(B,C)
 - 観光の玄関口から観光地までルートを作りたい(B)
 - 沼津駅周辺に地味から必然的に来るようにしたい(C)
 - 駅周辺に企業誘致をして駅前の顔を整備してほしい(C)
- ◆ 今の仕事を生かして地元の情報提供、情報発信(C)

沼津港とのつながりのできるにぎわいづくり

- 港までの道のりをもっと楽しくできなかい(D)
- にぎわい、観光、沼津港祭りに合わせて駅からの途中にスポット(ビアガーデン、会社ブース?)(B)
- 待ち合わせ場所をエリアの源につくり、人の流れを外から内(駅方面)へ(B)
- 観光地を結びフリーパス(バス)を作る！(B)

せせらぎのある商店街づくり

- せせらぎのある商店街でお金をかけずに過ごせる(A)
- ◆ “せせらぎ”のほとりの古書店…本を漁りたい(C)
- ◆ 小さなカフェ…クラシックを聞きながら立ち飲みコーヒーを味わいたい(C)
- ◆ 花いっぱいにする、若い人でいっぱいになりたい(C)

④ イベントの充実

- ◆ 情報発信、PRを効果的にする
 - 全国向けの沼津アピール力強化、PR動画の発信(B,D)
 - フリーペーパーを作る(飲食店、買い物など)(B)
 - 情報を店舗や地区センターに知らせる、口コミ！(A)
 - 沼津を店舗から「コレ」と言えるB級グルメを作り、大々的にPRする(テレビ、イベントなど)(A,D)
 - ◆ ウォーキングで色々な沼津を発見し友達に伝える(B)
 - ◆ 魅力的なイベントがあったら、友達を誘って行く(B)
 - ◆ SNSで発信、ピラの配布(ABD)
- イベントのやり方を工夫する**
- イベント時のマナーを呼びかける(D)
 - ラブライブキャラクターとのコラボを増やす(D)

中央地域

③ 商業の活性化によるにぎわいづくり

商店街の活性化

- 駅周辺のにぎわいを取り戻し、活気ある地区に(B,C)
- 南北商店街の一体化(歩いて回れるように)(B)
- 仲見世等タバ(pm6~8)の特売イベント(タイムセール)で夕方活気を(C)
- 地元産の食材を売る(B)
- 観光客、地元住民がともににぎわう場所にする(B)
- 市の商業地帯への推進介入(C)
- ◆ 地産地消(C)
- ◆ 会社の飲み会を商店街でやる(B)
- ◆ 身近な地域に関心をもち、できれば、アマゾンではなく地元で買いたい物を売る(A,B,C)
- ◆ 仲見世通りを週1回歩いて通る(B)

商売をしやすい環境の整備

- 店舗を借りてお店を出す人は少なくなってきた。
- ネットで呼び込み、地元のにぎわいをもち(A)
- 若い人を呼び込んで、地元のにぎわいをもち(A)
- 都立からの逆輸入(店の開業)、外へのアピール(D)
- 商売をしやすい、若い人を集める(お金も)(A)

空き地・空き家の活用

- もっと簡単に、気楽に事業主になれば(空き家、空き店舗利用支援)(D)
- 空き地、空き店舗の活用、市が発信するなりして短期間でいいかい買ってみる(B)

集客力の高い店舗の誘致

- 沼津にデパートのサテライトを(贈答用)(C)
- 駅周辺のニッチ化、静岡市にもない店(C)
- 郊外カブの商店街への誘致(B)
- カフェが数店、商店街にチェーン店を(スタバ等)(B)
- ショッピング街になっているところに若者向け、女子向けの子ブブアファッション店を入れる(B,D)
- 開業的にならずに、都立の店を取り入れる(D)
- “ららぽーと”が出来るのをチャンスとして、駅前の人を呼び止められる施設(C)
- ◆ 店(カフェ、服など)の情報があれば利用します！(B)
- ◆ オシャレなカフェなどがわいわい雑居さん行きます(C)
- ◆ 都立の知人に声をかける(ショッピング開業)(D)

個店の情報発信

- どこにどんな店があるのか情報が欲しい(C)
- ◆ 市のインスタ、フェイスブックへの情報提供(C)
- ◆ 自分のまち歩いて情報を発信する(口コミ含む)(C)
- ◆ 沼津で買いたい物を売る、買ったものをレビューする(D)

観光客も地元住民も楽しめるイベント

- 観光客も地元住民も一緒に参加できるイベント(C)
- 月1or2月に1回、沼津独特の催し物を開催する(C)
- イベントが分散している、ラブライブがある(A)
- ◆ イベントの手伝い(B,C,D)
- ◆ イベントへの参加、お金を使う(A,C,D)

- 人とつながる街 沼津（中央）にGO！（A）
- いらっしゃい！ 歩いて楽しい沼津の玄関口 中央地域(B)
- 駅を中心とした活気とせせらぎのある街 中央地域(C)
- みんなが主役！ 安心して楽しく暮らせる沼津の中心
中央地域(D)

■ 地域の特徴について

○ 特徴 × 課題

中央南地域

自然・歴史など

豊かな自然に恵まれている

自然が豊か

- 自然（沼津アルプス、香貫山、鷲頭山、狩野川等）が豊か(A,B,C)
- 海岸線が近い(C)
- 大平地区に入ると田んぼが広がる(B)
- 自然が三地区に分布している（沼津アルプス）(C)
- 人が集まれるスポットがある（海・山・川）(C)
- 自然が豊かの指す意味は三地区によって異なると思う(C)

自然を活かしたイベントがある

- 自然を活用したイベントがある(A)
- 自然の中でヨガができる(B)
- 良い自然がたくさんある⇒その自然を使って効率アップ?(C)

- × 狩野川沿岸の整備が必要（ウォーキング、サイクリング、ランニング）(B)

歴史資源に恵まれている

- 歴史資源がある(C)

にぎわいなど

商店が少ない

- × 欲しいものを売っている店が少ない(C)
- × 仲見世のシャッター街 オープンしても続かない 人通りが少ない(A)
- × 改善はしてきているが、まだシャッター街の状態(A)

若者が集まる場所が少ない

- × 若者にも楽しい場所を作る(A)
- × スポーツを楽しむ場所が少ない(A)

道路・公共交通など

道路環境に課題がある

道路整備等に課題がある

- 主要道路が通っている(A,C)
- 沼津アルプストンネルでよりのつながりが生まれる地域（将来的に）(B)

- × 道幅が狭い(A,B,C)
- × 道路事情があまり良くない(A)
- × 車で通過してしまいがち(C)
- × 静浦バイパスが早く完成して欲しい(A)
- × 黒瀬橋の横断歩道が危ない(A)
- × 街灯が少ないので全体的に暗い(A,B)
- × 側溝の危険性(B)
- × 基盤整備が進んでいない（下水道）(B)

駐車場が少ない

- × 駐車場が少ない(A,C)
- × 公園に駐車場がない(C)

交通渋滞がある

- × 道路が狭いため渋滞する(A)
- × 国道414号で渋滞してしまう(A)
- × 静浦バイパスが通ったら渋滞が心配(A)

公共交通が使いにくい

- 交通の便が良い(A,C)

- × 交通が不便(C)
- × バスの本数が少ない(C)
- × バス代が高い 市内均一 ¥230程度に(A)
- × 朝早い時間と夜遅い時間のバスがない(B)
- × 交通手段の多用（現道路、コミュニティバス）(C)

にぎわいづくりに課題がある

にぎわいが広がっている

- サッカークラブを通じて地域が盛り上がっている(A)
- ラブライブの人の集まりがすごい(A)
- 人とのつながりが良い（イベントが多数ある）(B)
- 蔵を使ったイベント等増えている(C)
- 海、御用邸を活用したイベントが増えている(C)
- × 街に活気がない(B)
- × コミュニティイベントの企画人が集まれるイベント（子どもから大人まで楽しめるものがない）(C)
- × コミュニティイベントの企画継続方法（牛乳で海のイベントをやっている）(C)

沼津らしさがはつきりしない

- × 沼津ってどこ?(B)
- × テーマのない街並み(B)
- × 地味町村から言われるイメージ（駅の周りは飲み屋ばかり）(B)

情報発信が足りない

- × イベントの広報が足りない(A)
- × 情報が伝わらない(A)

安全・安心な生活など

住環境が良い

- 生活環境がベスト（繁華街、田舎ではない）(C)
- 海、山、川が近い（駅に近い）(C)
- 自然環境が豊か（住みやすい気候、人ととのつながりが良い）(A)
- 自然環境が豊か（住みやすい気候、人ととのつながりが良い）(A)
- 自然環境が豊か（住みやすい気候、人ととのつながりが良い）(A)

- × 快適に住むのが目標(C)
- × 働き場所まで含めたのが生活(C)
- × 居住地区としての生活の利便性は?(C)

子育て環境に課題がある

- 公園の規模が中途半端(C)
- × 良い公園が少ない。遠くまで歩いていけない(B,C)
- × 子育て支援の不備、不足(C)

少子高齢化が進んでいる

- × 少子高齢化が進んでいる(B)
- × 子どもが成長すると進学等で外に出てしまう(C)
- × 若者が少ないと思う(C)

災害対策に不安がある

- × 災害対策に力を入れてほしい(A)
- × 災害対策がすすんでいない(B)
- × 災害対策に不安(A)
- × 津波の心配が払拭できない(A)
- × 自然災害に対する不安がある(C)

公共施設が不十分

- 行政機関が集約されている(B)
- × 個人でも無料で借りることができ（体育館）(B)
- × 体育館等を少人数で使う時には無料開放するなど使いやすくてほしい(B)
- × 近くに病院がない。少ない(B,C)

働く場所がない

- × 若者が魅力を感じるような就業先がない(C)
- × 働く場所がない(B)
- × 企業が少ない(A)
- × 沼津市内に働く地区を明確にして欲しい(C)
- × 工業生産地区はどこ?(沼津市として) (C)

コミュニティなど

コミュニティ活動がさかんである

- コミュニティ活動は活発(A)
- 人とのつながり、コミュニティが良い(C)
- × 沼津市の「街」としての在り方は（第三、第四、大平 各々の地区）(C)
- × コミュニティ活動のスリム化について(B)
- × 行事が多い(B)
- × 地域内の組織が多くて上手に機能していない(A)
- × 中央南地域内の相互交流は希薄(B)

地域区分が集りに合っていない

- × 三校区にはそれぞれ特徴があるため、必ずしも地域区分で話し合えない(C)
- × 既存の地域区分の中で、共通できること、できないことがある(C)
- × 大平は秘密基地的なイメージがある(C)
- × 三校区をつなぐ交通機関がない(C)
- × 校区間の壁、溝(C)

その他

- × 野焼きについて（洗濯物が干せない）(B)

■ 私たちの地域の未来

1. 沼津アルプスを活かしたまち

①登山道等の整備

- 初心者でも登れる登山道整備（沼津アルプス等）(A)
- 沼津アルプス（登山道）の整備（開業園の観光客を！）(A)
- 登山道の整備（音貫山も楽しめる整備）(B)
- 音貫山の登山道を整備（きれいに街灯をつける）(B)

- ◆ 沼津アルプスの整備（車列り等）(A)

②アクセシビリティの向上

- 道路の整備をし、駅から歩いて登山口へ行くようにする(B)
- 沼津駅からのコースづくりをする(B)
- 遊歩道を分けるようにする(B)
- バスのフリーパス等(B)

③魅力の発信

- 沼津アルプスをもっとPRする（沼津の顔にする）(B)
- 沼津アルプスへの集客(B)
- 沼津アルプスのマップを整備していく(B)

- ◆ マップ作りにルート情報を提供する(B)

◆ 私たちにできること

中央南地域

2. 便利な交通手段のあるまち

①幹線道路等の整備

- 大平一第三間を結ぶトンネルにおいて、まず人が通れるように（歩行者、自転車、バスのアクセスが良くなるかな？）(A)
- 道路整備して人が住みやすいまちづくりをしてほしい(A)
- 道路整備 東名から沼津港へ直通（4車線）(A)
- 駐車場の場所がわかりにくい（駅前）(A)
- 沼津駅周辺の整備を良くする（ベンチを増やす）(A)

②生活道路の改善

- 道路に凹凸があり、走りにくいのを直してほしい(B)
- 道路を拡張してほしい(B)
- 沼津川兩岸の自転車道を整備してほしい(B)
- 遊歩道を整備して安全に歩けるようにしてほしい(A)

- ◆ 道路整備について、機会があれば要望していく(B)

③生活に便利な巡回バス等の運行

- コミュニティバス等交通の利便性を高める(B)
- 生活に便利な巡回バスがある(C)
- 公共バス等の利用（例、コミュニティバス、地区循環バス）(C)
- 住宅地区内に商店、病院、公共施設を結び交通手段が欲しい(C)
- 小回りの利く循環バスが定期的に走る(C)
- 大平からの狩野川を使った水上バスの運行（黒瀬の穴滝が問題か？）(C)

- ◆ ノーカーディーを決める(A)

3. ゆったりとした安心して暮らせる生活環境のあるまち

①住みやすいまちづくり

良好な住環境が維持されている

- したいことができる街(A)
- 生活環境の改善（刺繍にふたをすとか）(C)
- 安心して住める街(A)
- 今後は住環境のレベルは高い、今後もこのレベルの維持が目標(C)
- 住環境維持のため、地域の人が活躍する(C)
- 住環境を維持していく(C)
- ◆ 近所のコミ治、草刈り(B)
- ◆ 環境整備（ゴミ拾い等）をすることができ(B)

②買い物に困らない

- 沼津駅前の子バートがなくなっただけで買い物する場所がない（ほしい）(A)
- ◆ 地元の物を買う(A)
- ◆ 買い物は全て沼津市内で済ませる(A)
- ◆ ガソリンは沼津市内で給油する(A)

③高齢者を支える仕組みづくり

- 高齢者の学びの場になる場所が欲しい(B)
- 子ども、高齢者が安全に過ごせる場所(C)
- 高齢者をサポートする地域の人の仕組みづくり(C)
- 外出しにくい高齢者に対して、気軽に使えるサービス(C)
- ◆ 高齢者サポート(C)
- ◆ 住みたい街を支える力(C)

②子どもを安心して育てられる環境づくり

- 公園整備や子育て環境を整え子育て世代を呼び込む(B)
- 大きな公園（駐車場付き）を作る（大平地区に）(C)
- 子育てしやすい環境づくりをする（公園、幼稚園、保育園、児童手当等）(A)
- 子どもたちの遊ぶ公園の整備(B)
- 子育ての充実を図る（幼稚園、保育園、児童公園等）(C)
- 親子の居場所づくり（例、公園）(C)
- ファミリーサポートを増やす（高齢者も）(C)
- ◆ 公園に遊びに行く(C)
- ◆ 子育て支援、子育てサポート(C)

③登下校時の見守り

- 防犯多策として、小学生の下校時間に音楽を流す(C)
- 地域防犯 子どもから大人まで安心安全に住むことが出来るまちづくり(C)
- ◆ 下校時間に子どもを見守る(C)
- ◆ 男性として、出来ることをやる（女性ではできないこと）(C)

④安全・安心が感じられるまち

病院の誘致

- 地域内に総合病院がある（沼津川から南側に病院がない(C)とありたい。狩野川から〇 病院、診療所を作る(B)

地震・津波等への対策の強化

- 自然災害に対する備え心を得共有できるようにしたい(C)
- 災害に耐えた公園を作る(C)
- 公園内に災害を想定したシステムを取り入れる（炊出し、トイレ等）(C)
- 地震、津波の安全対策を共有する(A)
- 災害に関する情報発信を強化する(A)
- 災害時の対応周知を図る(C)
- ◆ 防災訓練に参加しても納得いかないのでは、町内で話し合う(A)

4. 人の交流によりにぎわいのあるまち

①就業の場をつくる

- 民間企業等を呼び込む(A)
- 都市部に依存する必要のないITベンチャー企業誘致(B)
- 働く施設を誘致する(B)
- 働くことのできる環境を整えるため（資本金確保のため企業を誘致する(B)
- 人口を増やす(A)
- 生活する人が増えれば、子どもも増え、人口が増える(A)
- 若者にシャッター街を活用し、大手企業には頼らず、地区住民で色々とやる(C)

②観光のアピールポイントを明確にする

- 観光事業に特化（海・山・川）(A)
- 食、自然、ショッピング 全て楽しめる街(A)
- 観光力を入れるのであれば観光客の目線に合わせて(A)
- 海と山が美しいアピールできる街(B)
- 海の良さをアピールできる何かを？(B)
- 観光客の誘致に力を入れ、多くの人に来てもらう(B)
- 港もあるけど、山もあるという観光政策（1つものものに依存しすぎない）(B)

- ◆ お金が動く地域(A)
- ◆ 市がお金儲けできる企画、運営(A)

③地域資源を活かしたにぎわいづくり

- 聖地巡礼ツアー（TVドラマ、映画等）(A)
- 道の駅（沼津のものが集まる）(A)
- 沼津の観光「ほさかの葉せん」のアピール（パッケージを変え等）(B)
- 沼津といえはと連携できるものを作る(B)
- アスルクラロの選手と一緒にできるイベント(A)
- 自然とスポーツが結びついたイベントが増えてほしい(A)
- フラワーロードを復活させる(C)

- ◆ アスルクラロと協力して街の活性化(A)
- ◆ みんなでアスルクラロを応援する(A)
- ◆ SNSに投稿する（ほさかの葉せん）(B)

④効果的なPR・情報発信

- 観光情報発信の強化（広報誌等）(A)
- 有名人を使った広報(A)
- 沼津のアピールするため農村青年団に宣伝CMに出してもらう(B)
- ◆ 沼津の魅力発信していきたい(A)
- ◆ 沼津の自いところをSNSに載せる(A)
- ◆ SNS等でPRする（沼津の良さ、沼津アルプス等）(B)
- ◆ 友人に沼津アルプスの良さを伝える(B)
- ◆ 知人、友人への沼津の紹介(B)

5. あたごが参加できるコミュニティのあるまち

①地域の人々が参加できるイベントづくり

- 地区で全員参加を目標に、地区の特徴を利用したイベントを企画、実行し、続ける(C)
- 本気で楽しめるイベント（例、自然を楽しむイベント。）(A)
- 誰もが気軽に参加できるイベント。(C)
- 校区を跨いだイベントの共催（音即に関わらない行事）(C)
- 大きなコンサートホール(C)
- 大平の広い道を活かしたイベント（例、よさこい）(C)
- 地域主体の小規模なイベントを増やす（自然を活かした）(C)
- 第三、第四、大平の三地区でイベントをやりたい(例、マラソン大会) (A)
- 善田植え大会、夏カブト虫・クワガタ採り大会、秋 キノコ採り大会、冬 マラソン大会(A)

- ◆ 自然を楽しむイベントの参加（山・川・海等）(C)
- ◆ 週末のイベント参加(C)
- ◆ 小さなイベントを行う(C)
- ◆ 地域のイベント、ボランティア活動、ガイドに参加、SNS発信(A)

②気軽に集える場の整備

- 人が気軽に集まれる場所があるといい(C)
- 人と人がコミュニケーションできる場所があっだらいい(B)
- ◆ 地域の人達と仲良くし、コミュニケーションの場を接待する（お茶出し）(B)
- ◆ コミュニケーションの場を積極的に設ける(B)
- ◆ ポランティア体験を教場に行ったり話聞いてあげる(B)

③地域情報の発信

- 情報発信（SNS、広報）(C)
- 他地区の情報がわからないが知りたいと思う(C)
- ◆ SNSで発信する(C)
- ◆ 地域のイベントに積極的に参加し、自分も情報発信(A)

- 豊かな自然と活気あふれる 未来へ輝くまち中央南へ
いらっしゃ〜〜い(A)
- さあ行こう！自然豊かな沼津アルプス(B)
- 住みたい街を支える力
やれば誰でも 何でも出来るんだ！」(C)

自然・歴史など

自然に恵まれている

- 自然が多い 田舎 山、海 (A,B)
- 縦に長い (広い) (A)
- 空気も水もおいしい(A)
- 自然に囲まれている (だるま山) (A)
- 自然が豊かで夜空 (星) がきれい(B)
- 海に面している(A)
- 漁師町で海に近い(A)
- “海”に関わっている (海産物、海と富士山の景色、マリンスポーツ等) (B)
- 魚がおいしい(A)
- 自然と文化に恵まれた現業 (農業) と沼津、三島地区への通勤地域 (ベッドタウン) (B)

- × 海岸沿いが多い為、閉鎖感がある(A)

安全・安心な暮らしの充実など

災害が心配

- × 災害時の対応(A)
- × 地震、津波対策が必要(A)
- × 自然災害の危険性が高い(A)
- × 山が多いので風水害に弱い(A)
- × 危機感をもってみんなでまとまる(A)

商店、医療機関が少ない

- × 大きな病院がない(A)
- × 店が少ない(A)
- × 養護施設 (老人ホーム) (B)

住宅の増改築がしにくい

- × 市街化調整区域、国立公園法適用除外の法整備が必要。宅地、商業施設用の土地活用(B)

小中一貫校がある

- 中学、小学校の一貫校がある(A)
- × 子どもの教育環境(A)

海岸線が変化に富み、景色が良い

- 景色が良い(A)
- 富士山の見える変化に富んだ海岸線(A,B)

新しい文化と古き歴史がある

- 伝統的文化がある (北条長浜城など) (A)
- 新しい文化が入っている (ラブライブ) (A)
- これから伸びしろがありそう (IT) (A)
- 昭和22年安田屋旅館にて太宰治氏が「斜陽」を執筆(B)
- 明治29年に竣工、明治30年開通三津坂隧道 (旧三津坂トンネル) (B)
- 40代、50代の方々が御神輿を買い、地域の祭りに参加(B)
- 古墳、城跡や寺など多様な遺跡(B)

にぎわいなど

様々なレジャーがある

- 水族館が2つある ○ BBQや釣りなどで遊べる (リフレックス) (A)
- 海 (マリンスポーツ、シュエーカー) (A)
- 釣り、食ベ物) (B) ○ 山 (キャンプ場)
- 自然を生かしたレジャー (B)
- ジャーができて友人 ○ 海や山、多くのドラを招きやすい(A) イブスボット(B)

人を呼び込む魅力がある

- ラブライブ! による注目(B)
- ラブライブのファンが県外から大勢来る(B)
- 観光産業 (ラブライブ、釣り等) があり、外から人を呼びやすい(B)
- 漁協直営の食堂がある (いけすや) (B)

観光PRが不足している

- 東京から名古屋の間にあるので、都心から近く、途中下車しやすい (沼津南部まで導くルートがあるが周知されていない) (B)
- × PR不足 SNSを活用していない(B)
- × 歴史のある施設のPR不足(B)
- × 情報発信が足りない! (ラブライブ) (A)

道路・公共交通など

公共交通が利用しにくい

- × マイクロバスを1日何回か走らせてほしい(A)
- × 病院の送り迎えが必要(A)
- × 交通網がよくない(A)
- × バスの便 通院・通学(B)
- × 公共交通が不便(B)

道路環境に課題がある

- × 道路がきれいになって欲しい × 道が狭く、少ない(A)
- × 雨が、どこまでやっさい × 交通の便が悪い(A)
- × のか(A) × 夜は暗い(A)

公共施設が遊休化している

- × 廃校を活用した施設の充実化 (①サイクリング、マリンスポーツ、釣りの拠点として活用 ②飲食店街の併設 ③路線バスをマイクロバス化し高頻度で運行してほしい) (B)

コミュニティなど

近所づきあいは良い

- 近所とのつながりが強い(A) ○ 人柄的には皆さん優しい(A)
- 近所づきあいが良い(A) ○ お年寄りの事を考えている
- 言葉遣いは悪いが、人との距離は近い(A) ○ 地域 (敬老会等) (A)
- 地域交流が多い? (A) ○ 地域内の繋がり、近所づきあいが良い(B)

人口減少、少子高齢化が進んでいる

- × 人口減少(A,B) × 産業がない為、雇用がなく
- × 少子高齢化が進んでいる × 人口減少につながる(B)
- × 少子化(B) × 地域の利便性によって増減の優劣がつくので、新しい価値観が欲しい(B)
- × 若者の流出、学校や就職で離れてしまう(B) × シェアハウスのような物が欲しい(独居老人の為) (A)
- × 産業が少ない(A)

担い手が不足している

- × 1~2年で自治会などのまとめ役が代わってしまうのとやり方が定まらない(A)
- × 担い手が少ない (コミュニティ 消防団) (B)
- × ティ、消防団) (A)
- × 自治会活動の簡素化 (公民館→地区センターに一本化、消防団) (B)

1. 自然を活かした住みよいまち

① 自然を活かし、守る

- 自然と調和の取れたまちづくり(A)
- 港を活かしたまちづくり（観光業の活性化）(A)
- 自然、景観を守る(A)
- 単価の高い観光地（有名になって欲しいが、大勢の人は来ないで欲しい）(A)

◆ 町をきれいにし、ゴミは出さない(A)

② 住環境を充実させる

- みんなが住みやすいまちにしたい(A)
- 買い物ができるような中型店舗がほしい(A)
- 小さくても良い、ベンチがあってちょっと座れる公園が欲しい(A)
- 孫が通えなくなるので近くの学校を残してほしい(B)

◆ できるだけ地元のお店で買い物をする(A)

③ 医療・福祉の連携の強化

- 病院窓口の簡素化(A)
- 消防、医療、福祉等の地域連携(A)
- 医療費、介護費、生活支援費0円（ただし、収入等制限あり）(A)
- 店、病院等の施設を増やす(B)

④ 防災対策の充実

- 災害があっても安全なまち(A)
- 防災対策の強化(B)
- 津波に強いまち（地震にも）(B)
- 西浦は基幹農道沿いに移転し、跡地は農地にする(B)

⑤ 人との関わりを大切に

- チームワークを大事にする(A)
- ◆ 相手の困っている事を先に聞いてあげる(A)
- ◆ 地域活動への積極的な参加(A)
- ◆ 主義主張の言える人になりたい(A)
- ◆ 他者の意見を受け入れ協力する(A)
- ◆ 区長職（自治会役員）をがんばる(B)

2. 生活基盤が充実したまち

① 道路の整備

- 交通に不自由のないまち(A)
- 道路を整備して高速道路からのアクセスを良くする(A)
- 道路整備(B)
- 伊豆長岡への交通路の整備（トンネルなど）(B)
- 伊豆縦貫道のような道路の建設（渋滞の緩和）(B)
- 伊豆縦貫道とつなげる 三津から戸田へアクセスできるようにする(B)
- シニアカーが走れる道路（一般道との区別）(A)

② 渡船を含む公共交通の整備

- 海上交通化（渡船）⇒校区拡大、観光・飲食・沼津商店街の活性化につながる(B)
- 公共交通機関を増やす(B)
- 渡し舟は良い案だと思う(B)
- 年に何回か海上タクシードしてくれたら、係船料が無料になる桟橋(B)

◆ 海上交通化推進検討委員会のメンバーになること(B)

③ 土地利用の検討

- 自然活用の産業の誘致（メガソーラー、農業、老人養護施設）(B)
- 新しい産業を作っていく(A)
- 植物工場をつくる ○ 人口減少を逆手に空き地をイベント等で使用する(B)
- 廃校に分校を誘致する(B)
- 遊休施設（廃校、除外、法整備(B)

- ◆ まちづくりについて議論する(B)
- ◆ 廃校等の遊休公共施設の具体的活用方法の提案（サイクリングやカヌーの拠点等）(B)
- ◆ メガソーラー、風力発電が導入される場合の環境影響評価案に対して意見を表明する(B)

3. 観光客でにぎわうまち

① 観光客が来なくなる魅力づくり

- 部落ごとに趣向の違うホテルリゾートを計画する(B)
- 西浦沿いにアウトドア用品の展示場所を作る(B)
- ヨットハーバーが津々浦々にあるまち(B)
- 地域に合った観光ルートを設定する(B)
- 港に船で乗りつけできるレストランと桟橋をつくる(B)
- 静岡県観光資源に沼津市が選ばれたが、ラブライブの後、どのように観光に力を入れていくか(B)

- ◆ イベントを開催してみる。スタッフをやってみる(B)
- ◆ 地域ボランティア、またはNGO、NPOに参加する(B)
- ◆ 地域の美化（個人でもゴミ拾い等）(B)

② 地域の魅力の情報発信

- 情報発信の活発化(B)
- ラブライブの声優さんをPR観光大使に！(B)
- 撮影スポット提供(B)
- ◆ 自分のおすすぬめをカタログにして持ち歩いてPRする(B)
- ◆ ご当地コスプレをして出歩く(B)
- ◆ SNSを使う（ラブライバーはTwitterを主に使っているイメージ）(B)
- ◆ ハッシュタグやプロモーションアカウントの作成(B)
- ◆ 電話等（SNS以外）で家族や友人等にPRする(B)
- ◆ SNSを始め、地域や物語と関連付けて情報発信する(B)
- ◆ 足を使う(A)
- ◆ 良いところを見つけて、宣伝し続ける(A)
- ◆ ボランティアの仕事をしているので、自分のわかることを案内できるように写真をとめておく（施設観光用）(B)
- ◆ 情報発信網の整備(A)

③ 多様な人を受け入れるおもてなしの体制づくり

- 観光客で盛んになってほしい(B)
- 外国人など多様な文化、人材を受け入れ、独自の地域性を構築(A)
- ラブライブは生きる希望！（若い人の救いの女神）(A)
- ◆ ラブライブ好きな人の気持ちに近づきたくて、ゆかりのお店で働いてみた(A)

南部地域 キャッチフレーズ

- ラブライブだけじゃない 多彩な自然文化 南部地域(A)
- 自然×□ 多様性に富み進化する 南部(B)



3 市長へのプレゼンテーション（地域の将来像）



【キャッチフレーズ】

自然・歴史と共に 発展と絆のあるまち 西部地域

自然・歴史と共に:この地域がもつ豊かな自然、歴史資源と人々の活動が協調して営まれていることを表現しています。

発展と絆:ららぽーとや道の駅などの新たに整備されていく機能を発展の象徴として、心あたたかなつながりである絆が強く残る地域が、自然・歴史と融合して発展していくことを表現しています。

私たちの地域の未来

1. 豊かな自然環境と歴史資源を活かす

- ①環境・景観の保全
 - ・豊かな自然を守り後世に残す
 - ・景観の保全 など
- ②地域の自然の紹介・体験
 - ・ビオトープ、湧水ポイントの整備
 - ・自然とふれあう機会づくり、イベントの実施
(バードウォッチング、田植え体験など) など
- ③自然を活かした広い公園の整備
 - ・駐車場付きの大きい遊び場
 - ・自然を活かした公園 など
- ④歴史のある地域資源を活かす
 - ・歴史の観光マップづくり
 - ・観光アプリの製作 など

〈私たちにできること!〉

- ◆ゴミを拾いながらの散歩や、特徴ある自然の紹介
- ◆現在の公園をはじめ、自然を活用した新たな場などの利用やガイドMAPの作成など

2. 生活の安全・安心を高める

- ①道路・公共交通の整備
 - ・根方線の拡幅
 - ・バスの利便性の向上 など
- ②災害対策を進める
 - ・災害時の対応の周知
 - ・ららぽーとを防災情報拠点に など

〈私たちにできること!〉

- ◆自宅の災害対策やハザードマップの確認
- ◆災害時における声のかけ合い



3. 新たな魅力を地域の活力につなげる

- ①ららぽーとを活かす
 - ・ららぽーとを情報発信基地に
 - ・ららぽーととコラボした地域イベント など
- ②地域ならではのイベントづくり
 - ・西部地域ならではのイベント
 - ・観光資源をもとにした誘客 など
- ③就労・進学のための創出
 - ・企業誘致
 - ・若者の住む地域 など
- ④空き家等を活かした宿泊施設
 - ・空き家の活用
 - ・来街者のための宿泊施設 など
- ⑤地域のブランドづくり
 - ・西部ブランド品づくり など
- ⑥農の拠点(道の駅など)を整備する
 - ・地域の農産物の直売
 - ・農業体験や農作物販売の拠点
 - ・浮島地区センターの南側のあたりを“農”の拠点に など
- ⑦今後の開発をまちづくりに活かす
 - ・行きたい、住みたいと思われる地域
 - ・にぎわいのあるまち など

〈私たちにできること!〉

- ◆地域イベントへの参加
- ◆農業関連イベントへの参加や無農薬(オーガニック)食品の購入

4. 高齢者や子どもにやさしいまち

- ①高齢者が暮らしやすいまち
 - ・高齢者と若者の共存
 - ・高齢者が暮らしやすい など
- ②子育て環境の充実
 - ・学童保育の充実
 - ・地域と学校の連携の強化 など
- ③地域の人材活用の仕組みづくり
 - ・地域のイベントを利用した人材活用
 - ・高齢者と子どもの交流 など

〈私たちにできること!〉

- ◆地域の“先生”として子どもを支える
- ◆特技を活かしたワークショップの開催
- ◆高齢者として子どもの見守りへの参加

【キャッチフレーズ】

ほぼ街暮らし 交流のある 住みやすいまち 東部地域

ほぼ街暮らし:自然や景観のなかに“街暮らし”としては、ほぼ不便のない暮らしやすさのある地域であることを表現しています。

交流のある:世代間の交流、観光来訪者との交流、行政とのコミュニケーション、住民相互の思いやり・応援があることを表しています。

住みやすいまち:現状の住みやすさが、将来にわたってずっと続いていくことを表現しています。

私たちの地域の未来

1. 自然・歴史を活かしたまち

- ①地域の自然を活かす
 - ・門池公園の活用 ・ハイキングコースづくり など
- ②地域の歴史を活かす
 - ・子どもに地域の歴史を伝える など

〈私たちにできること!〉

- ◆地域の歴史勉強会などに子どもと一緒に参加する

2. 住みやすいまち

- ①住宅地の整備
 - ・新しい宅地の造成 など
- ②生活道路の整備
 - ・道路整備 ・狭小箇所の改善 ・電線地中化
 - ・道路パトロールの強化 など
- ③公共交通の充実
 - ・巡回バスの運行 ・駅前の活性化 など
- ④空き家・空き地の有効活用
 - ・空き地を活用した駐車場
 - ・空き家のリノベーション利用 など

〈私たちにできること!〉

- ◆大岡駅前の活性化のサポート
- ◆空き家・空き地の状況確認

3. 活力のあるまち

- ①大学・企業等の誘致で若者が多いまち
 - ・大学・企業等を誘致する
- ②スポーツを活かしたにぎわいづくり
 - ・愛鷹広域公園の改善 ・アスルクラロの応援
 - ・オリンピックに向けた取組 など
- ③特徴あるイベントの充実
 - ・マルシェの開催 ・イベントの増加 など
- ④人が集まる場づくり
 - ・歩いて楽しい商店街 ・遊べる場づくり
 - ・ほっとできる居場所 など

〈私たちにできること!〉

- ◆アスルクラロの試合観戦や応援
- ◆マルシェやイベント開催のボランティア
- ◆地域のお店の利用

4. 子育てしやすいまち

- ①子育て環境の充実
 - ・子どもを真ん中にするまち
 - ・次世代が住みたいと思うまち など
- ②安全な通学環境の整備
 - ・通学路の安全確保 など
- ③放課後児童教室の充実
 - ・楽しみながら学習できる機会の充実
 - ・高齢者の参加 など

〈私たちにできること!〉

- ◆得意分野を活かし、放課後児童教室での指導



5. コミュニケーションのあるまち

- ①地域の良いところの情報発信
 - ・“住みやすい地域”のPR
 - ・わかりやすい発信 など
- ②あたたかな声かけ、転入者等にやさしいコミュニティ
 - ・声をかけあえる関係がある
 - ・転入者や外国人も参加しやすい など
- ③助け合いの仲間づくり
 - ・現代にあった意見交換ができる
 - ・地域内で助け合いがある など

〈私たちにできること!〉

- ◆地域の人と元気にあいさつを交わす
- ◆今回のようなワークショップ(意見交換の場など)に参加する

【キャッチフレーズ】

海と歴史と人の幸 楽しく過ごせるまち 中央西地域

海と歴史と人の幸:千本松原や沼津港などの海の恵み、東海道などの歴史の恵み、心あたたかい人に恵まれた地域であることを表しています。

楽しく過ごせる:地域の人ばかりでなく、外国人や来訪者などを含めたすべての人が、地域との係わりの中で楽しく過ごすことのできるまちであることを表しています。

私たちの地域の未来

1. 自然と歴史の恵みを活かす

- ①豊かな自然を守り継承する
 - ・豊かな自然を守る
 - ・水産資源の保全 など
- ②自然資源を活かす
 - ・マリンスポーツを楽しむ
 - ・海岸線を活かした取り組み など
- ③歴史資源を活かす
 - ・パンフレットの作成
 - ・歴史資源を活かしたウォーキングコース など

〈私たちにできること!〉

- ◆ごみの分別
- ◆海岸でのイベントの参加
- ◆文化、歴史等を伝えるポスターの作成



2. 住みたいと思われるまち

- ①基盤整備を推進する
 - ・公共交通の利便性の向上
 - ・道路整備の促進 など
- ②住みたい魅力づくり
 - ・人が集まる地域
 - ・若者の就労場所がある など
- ③万全な防災体制づくり
 - ・安心できる防災体制の確立
 - ・災害時の避難場所の整備
 - ・ハザードマップの作製 など
- ④特色ある教育環境づくり
 - ・大学の誘致
 - ・高齢者と子どもとの交流 など

〈私たちにできること!〉

- ◆災害時の近所への呼びかけ
- ◆自宅に災害時の備えをする
- ◆散歩中、津波避難ビルの確認

3. 活気とにぎわいのあふれるまち

- ①にぎわいのある商店づくり
 - ・商店街の空き店舗の活用
 - ・商店街の魅力づくり など
- ②イベントの充実
 - ・定期的なイベントの開催
 - ・立地を活かしたイベントの企画 など
- ③情報発信の強化
 - ・地域のよさのPR
 - ・観光資源のPR など

〈私たちにできること!〉

- ◆商店の仲間づくりに参加する
- ◆イベントに積極的に参加する
- ◆SNSを使って情報発信する
- ◆観光客、友人に地域の魅力を説明する

4. コミュニティのきずなの強いまち

- ①子ども～大人まで盛んなコミュニティ活動
 - ・地域の人が集える場所の活用
 - ・意見交換ワークショップの開催 など
- ②外国人との交流を深める
 - ・外国人との交流の促進
 - ・案内板等の多言語表記 など
- ③高齢者が活躍できる環境づくり
 - ・高齢者が住みやすい地域
 - ・高齢者の就労環境の充実
 - ・世代間交流を促進させるイベントの開催 など

〈私たちにできること!〉

- ◆地域活動への参加
- ◆外国人との交流の場を作る
- ◆ファミリー層を助ける高齢者ボランティア



【キャッチフレーズ】

人とつながる 歩いて楽しい 沼津の玄関口 中央地域

人とつながる:地域住民はもとより、来街者、観光客、学生など、さまざまな人がつながっていく様子を表しています。

歩いて楽しい:狩野川沿いや商店街など、楽しく歩くことができる歩行空間が広がることを表しています。

沼津の玄関口:JR沼津駅をはじめ、商店街や公共施設、中央公園など、沼津の玄関口として多くの人でにぎわう状況が、将来にわたって続いていくことを表しています。

私たちの地域の未来

1. 交通の利便性の高いまち

- ①道路・公共交通の整備
 - ・駅南北のアクセス改良
 - ・駅や道路の整備
 - ・公共交通の充実 など
- ②歩行空間の整備
 - ・歩道整備
 - ・“せせらぎ”通りづくり など
- ③駐車場・駐輪場の整備
 - ・市営駐車場の整備
 - ・駐輪しやすい環境の整備 など
- ④首都圏との連携強化
 - ・通勤補助制度の検討 など

2. 市の「かお」にふさわしいにぎわいのあるまち

- ①地域のコンセプトの明確化
 - ・住む地域なのか、観光の地域なのか
 - ・地域のアピールポイントの共有化 など
- ②回遊性の創出
 - ・観光資源を活かす
 - ・沼津港とのつながりでにぎわいづくり
 - ・せせらぎのある商店街づくり など
- ③商業の活性化によるにぎわいづくり
 - ・商店街の活性化
 - ・商売をしやすい環境の整備
 - ・空き地・空き家の活用
 - ・集客力の高い店舗の誘致
 - ・個店の情報発信 など
- ④イベントの充実
 - ・情報発信、PRを効果的にする
 - ・イベントのやり方を工夫する
 - ・観光客も地元住民も楽しめるイベント など

〈私たちにできること！〉

- ◆身近な地域に関心を持つ
- ◆地元で買い物をする
- ◆魅力的なイベントに友人を誘っていく
- ◆SNSで発信する

3. 高齢者や子どもにやさしいまち

- ①子育てしやすいまち
 - ・子育て世代が住みやすい
 - ・子どもと遊べる場所がある など
- ②高齢者にやさしいまち
 - ・高齢者が住みやすい など
- ③病院・福祉施設のあるまち
 - ・医療、福祉、介護施設の提供
 - ・総合病院、救急 など

4. コミュニケーションがあり、安全・安心なまち

- ①情報発信力を高める
 - ・情報発信を工夫する
 - ・防災無線の広報への活用 など
- ②学生が元気なまち
 - ・学生合同イベントの開催 など
- ③安全・安心なまち
 - ・街灯の増設 ・防災イベントの開催 など
- ④ボランティアが盛んなまち
 - ・ボランティアに参加しやすい環境
 - ・学生ボランティアの活躍 など
- ⑤話し合う場がある
 - ・まちづくりワークショップの開催 など

〈私たちにできること！〉

- ◆情報発信していく
- ◆ボランティアに参加するだけでなく、企画する
- ◆自治会の活動に参加する



【キャッチフレーズ】

豊かな自然と活気がある 安心して暮らせるまち 中央南地域

豊かな自然:駿河湾を望む牛臥海岸や沼津アルプス、狩野川などの自然環境のほか、大平地区に広がる田園風景など、様々な自然に恵まれた地域であることを表現しています。

活気がある:牛臥海岸や御用邸などの地域資源を活かしたイベントによるにぎわいや国道414号静浦バイパスの整備を契機とした活性化など、活気のある地域としての期待があることを表しています。

安心して暮らせる:穏やかな住環境のなか、治安が良く、やさしさのあるコミュニティに囲まれて、安心して暮らしていける環境であることを表現しています。

私たちの地域の未来

1. 沼津アルプスを活かしたまち

- ① 登山道等の整備
 - ・登山道の整備 ・駐車場の整備 など
- ② アクセスの向上
 - ・駅からのコースづくり ・バスのフリーパス化 など
- ③ 魅力の発信
 - ・魅力をPRする ・沼津アルプスのマップの作成 など

〈私たちにできること!〉

- ◆沼津アルプスの整備(草刈りなど)
- ◆マップ作りにルート情報を提供する

2. 便利な交通手段のあるまち

- ① 幹線道路等の整備
 - ・沼津アルプストネルの整備 など
- ② 生活道路の改善
 - ・道路の拡幅 ・安全な通学路の整備 など
- ③ 生活に便利な巡回バス等の運行
 - ・巡回バスが定期的に走行する
 - ・商店、病院、公共施設を結ぶ路線 など

〈私たちにできること!〉

- ◆道路整備について、機会があれば要望していく
- ◆ノーカーデーを決める

3. ゆったりとして安心できる生活環境のあるまち

- ① 住みやすいまちづくり
 - ・良好な住環境が維持されている
 - ・買い物に困らない など
- ② 子どもを安心して育てられる環境づくり
 - ・公園整備など子どもの居場所づくり
 - ・登下校時の見守り など
- ③ 高齢者を支える仕組みづくり
 - ・高齢者の外出サポート支援
 - ・高齢者の学びになる場所づくり など
- ④ 安全・安心が感じられるまち
 - ・病院の誘致 ・地震・津波等への対策の強化 など

〈私たちにできること!〉

- ◆近所のゴミ拾い、草取り
- ◆公園に遊びに行く
- ◆子育て支援、子育てサポート、高齢者サポート
- ◆防災に向けて町内で話し合う

4. 人の交流によりにぎわいのあるまち

- ① 就労の場をつくる
 - ・民間企業等の誘致
 - ・大平地区への新規就農者の受入れ支援 など
- ② 観光のアピールポイントを明確にする
 - ・地域のよさのアピールポイントを探す
 - ・観光政策の充実 など
- ③ 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・聖地巡礼ツアー
 - ・フラワーロードの復活 など
- ④ 効果的なPR・情報発信
 - ・情報発信の強化
 - ・有名人を使ったPR など

〈私たちにできること!〉

- ◆SNSを使って魅力を発信する
- ◆知人、友人に沼津を紹介する

5. あたたかなコミュニティのあるまち

- ① 地域の人に参加できるイベントづくり
 - ・全員参加を目標にしたイベント
 - ・三校区合同のイベント など
- ② 気軽に集える場の整備
 - ・気軽に集まりコミュニケーションを図れる場づくり など
- ③ 地域情報の発信
 - ・SNSや広報による地域情報の発信 など

〈私たちにできること!〉

- ◆イベントへの参加
- ◆コミュニケーションの場で話を聞く
- ◆SNSで発信する



【キャッチフレーズ】

自然・文化と暖かな受け入れのある 多様性に富んだまち 南部地域

自然・文化:駿河湾や達磨山山系の豊かな自然のほか、長浜城跡、松城邸をはじめとする歴史・文化資源、ラブライブによる新たなにぎわいなど、多彩な自然や文化を持つ地域であることを表現しています。

暖かな受け入れ:都会や現代社会に疲れた人や癒しを求めている人がゆっくりできる環境や、海外からの方や幅広い年齢層の方など、様々な人々に対して暖かな受け入れ(おもてなし)のある地域であることを表現しています。

多様性に富んだ:来訪者にとっての魅力だけでなく、海上交通を含めた色々な交通の可能性や遊休施設の活用などによる土地利用、自然を活かした産業など、身近な生活の環境についても生活する人にとって多様性に富んでいることを表現しています。

私たちの地域の未来

1. 自然を活かした住みよいまち

- ①自然を活かし、守る
 - ・自然と調和の取れたまちづくり
 - ・自然、景観を守る など
- ②住環境を充実させる
 - ・買い物しやすい
 - ・ベンチのある公園
 - ・学校の存続 など
- ③医療・福祉の連携の強化
 - ・消防、医療、福祉等の連携強化
 - ・病院等の充実 など
- ④防災対策の充実
 - ・防災対策の強化
 - ・津波に強いまち など
- ⑤人との関わりを大切にする
 - ・チームワークを大事にする など

〈私たちにできること！〉

- ◆町をきれいにし、ゴミを出さない
- ◆できるだけ地元のお店で買い物する
- ◆地域活動に積極的に参加する

2. 生活基盤が充実したまち

- ①道路の整備
 - ・交通に不自由がない
 - ・幹線道路からのアクセスの向上 など
- ②渡船を含む公共交通の整備
 - ・海上交通(渡船)の検討
 - ・公共交通(バス)の増便 など
- ③土地利用の検討
 - ・新産業の誘致
 - ・遊休施設の活用 など

〈私たちにできること！〉

- ◆沼津市街への渡船が復活するよう働きかけをする
- ◆遊休施設の具体的な活用方法を提案する

3. 観光でにぎわうまち

- ①観光客が来なくなる魅力づくり
 - ・地域にあった観光ルートの設定
 - ・ヨットハーバーづくり など
- ②地域の魅力の情報発信
 - ・情報発信を活発にする
 - ・撮影場所の提供 など
- ③多様な人を受け入れるおもてなしの体制づくり
 - ・観光客、外国人などの受け入れ態勢の強化 など

〈私たちにできること！〉

- ◆地域や物語と関連付けてSNS等で情報発信する
- ◆ラブライブゆかりの地をめぐる





4 市長講評・意見交換の概要



西部地域

原、愛鷹、浮島地区は様々な地域資源にあふれています。原地区には、白隠禅師から帯笑園、浮島地区には興国寺城跡、そして愛鷹地区には旧石器時代の遺跡が出ており 3 万年前に人が住んでいたことがわかっています。こうした世界レベルの歴史的資源を活用することは重要です。

また、道路網の整備や、治水対策、沼川新放水路の整備などといった色々な取り組みが行われるところから発展する要素が大変多くあります。さらに、スマート IC 開設は、物流面で大きな流れをもたらしてくれます。現在、富士市長と連携して静岡県東部の発展のために共通の課題に取り組んでおりますが、その議論の中心がこの地域になります。

地域コミュニティがしっかりしている地域だという話もありました。この 3 地域では、世代をこえた連携がとれていて、コミュニティがそれぞれしっかりしているところから、「絆」の面がよく抑えられていると思います。

ららぽーとの話が出てきましたが、地域の活性化という点においては、新規雇用は 3,000 人以上の見込みがあり、若者が市外で就職していく問題にも対応できると思います。また、地域に対する波及効果も多くあり、ららぽーとの建設に合わせて周辺に様々な商業施設だけでなく進出企業も出てきており、発展する要素があります。

一方で、渋滞対策は喫緊の問題で、物流車両やららぽーと利用者もスマート IC を利用することから、片道一車線、歩道も狭いので危険という指摘がありました。さらに道路が東西南北足りない状況なので、現在、国道一号線の交差点の改良や金岡浮島線の整備を県とタイアップして進めております。車両のシミュレーションの話もできていましたが、こういったアプリケーション、ソフト等のコンテンツを活用しながら、交通体系を想定することも重要だと思いました。公共交通に関してバス路線があっても全体を網羅していない問題がありますので、新年度あたりから地域における公共交通の形態・形成についてしっかりと議論していく予定です。

広い土地がありながら、車で気軽に來ることのできる公園がないというご指摘がありました。自然を活用することも大事ですが、地域において子どもがのびのびと遊べる公園は大変重要です。外国の事例を学ぶことや、職員の研修の話もあったので取り上げていきたいと考えています。

この地域は農業に恵まれている地域で、アオイパークでは農業の最先端技術に取り組んでいますが、耕作放棄地も増えており、どのように活用していくのかも重要な課題となっています。西部地域の新しいブランドとしてオリーブや茶業、甜茶などの取り組みがあります。地域のブランドの立ち上げをしていくことが大切だと思います。アトピー対策、心と身体の健康づくりが非常に重要なテーマで、無農薬作物の栽培への取り組みに関しては、農業従事者や自営者の方々と連携をして行きたいと思っております。

個人的には、水を活用したブランドも良いのではと思っております。愛鷹の水は化粧品に使うものとして最高にいいものといわれています。高嶋酒造の話もありましたが、地域ブランドの立ち上げは非常にいいことだと思います。こうした地域における素晴らしいものを情報発信する事は行政に課せられた課題と捉えております。

東部地域

プレゼンテーションを行なわれた皆様、ありがとうございます。金岡、大岡、門池地域における現状、課題、いい点、悪い点を列挙していただき、地域における問題点を見出すことができ、大変ありがたいことだとおもいました。行政でまちづくりをするにあたり、重要なのは現場の声を反映することです。私も市議会議員を15年ほど勤めさせていただいた間には一貫して現場主義でありました。机上の空論にならないように、現場で何が起きているかをしっかりと把握することが大切です。そういった意味では、本日出していただいた様々なご意見、現状を訴えたいという思いがしっかりと伝わりました。

話を聞いていますと、金岡、門池、大岡を一つのまとまりとしたことの意味がよくわかりました。例えば金岡は昔3つの地域に分かれており、金岡東部が門池の一部になり、大岡地区の一部が門池になっていることから、住民のつながりがあることはもちろんですが、今出していただいた課題や、良いところなどにも共通点が多いと感じました。中心市街地から少し離れた周辺部に位置しているのも、いろいろなものが揃っていますし、道路網の整備もされているということですが、やはり中心市街地とは違う「住みやすさ」がクローズアップされていました。そうした中で、地域独特の課題があることもわかりましたので、解決に向けて取り組む必要があると感じています。

また、地域の自然とか歴史といった地域資源をしっかりと見つめていて、今後活かしていくことにも触れられていましたし、コミュニティの連携ができていく地域だということもわかりました。

まちづくりを進めるにあたり、全市的なことを考えていくことも非常に大切ですが、自治会単位、それをまとめるコミュニティ単位がしっかりとできていて、その連携がとれてはじめて本当の意味での地域づくりができると思います。その地域づくりができて、全体としての沼津市の地域づくりにつながるのも、今回の様々な意見はとても重要だと思います。

地域柄でしょうか、愛鷹総合運動公園があることからスポーツを活用したまちづくりという意見もありました。現在、沼津市体育協会の皆さまが「スポーツの香りのする街・沼津」というスローガンで取り組んでいます。沼津では「見て楽しむ、支えて楽しむ、行なって楽しむ」そんなスポーツに関してのまちづくりを進めようとしています。アスルクラロの支援だけではなく、スポーツを活用したまちづくりは非常に重要だと感じていますので、しっかりと進めていきたいと思えます。

小さなお子様から、高齢者の皆様まで、安心して暮らすことができる、また共生社会という言葉もありますので、共生ができるしっかりとしたまちづくりを進めることにおいても、周辺部にある地域だからこそ抱えている問題がクローズアップされていました。道路整備の面で、外部に出かけるときは便利ですが、中心市街地に向かう時は不便というご指摘で、正直驚きました。都市計画を専攻して今まで勉強してきましたが、こういった発想がなかったことが問題だったと感じています。こちらも念頭におきながら地域のネットワークを構成できるようなまちづくりを進めてまいります。

(キャッチフレーズの) ほぼ街暮らしという表現は地域性が出ていると感じました。こうしたものを大切にしながら、今後、地域に適したまちづくりを進めてまいります。

意見交換

質問

スポーツを主にしたイベント、大会や試合を開催してもらえないでしょうか？

市長

沼津市体育協会の役員、スポーツ少年団の本部長も務めているので、スポーツは重要なテーマだと捉えております。今の市民体育館で大きな大会の誘致は、空調やキャパシティ等の問題から難しいので、現在、新総合体育館の新設という話を沼津市で進めております。

また、アスルクラロが J3 で頑張っていますが、J2 昇格に向けての取り組みを進めています。その為にクリアすべき課題がいくつかあり、第一にホームグラウンドである愛鷹総合運動公園が多目的競技場という位置づけになっております。サッカー専用のスタジアムでないことで他の競技団体との連携を取らなければならないことや、座席、照明等のクリアすべき課題があり、競技場を管理している静岡県と話しながら、まずは施設面でクリアしようとしております。

キラメッセぬまづに隣接しているプラザヴェルデという大きな施設があり、そこではスポーツ関係のイベントを行うことができますので、誘致可能となっております。

沼津には海がありますので、マリンレジャーとしてヨット大会、サップ、ウインドサーフィンだけでなく、色んなことを誘致していこうと取り組んでおります。

また、沼津にはフェンシングの有名な選手を輩出しているチームが 2 チームあり、キラメッセでも子ども向けのフェンシングの大会をしておりますが、更に規模を大きくしていく仕掛けを行なっていきたいと思っております。

いずれにしても揃っていないものに対しては補完し、既存の施設を活用した取組みや、自然環境を活かしたスポーツの誘致を仕掛けていかなければと考えております。アイデアを頂きながら、色々と検討させていただきたいと思っております。

質問

千本浜の美化について、ホームレスの小屋があるが、将来的にどのような考えをお持ちでしょうか？

市長

なかなか難しい問題で、人権を見極める必要があります。千本松原は素晴らしい景勝地であり、市の貴重な憩いの場であることも間違いありません。しかしながら、強制退去させることはできませんので、ご指摘いただいた点も念頭において、丁寧な説明をさせていただきながら、本来あるべき公園の姿を堅持し、訪れる観光客に対しても配慮して取り組んでまいりたいと思っております。

質問

「この子のかわいさ」という子守歌でまちおこしができないでしょうか？沼津市全体を元氣にするためにこの曲で何かできないでしょうか。

市長

私もこの歌の意味を知っていただきたいと思っています。「早く寝てほしい、早く寝てくれないと困っちゃうよ」、「早く寝ないとおどかしちゃうぞ」という内容が全世界でもほとんどという中で、この子守歌は「可愛くてしかたない、愛おしい」という気持ちを歌ったもので沼津の誇るべき宝だと思います。まちおこしになるかわかりませんが、曲の内容がわからない方が多いと思うので、ホームページに載せたり、ちょっとした冊子を作成してお母様方に配布して、歌の素晴らしさやふるさとの良いところをお伝えしていくことも一つだと思います。この曲は、世界に誇れるといっても過言ではない母の愛情のこもった子守歌だと思います。

中央西地域

我が国の大変美しい言葉として「言霊（ことだま）」がありますが、発表から「言葉には魂がある」ことを感じました。

この地域は沼津市が誇りに思えるポテンシャルが集約された地域だと考えています。海岸線があり千本松原があり年間 150 万人の方がいらっしゃる沼津港がある。そういうものをしっかりと認識されて皆さんが日々生活をされていると改めて感じました。

沼川の桜は鮎釣りがあり有名で、近隣の方だけでなく遠くからも多数来られると聞いています。歩道沿いの環境整備など、管理者と連携して進めていきます。桜の時期だけではなく、景観や憩いの場としての活用、ウォーキングやサイクリングも含め、この地域は非常にいいと思います。

また、若い人達には住みやすいですが高齢になると商店や病院に行くのが大変だという話がありましたので、ミューバスの復活などの交通連携や、ららぽーととの連携等の地域における公共交通網の話し合いは今後進めて行きたいと思っています。

水害対策として沼川の問題があります。一昨年7月に新沼川放水路の工事着工となりました。平成 44 年の完成ですが、1 日でも 1 年でも工期が短くなるよう働きかけを継続するとともに、上流部の治水対策も総合的に行うことで下流部地域の浸水対策をしっかりと進めて行きます

通学路の安全確保は重要です。限られたスペースの為、歩道拡張となると周辺の方々に移転してもらい必要があるなど大変な事業になりますが、例えばガードレールの設置や歩道部分を分かりやすくするなど、取り組める事を一生懸命やっっていこうと考えています。

東西の道はあるけれども南北の道が無いというのはその通りで、特に片浜・今沢は問題になっています。移転の問題もあるので地域住民の方々としっかり話をしながら、解決の為に出来ることをしっかりと進めて行きたいと思っています。

第二校区は沼津港があり、地域コミュニティがしっかりしていて、子どもが素直で素晴らしいということでした。昭和 54 年に沼津市が「地域の子どもは地域で育てる」ということで、青少年健全育成推進委員会との連携を行いました。なかなか難しい状況でした。この地域ではしっかり行われていることを先進事例として学ばせて頂き、全市への波及に努めたいと思います。

また、情報伝達の仕方も重要であるとのことでした。イベントや素晴らしいものがあっても点で存在していて面になっていないとのご指摘は、まさしくその通りだと思います。イベントだけでなく地域の文化や宝を面として、市全体で取り組んでいけたらと思います。沼津だけでなく周辺市町においても連携できる事を面として捉える施策を展開し、みなさんに分かりやすい情報発信をして、知名度を上げて多くの方々が来やすい環境を作って行きたいと思っています。

若い世代からシニア世代まで、やる気のある方が沢山いらっしゃいます。若い方や高齢の方で活躍されている「人財」の活用にとり組み、そこから「楽しく過ごせるまちづくり」になると考えています。

地域のポテンシャル・宝を大事にしながらみんなで盛り上げていくという意思の素晴らしいプレゼンテーションでした。

中央地域

中央地区は第一校区と第五校区ということで、現状では 80m 幅ある鉄道路線によって両地区が分断されていることが、今回地域住民の生の声としてはっきり分かりました。私も議会におりました折、第一・第五校区の方にまちづくりに於いての交流や、商店主の連携などについて聞いたところ、ほとんど無いと言われた事がありました。PTA の時にも連携が無いと感じていた事が、本日の発表でありありと出て来ました。沼津駅は沼津市の顔であり、駅を中心とした第一・第五校区はまさに沼津にとっての顔です。その大切なエリアで連携が出来ていない事は、中心市街地の空洞化の原因になっていると如実に感じました。

また、地域コミュニティに関するお話もありましたが、第一・第五校区のそれぞれにおいてはコミュニティとしてしっかり連携ができています。それならなお、沼津の顔という所（第一・第五校区）がしっかり連携をはかる事で更にこの地域の魅力が増してくると感じました。

併せて、連携が出来ていない要素にもなるかもしれませんが、あまねガードの話がありました。私も第五校区に住んでいたこともあり、中心市街地に行くのに、あまねガード（昔の中央ガード）が暗くて狭くて恐かったです。今は絵を描いたり照明をつけたりするなどしていますが、やはり狭い事には変わりなく、急勾配の為バリアフリーの観点からも対応していません。そう行った所の解消をし、中心市街地においては人に優しい人が集まりやすい公共空間をしっかりと作って行く事が重要です。バスロータリーやタクシープールではなく、北口には素晴らしい駅広が出来て、南口にはそれをステップアップして、「人」を中心としたイベントなどを開ける空間形成を進めていきたいと思っています。

鉄道高架事業に関しては構想から 30 年、都市計画決定されてから 10 年以上が経っていますので、県知事も決意を持って進めるという事でしたので、市も全面的に協力して、沼津の中心地における顔作り・まちづくりをしっかりと進めていこうと考えています。

また、情報発信について、終ってしまってから知るのでは何の意味もありません。沼津市では LINE や Twitter など様々な媒体で情報発信をしていますが、市民の皆さんに伝わってなければ意味がありません。私自身は facebook、LINE、instagram、Twitter の 4 つに取り組んでいますが、それでも情報が届かないと言われます。事後ではなく事前に情報が伝わり、より多くの方の参加により賑わいを創出することが大切です。しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

また駅の近くでありながら、公共交通の不便があることも改めて認識しました。確かに鉄道路線の為、北側と南側のバスの連携がうまく行ってないことがあります。今そういった地域における公共交通の体系を見直して行こうと取り組んでいる最中で、中心市街地においては立体的な見かたでまちづくりを進めていきたいと思えます。

また、ラブライブサンシャインの話が出ましたが、今日（平成 30 年 12 月 8 日）スポーツ報知（報知新聞）の特集号が発行されました。そんな形で色々な方が沼津の情報発信をしてくれています。

市民の皆様方にも協力をいただくことは大事ですが、市外との連携も重要と考えています。市民の皆様及び関係の方々との連携しながら情報を共有させて頂き、沼津をいかに PR して行くか考え、進めていきたいと思えます。

意見交換

質問

2年前に新潟県上越市から引っ越してきました。話し合った内容が聞き入れられるのかとの不安もあったが市長の誠実な回答に安心しました。ワークショップに参加して私自身が地域を知ろうと受け身ではなく行動するようになりました。このような会を開催していただくことが人の心、人を動かすと感じたので、またこのような機会があればぜひ参加してみたいと思います。

市長

人口減少で沼津が大変厳しい中、日本海の新潟県から太平洋の沼津市にお越しいただき心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

ご指摘いただいた内容がこのワークショップの原点です。行政が様々な取り組みを行う上で市民との協働は重要ですが、どうしても行政サイドで考え、議会で決定して行く形で進みます。議決で決定されることは問題がないと思いますが、様々な意思決定を行う時には市民の皆様の声はとても重要なものと考えております。そういう点で今日このようなご意見は大変ありがたいですし、今後ともこういう機会づくりに取り組みたいと考えております。その際は、ぜひ（自身の）色々なご意見と地域にあるご意見をお聞かせ頂き、この会議で得たものを自らが情報発信して頂く事をお願いしたいと思います。

質問

鉄道高架化が県の事業ということでしたが、南北の交通の利便性だけでなく中心市街地の活性化にどうすれば役立つかを、県の事業プラスアルファで考えて頂きたいです。

市長

沼津駅周辺総合整備事業を進めています。この中心になるのが鉄道高架事業で、県と市が共同で行っています。鉄道高架事業をやるだけでは基礎を作るだけでまちの活性化になる訳ではありません。鉄道高架によりどのようなまちづくりを進めるのかが非常に重要です。今の段階では南北の交通の妨げになっているという問題があります。13の踏切がなくなり新たに10本の道が出来て南と北の連携がスムーズになることで、南と北のまちづくりを一面で進める事が出来るということです。

また、高架下利用も重要で、様々な導入の仕方があります。昔は振動や騒音が言われていましたが、鉄道高架の最新の工法を使う事ができるので、最大限の活用することで、高架線下にホテルや公共施設の導入、中心市街地では当たり前と言われる託児して買い物ができる施設等の導入も協議できると思います。合わせて駅の南口と北口をつなぎ、人を中心としたまちづくりを進めることに於いては、今までのように車中心ではなく、例えば駅の所を中心とした広いエリアでイベントができるような公共空間を新たに作る事が出来ます。

全国の先進事例やそのノウハウを取り入れていくため、都市再生機構（UR）と協定を結ぶ事にしました。

30年40年前はこの地域は沼津の中心でしたが、移転によるドーナツ化が起きてしまいました。しかしインフラは整備されています。プラスアルファの鉄道高架をすることによって、新たな公

共空間が生まれるとすれば、この沼津市を再生する最大限のチャンスだと考えております。

質問

片浜中学校の3年生が総合学習で作成した、中学生目線の“沼津のまちづくり企画書”を預かってきたので見て頂きたいです。

市長

中学3年生の皆さんのまちづくりに対する思いという事で企画書を頂ました。こちらの方はしっかりと見させて頂き、中学3年生の皆さんに私なりの回答を出させて頂くことを、この場でお約束させて頂きたいと思えます。

私達ちも市民アンケート等を行います、書面になってしまいます。今回は顔と顔を合わせながら、目と目を見て話し合いをする事で、様々な課題、誇りに思える事など色々お伝えいただきました。沼津市がこれから施策を展開して行く上で、重要なキーワードがいくつもありました。その辺りの事もしっかりと整理させていただき、今後のまちづくりに活かして行きたいと思えます。もちろん中学生の生の声もしっかりと受けて、共にこの沼津市を誇り高き元気なまちにして行く為に、私自身できる限りの努力をして、トップセールスしなければならないことも一生懸命頑張らせて頂きます。

こういう機会を通じて関わって頂いた皆さんは、地域のリーダーであると私は捉えています。皆さんがリーダーとして情報発信し、まとめ役になって頂きたいと思えます。SNSを通じて活動している方がいらしたら、最大限に活用して頂きたいです。SNSだけでなく井戸端会議も大変重要なことです。

沼津にあふれているマイナスの話を払拭し、沼津に沢山あるいいものを活用できていないのは我々であることをしっかりと反省させて頂き、いいものをどんどん情報発信し、共有し、面としてしっかりと活用する事が大変重要です。

中央南地域

中央南地域は沼津アルプスの中心に位置しており、自然環境に恵まれているだけでなく、歴史的なものや文化も根付いている地域であり、だからこそコミュニティの活動が盛んであると捉えています。今の時代に於いて、そのコミュニティ活動自体が負担になるというご意見もあるため、コミュニティに関して負担の無い取り組みができるとよいと思います。

沼津アルプスは全行程を片道約7時間、途中で疲れても色々な所で降りることができ、首都圏を中心に多くの方が訪れる百名山の一つです。皇太子殿下がお忍びで沼津アルプスに登られて、大変気に入って頂いたという事です。沼津は御用邸、皇室とのご縁があるので、沼津アルプスにとどまらずそういうものも最大限に活用し、PRすることも重要だと考えます。登山道の整備は大変重要ですが、地域で登山道の整備清掃活動など一生懸命やっていたらっしゃる方がいるのも存じております。プレゼンでも「自分たちに出来る事はやります」というお話がありましたので、ご相談させていただきながら共に活用を図るのも大事かと思えます。

いずれの地域も狩野川や駿河湾など沿岸部であり、災害対策は非常に重要と認識しています。太平洋地区における水害などの自然災害対策と第三・第四地区における水害対策は国土交通省や県に絡むこともあるので、連携をおこない、地域の皆様と共有しながら地域にあった災害対策につなげていくことでより安全安心なまちづくりが進められると考えています。

幹線道路について、特に観光シーズンは「生活に使われる道」と「伊豆への通過交通」とをいかに分散するかが重要だと思います。今年3月に沼津アルプス道路・静浦バイパスの貫通式典が行われました。県とも協議をさせて頂き、出来るだけ早く完成するように進めています。この道路には伊豆半島の方から早く作って欲しいとの要望もあります。伊豆半島の方から来る方も使わせてほしいとのことでした。この地域に多くの方が訪れるチャンスがあるということになると、登山道の整備だけでなく県とも協議して沿道の土地利用の規制緩和など行い、せっき交通交流の拠点になる可能性があるとするれば、最大限に利用して地域の活性化に結びつけたいと思います。

また、就農の話がありましたが、農業にも素晴らしい環境です。特に大平には「するがの極」という特別なお米を作って農業に力を入れています。土地の有効活用には企業誘致もあります。道路がせっきできるのであれば、生活の利便性を向上させるだけでなく、経済活動にもしっかりと結びつけるべきだと考えています。

子どもがのびのび遊ぶ環境が無いというご指摘をいただき、通学路の問題もこのエリアに於いてはなかなか難しいところがあるのかなと考えています。歩道や通学路の問題も含めて、安心安全な道、そして地域の住民の方が安全に活用できる道路づくりは大変重要と考えています。

南部地域

今回のワークショップを通じ行政が身近になったとか、市長と話ができてありがたいと言って頂きました。市役所は「市民にとって役に立つ所」であり、今後も「市民に身近な市民の為になる場所」になるように努めていきます。

三浦地区では駿河湾越しの富士山がいかに重要かと熱弁をふるっていただきました。駿河湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しています。世界で最も有名なものが、三浦地区からは両方見られるということです。その活用は今後の沼津の展開において非常に重要であると考えています。

昭和14年にニューヨーク万博が開催された時の「日本を代表する風景」は達磨山付近から見た駿河湾越しの富士山でしたし、ヨーロッパの小学校の教科書などにはこの三浦地区の写真が日本を代表する風景として取り上げられた時期もありました。

先ほどタカアシガニの話が出ましたし、駿河湾は深海魚が採れます。これらを活用して地場産業を盛り上げることは非常に重要です。

三浦地区にはみかん農家の方もたくさんいらっしゃいます。「ゆら」という新しい品種もあります。最近は甘みのあるレモン「レモネード」が取り上げられて、高級フランス料理のシェフが海外でも使いたいとのことでした。この取り扱い方次第では、西浦地区の柑橘類が世界レベルでクローズアップされます。また、「タチバナ」も化粧品に利用したりジャムにしたりと色々な取り組みをやっていますし、寿太郎みかんのワインも作っています。農協と試行錯誤することも重要で、これも企業と行政のコラボレーションです。そういう施策の展開によって地域の宝を世界にPRする事も重要だと思っています。

干物フェアでギネスにチャレンジして認定されたことで、沼津の干物は大変クローズアップされました。私もそれを最大限活用しようと、オリンピックメダリストで日本フェンシング協会会長の太田さんに沼津の干物をアピールする情報をSNS発信してもらいました。地域にある当たり前のことが実は宝物であることを改めて認識する事も重要なので、皆さんもどんどんPRして頂きたいです。

南部は沿岸部ですので、災害対策は喫緊の課題です。道路網の整備、公共交通に関しても厳しい状況であることを踏まえ、中心市街地の公共交通の体系だけでなく、地域ごとの公共交通網をどう策定し決定していくかという話を今進めています。

また、高速道路との連携という話もありました。東駿河湾環状線と伊豆縦貫道とが連結し高規格道路になりますが、何れにしても東名・新東名とを結ぶ大変重要な幹線です。沼津の中心市街地を抜けて行く道の整備を進めることで、どの方向からも幹線を活用できる体系づくりを進めます。

意見交換

質問

プレゼンテーションで、この会場にいる私達に出来る事をたくさん提案させていただきましたので、この提案を踏まえて、沼津市が行政として出来ることを一つでも多く提案していただければと思います。

市長

沼津をどうしたらいいか、この地域をどんな方向にもっていくのかを行政が取り組むのは当たり前の話ですが、市民の方々一人一人がそのことを認識して共にまちづくりが展開できるのが理想です。それが上手くいかない為に行政と市民のギャップが発生してしまい、軋轢が生じたり、上手くいかなかったりということが出てくる訳です。

自助、共助、公助とありますが、これは災害のためだけのことで無いです。自助、共助というのは普段の生活の中においても、地域におけるコミュニティ活動やまちづくりにも生かせるものと考えています。

皆さんが自らのまちのことを真剣に考えることは大変重要です、そのことを我々行政はしっかりと受けて、どういう形でできるのか、現在の状況を踏まえて将来展望の方向性を考えていかなければならないと思います。今回多くの課題や地域の皆さん自ら行っていただけることの話も頂き、その点において、行政が出来ること、地域住民の方々にご理解頂いてやっていただけること、協働で行うこと、その住み分けをしっかりとできればと考えています。私一人ではとても無理ですので、皆さんと当局 2,000 人の職員と協力しながら、その展開を諮れるように頑張っていこうと思っています。

質問

商業のまちと言われた沼津が今は様変わりしています。次の沼津が進む所を商業から観光へとシフトしたら、都会に行った子ども達も戻ってきて発展させたい、活気あるまちになると思います。

市長

この沼津は富士山、駿河湾、箱根、伊豆があり、有名どころの観光地の真ん中にありますので観光を意識した行政は非常に重要になると思います。沼津だけで考えると、非常に近視眼的になってしまいます。もちろん沼津にある観光資源を活用するのは重要ですが、もっと大きく見た場合、最近ではサイクルツーリズム（自転車での旅行）もあります。これは沼津でも素晴らしいところがあります。私もこの間台湾のサイクルツーリズムの有名な方がいらしたので、一緒に自転車で近隣の自転車のメッカになるような所へ行きました。その時は大平にも行きました。大変素晴らしいとのことでした。ただ、滞在してもらうことも大切です。ある程度広域的に捉えた場合には宿泊が発生しますし、沼津港などで食事や土産の買い物をしてもらうことになります。観光だけでなく、そういう波及効果も含め物事を行っていかねばいけないと思っています。商業は、商都沼津と言われた時期は商圏人口が120万人程ありました。今は30万人くらいだと思います。しかし最近中心市街地はリノベーションによるまちづくりで、使われていなかった所に

新たな店が出店するような取り組みも行っています。中心市街地はもう既存のインフラ整備が出来上がっているため、古くなったとはいえ十分利用できる所がいくらでもあります。そういう所に魅力ある個店が出店することで、また新たな商店の形成ができます。来年にはららぼーと沼津もオープンします。中心市街地ではそういった取り組みをしながら郊外の取り組みと連携していく。そのためには公共交通の体系が重要です。そこから全体的な発展に繋げていくよう展開していきたいと思います。

観光は重要な事だと思いますので、単に儲けるという事だけではなく、本市の PR につながるような展開が重要だと思います。

質問

市民一人一人が地元の素晴らしい所を常にプレゼンできるようにならなければいけないと感じました。今回のたくさんの意見を市政に生かして、沼津が盛り上がってほしいと思います。

市長

今年3月に前市長が急逝という形で亡くなり大変驚きました。1ヶ月くらいしか選挙期間がなかったのですが市長選に立候補させて頂いたのは、皆さんもお感じだと思いますが、「沼津ってどうしてこんなになっちゃったんだろう」「このままで本当にいいのだろうか」と未来に対しての展望が開けないんじゃないかという思いがあり、15年市議会議員だったので、市長として何とか沼津を明るく元気な方向に導ければと一大決心をしたからです。

とはいえ全国レベルでものを考えると、20万人規模のまちであることと、大型公共事業を認められているまちであることはすごく大事なことです。国も県もゆとりのない財政の中で、全国各地均等に予算を投下する時代はもう終わってしまいました。静岡県ではいくつかの市に予算を集中して投下し地域の拠点を作り、その拠点で地域をサポートするまちづくりをこれからはやっていきます。その表れの一つが国土交通省の進めるコンパクトシティです。そういう意味で沼津はまだ捨てられていないまちであるということが、大型公共事業が認められているところでよくわかります。沼津にはまだまだ可能性があり認められている地域です。そして伸び代がいくらでもあります。

30年40年前は県東部の核と言われ、市民が誇りを持っていたと思います。もう一度市民が、県東部において“やはり沼津なんだと言われるようなまちづくりをしなければ”と思えば沼津は必ず復活できると思います。

沼津にもいいものがあります。沼津が持っているポテンシャルを發揮し、沼津の魅力や情報をもろろん行政もですが市民自らが発信していく。そういうことを通じて、お客さんが来る体制を作っていく。例えばラブライブのファンの方で沼津が素晴らしいと引越しを考えてくれている方、引っ越しされた方もいらっしゃいます。そういう動きを市民の皆さんと共有できれば、今の状況を打開し市民が誇りを持ってこの沼津に住めるようなまちづくりが進められると私は考えております。

今日参加して頂いた皆さんにはぜひその思いを共有し、まちづくりを共に進めていくのだという心根をもっていただければありがたいと存じます。ダメなんだではなく、この地域の為に何を

しよう、こういういいものがあるのだから活用していこうよというプラスの発想が大事だと思います。プラス思考は前に進む為のいいものが必ず生まれる。その思いを共有していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

質問

戸田に県外から引っ越してきました。子供もいるので津波が怖く引っ越しも考えましたが、地域の繋がりがとてもいいので結局住んでいます。

今食堂でおばちゃんをしているので観光の方が来ますが、今戸田で有名なものや山一つ越えれば見える富士山も案内できる。自分のいまの職業に生かします。

市長

別の会場でも新潟県から結婚で移住された方がいらっしゃいました。本当にありがとうございます。

戸田の魅力は地域の皆さんが情報発信をしなかったら他の方には分からないですよ。知らなければ、観光の要素として取り扱われない。

来年、デスティネーションキャンペーンという静岡県が旅行のターゲットになるキャンペーンがあります。その為に旅行代理店の方とタイアップさせていただき、沼津の魅力発信の取り組みをしています。その為にはどんな素晴らしいコンテンツがあるのかを情報発信することが大切です。例えばちょうど戸田港の隙間から見える富士山や戸田地域からしか見えないすごく鋭利な富士山の形もほかでは絶対に見られない。そういうのも当たり前にしなくて、いいものはとにかく情報発信する。そんなことを私も取り組んでいきたいと思います。

質問

我が家は5人家族の内、日中沼津にいるのは高校生の息子一人です。住む場所として沼津はとてもいい所で気候も治安も良くとても気に入っていますが、日中にいる場がないのが残念です。

企業の誘致は難しいかもしれませんが、サテライトワーク（働く場所だけを地域に持って来る）という働き方も出来てきています。沼津市としても何かそういう働く場を広げるような活動をしていただきたいです。

市長

沼津には大学がなく近隣市町でも三島市だけになってしまいました。キャンパスを誘致するのはなかなか難しいので、サテライトキャンパスを誘致するために今大学といろいろな協定を結んでいます。企業ともそういう協定を結びつつあります。沼津市内の企業をPRするのも非常に重要です。「ぬま job」という沼津市独自のサイトがあり沼津市のオンリーワン企業の情報発信をすることで、若い優秀な世代が沼津にそういう企業があるなら沼津に留まろうと思ってもらえるような環境整備をしたいと思っています。合わせて今お話しいただいたような取り組みも研究させていただくのも重要だと思います。これからもしっかりとやっていきたいと思っています。

質問

就職困難者や引きこもり、ニート、途中で学校を辞めてしまった子供などが仕事を探すのが大変で職安に行っても仕事がありません。自立支援として手に職をつける為の職業訓練所のような場所を作って欲しい。それと併設して日本語学校などがあっていいと思います。

市長

国も沼津も共生社会を進めていく時代になりました。弱者と言われる方々にもしっかりとした支援を行うことは行政に課せられた重要なテーマだと思っています。

ただ、引きこもりの方などをいきなり就労させるというのは、メンタルの面に於いても難しいことです。そのあたりは段階が必要です。サポートされている NPO 法人の方々との連携により、引きこもりになっている原因について家族と相談したり、直接ご本人と話ができる環境をつくったりするなど、一歩ずつでも外に出られる環境が出来て初めて次のステップということがあるので、まずその為の体制作りを進めています。

合わせて労働局とも雇用に関する協定を結ばせていただき広範囲に渡り取り組みを行っていきます。引きこもりや不登校の子供達を受け入れてくれている学校も近くにあります。そういう機関とのネットワーク、外国人だとまた別の領域になりますが、それぞれの専門的な方とのネットワークを構築しながら、その方々にとってのより良い方向性を見出すシステムを作っていければと考えているところです。







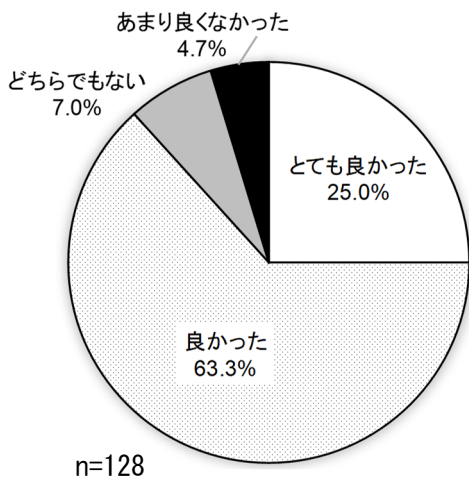


5 参加者アンケートのまとめ



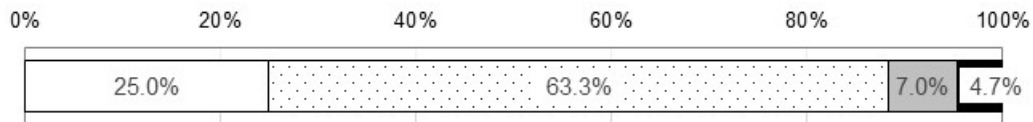
ぬまづ地域デザインワークショップアンケート調査結果

問1 会議の進め方はいかがでしたか



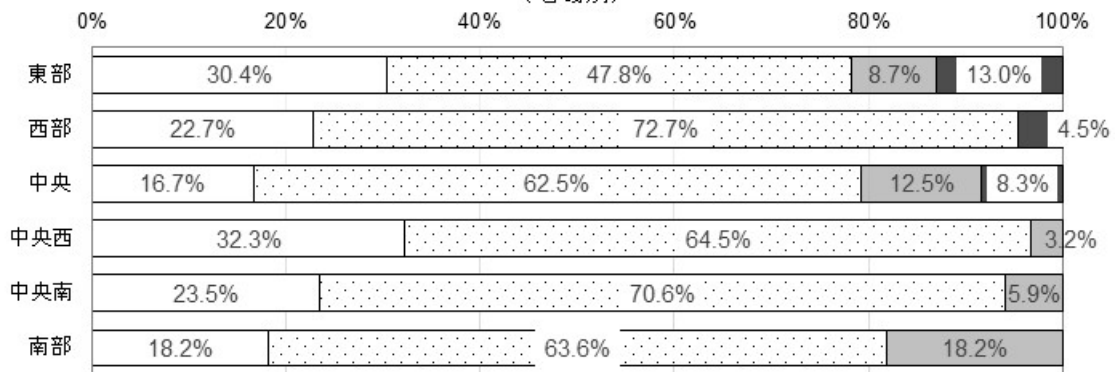
- ・「とても良かった」、「良かった」と回答した参加者が約88%を占めており、ワークショップへの評価が高いことがわかる。
- ・10、20、80代の参加者はほぼ良かったと評価している一方で、30～50代、70代の参加者の中には良くないという評価もある。
- ・地域別でみると、東部、西部、中央地域といった地域で、良くないと感じた参加者が見られる。
- ・性別でみると、女性の方が良かったという回答の割合が多い。

問1 会議の進め方（全体）

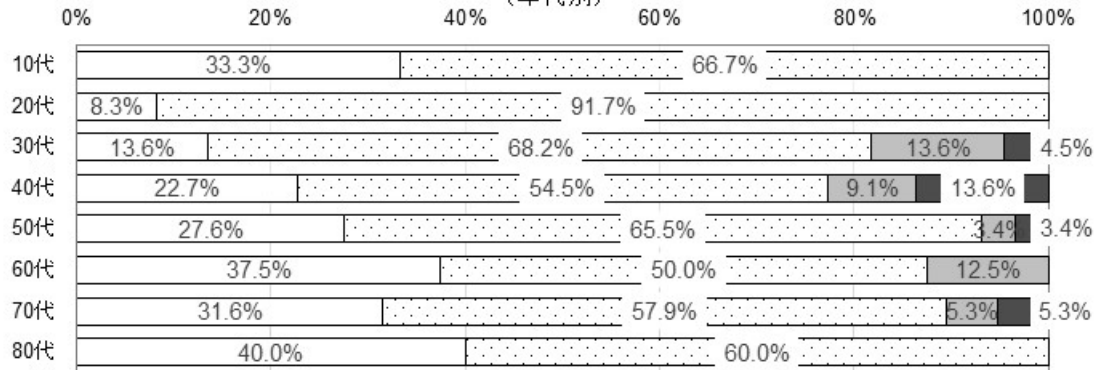


□とても良かった □良かった □どちらでもない ■あまり良くなかった □悪かった

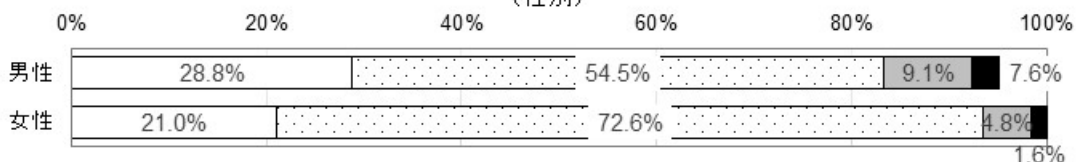
（地域別）



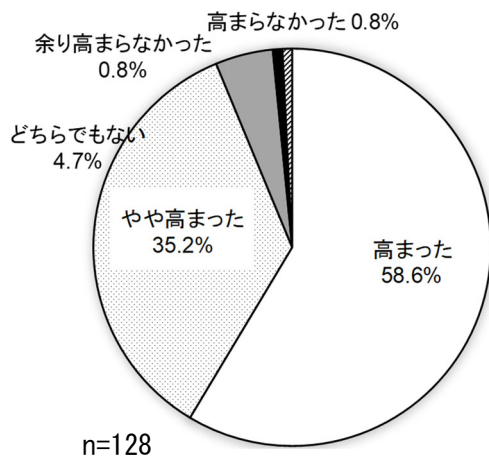
（年代別）



（性別）

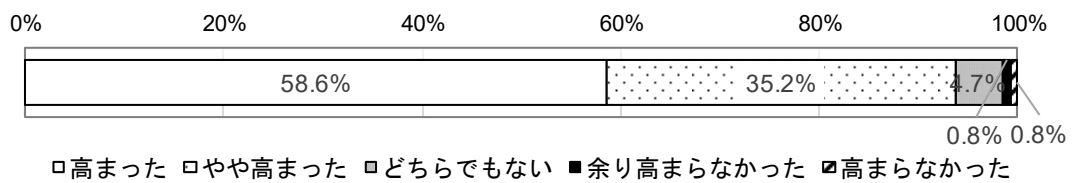


問2 会議に参加して、お住まいの地域のまちづくりへの関心は高まりましたか



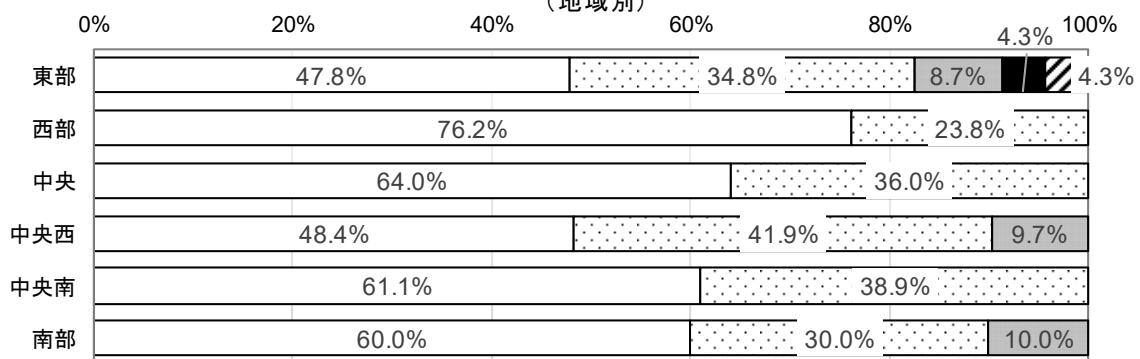
- ・「高まった」、「やや高まった」と回答した参加者が約94%を占めており、ワークショップが地域のまちづくりを意識する機会になったと考えられる。
- ・地域別では、西部地域の約76%、性別では男性の約65%が「高まった」と回答しており、地域のまちづくりへの関心の高さがうかがえる。

問2 お住まいの地域のまちづくりへの関心（全体）

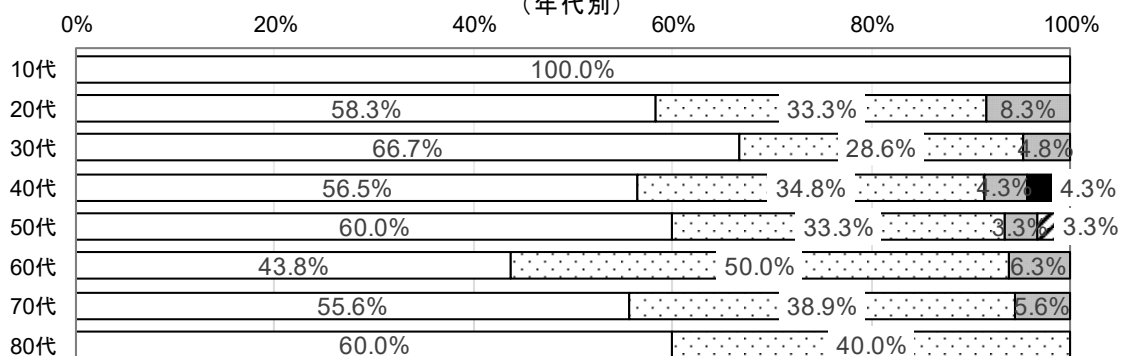


□高まった □やや高まった □どちらでもない ■余り高まらなかった ■高まらなかった

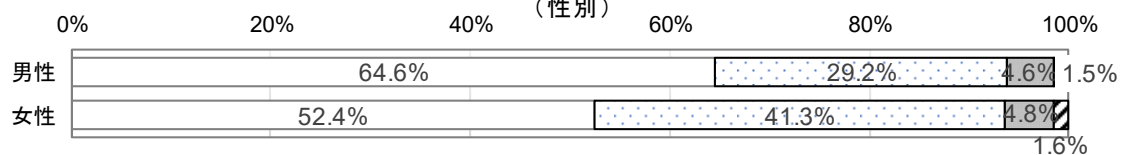
(地域別)



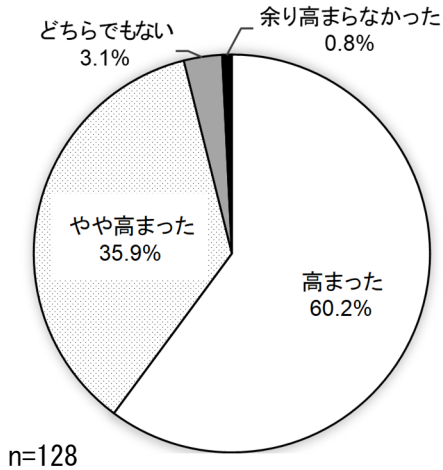
(年代別)



(性別)

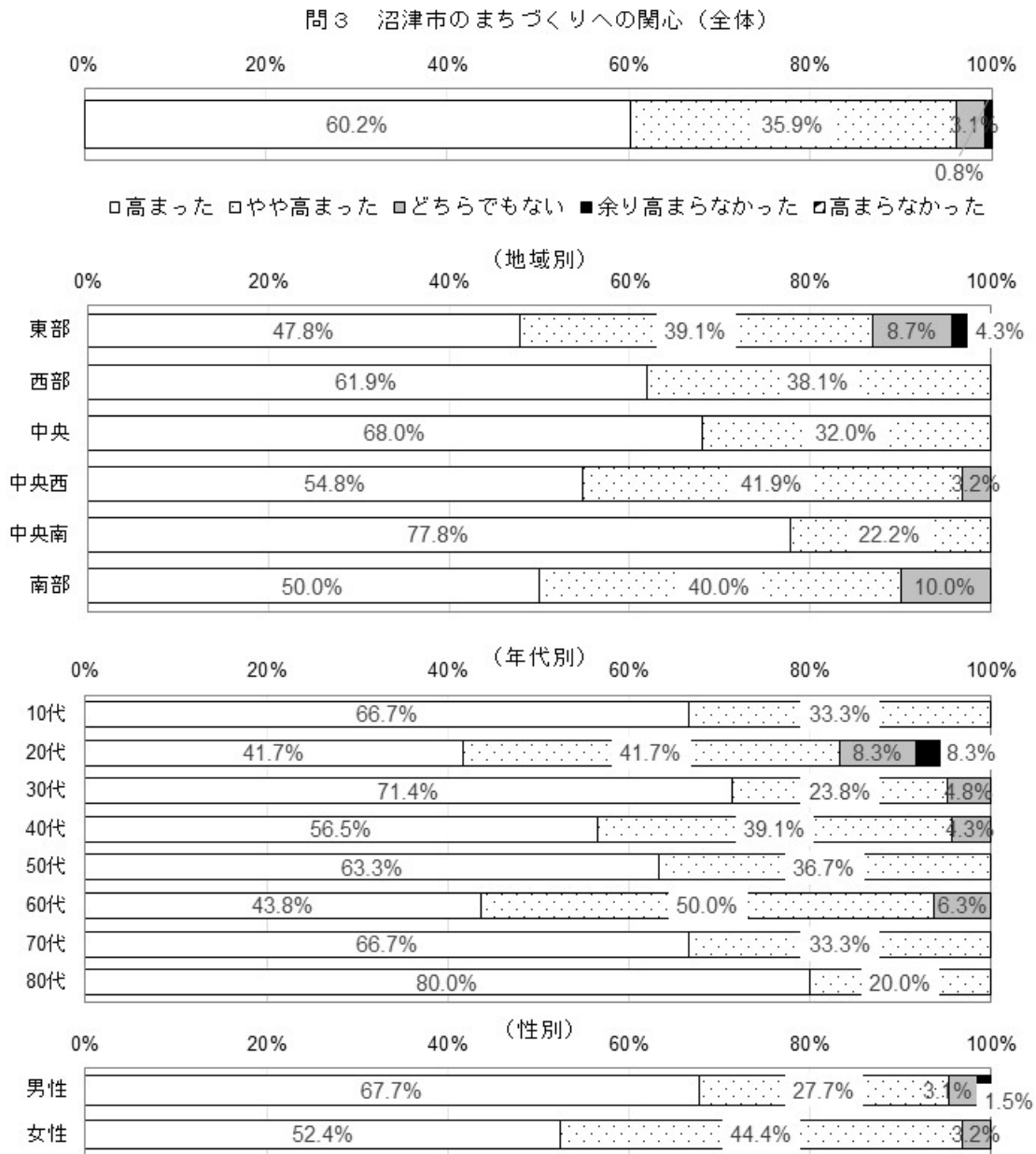


問3 会議に参加して、沼津市のまちづくりへの関心は高まりましたか

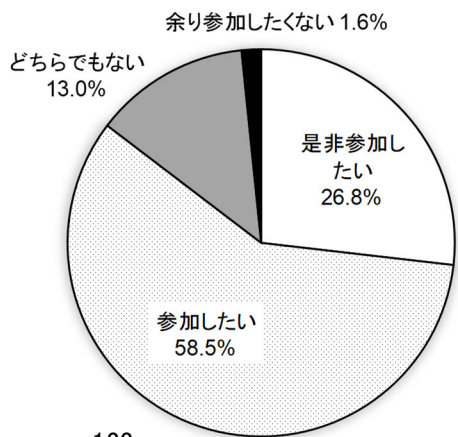


・問2 とほぼ同様な結果であることから、地域、沼津市共にまちづくりに対する関心が高まったことが推測される。

・地域別では、中央南の約 78%、性別では男性の約 68%が「高まった」と回答しており、沼津市のまちづくりへの関心の高さがわかる。



問4 今後、このような会議があれば参加したいと思いますか

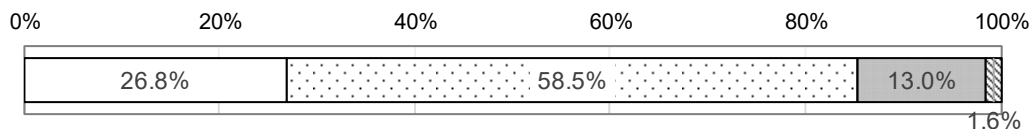


n=123

・「是非参加したい」、「参加したい」と回答したのは、全体の約85%である。特に仕事、育児等で忙しいと思われる30代で「是非参加したい」という意見が多かったことから、まちづくりへの関心の高さがわかる。

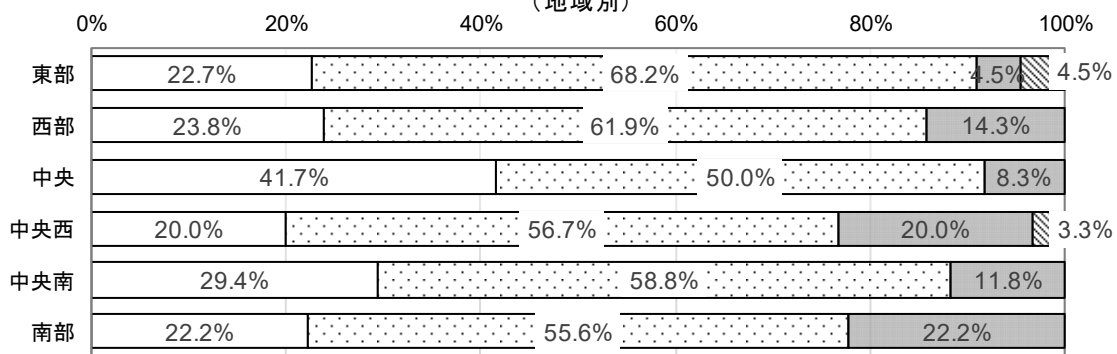
・「参加したくない」と答えた参加者はいなかった。

問4 このような会議があれば参加したい（全体）

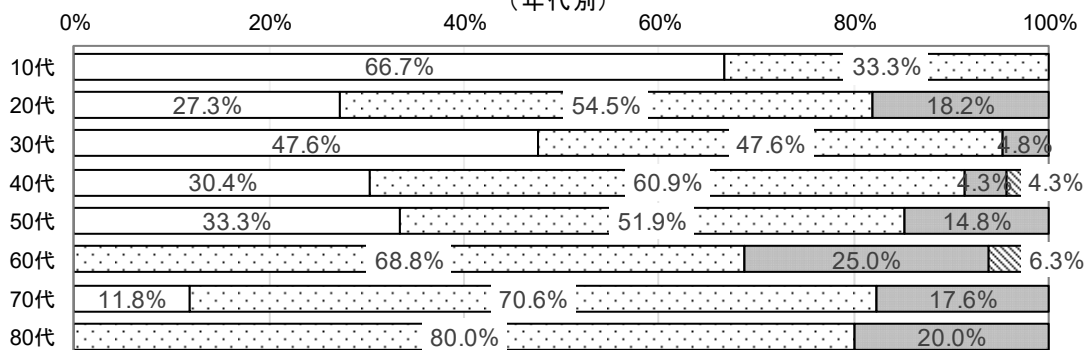


□是非参加したい □参加したい □どちらでもない □余り参加したくない □参加したくない

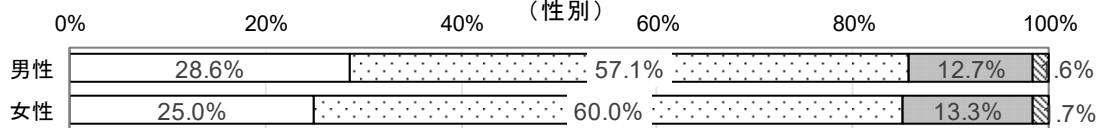
（地域別）



（年代別）



（性別）



問5 このような会議で、話し合ってみたいテーマがあればお書きください

- ・全体的に「沼津市の今後、将来に関するテーマ」が多く、これから沼津市を良くしていきたいという意識の表れと考えられる。特に東部、中央西地域からの意見が多かった。
- ・中央南地域では、「イベント、情報発信に関するテーマ」の意見が多く、沼津の魅力を広く伝えたいと考えている人が多いことと考えられる。また、30、40代からの意見が多くあった。
- ・「防災に関するテーマ」を挙げていたのは30～60代の参加者に多く、災害に関して意識が高いと考えられる。

《沼津市の今後、将来に関するテーマ》

- 沼津市全体の未来構想図。沼津市全体をどう作っていくのか (40代 ・ 男性 ・ 東部)
- 今回のテーマを一步進めた内容のものにも是非参加してみたいと思います。近未来の都市計画(現実的な)。(50代 ・ 女性 ・ 東部)
- 子どもたちが(子育て世代が)好きでいる街。住んでいたい街とは。(沼津のいいところの発見。どうなってほしいか) (30代 ・ 女性 ・ 東部)
- 沼津の今後について (40代 ・ 男性 ・ 東部)
- 具体的にどういったものが必要で、その為の資金調達の方法など (30代 ・ 男性 ・ 東部)
- 沼津の未来予想図 (50代 ・ 男性 ・ 東部)
- これから担っていく若い世代(20～30代前半)が考えられる、話し合えるテーマ (20代 ・ 男性 ・ 東部)
- 沼津市の活性化について (60代 ・ 男性 ・ 東部)
- 沼津市民の幸福度 (50代 ・ 男性 ・ 西部)
- 住みよいまちづくりは勿論ですが、沼津の活性化について (70代 ・ 男性 ・ 西部)
- 自分達で出来る沼津の街づくり (70代 ・ 男性 ・ 中央)
- 沼津活性化 (60代 ・ 男性 ・ 中央)
- 「さんさん沼津」に向かって、具体的な手立て (50代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 若い世代と未来と住みやすい町 (40代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 沼津市全体の方向性の討議(以前の活気を取り戻す形が東京からのベッドタウン化) (50代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 単なる地域の状況や要望でなく、次回は市全体の進む方向、目指す将来、未来を考えてみたい(政治が絡むものを除く)。(60代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 沼津は今後どこへ?どんな街へ?向かうべきなのか? (70代 ・ 男性 ・ 中央南)
- 元気な町 沼津 (70代 ・ 女性 ・ 中央南)
- 沼津の新しい魅力とか、沼津の人々の暮らしの基盤とか?(普段の生活はどんなか?) (30代 ・ 女性 ・ 南部)
- 今後の沼津市のまちづくりについて、詳しく話し合いをしたいです。(20代 ・ 男性 ・ 南部)
- 現在が未来につながる (30代 ・ 女性 ・ 東部)
- 若い世代でのワークショップの開催 (50代 ・ 女性 ・ 中央西)

《地域、コミュニティに関するテーマ》

- テーマ「今後の自治会活動の変化について」(運動会、祭など)。情報や生活の方法が多様化している時代なので、広報や自治会活動も変化しているのではないかと思う。(70代 ・ 男性 ・ 東部)
- みんなの思い出のつまった仲見世商店街やヨーカドーをららぽーとにつぶされない為には?(30代 ・ 男性 ・ 東部)
- 地域の特徴を作る為に何が出来るか (40代 ・ 男性 ・ 東部)
- コミュニティの強みを生かして何が出来るか? (30代 ・ 男性 ・ 東部)
- インフラ面は行政が入らないと進まないが、高齢者の居場所づくり、子育て支援は、地域で始めることができると思うので、具体的にしていきたい。まず地域から実施し、行政でお願いできることがあるので、次の段階で行政と話し合う。(60代 ・ 女性 ・ 西部)
- 沼津市全体もそうですが、地域ごとの発展を目的とするテーマ(各地域でも共通するテーマ) (50代 ・ 女性 ・ 西部)

- 地域の良い所を取り入れられるように、市内全体で意見交換会などはいかがでしょう。(50代 ・ 男性 ・ 西部)
- どうやって行動したら良いか？(私達に出来る事)を地区でやってみる！そしてどうなったか？どうやっていくか？を身近な第一歩を(若い世代が声掛けをするなど)話し合う!! (30代 ・ 女性 ・ 中央)
- 地域の活性化 (30代 ・ 女性 ・ 中央南)
- まちおこしだけがテーマのワークショップは？ (50代 ・ 女性 ・ 東部)

《子育て、教育、福祉に関するテーマ》

- 学童保育の料金の見直しや、兄弟割引などあるのか？定年した人達が子どもの朝と帰りの見張りや見送りができないのか？(学童保育の子にも勉強を教えてもらえないか) (50代 ・ 女性 ・ 東部)
- 会議での意見としては、どうしても「自分が今あること、自分の生活」について出がちですが、いろいろな人(たとえば障害者、高齢者など)が市には住んでいるので、その方も参加して街としてどうあるべきか、どうするべきかを考えていくと、もっと様々な人が暮らしやすいを思います。 (40代 ・ 女性 ・ 東部)
- 障害福祉について (50代 ・ 女性 ・ 西部)
- 生きがい、働きがいって？自分、個人の努力・意欲は勿論ですが、皆と進める具体的方法、施策、事例等があれば。それらを含めて考える場があれば。 (70代 ・ 男性 ・ 西部)
- 共生について。今回のワークショップに参加し「高齢者、子ども」については視点がいきますが、障害者への視点は向きづらいのかと思いました。私自身、発達障害があり、不便、その他感じることはたくさんありますが、自分を障害者と思っていません。様々な特性を持つ方々はたくさんいらっしゃいます。健全者多数の会議ではなく、障害者を持っている方やそのご家族などの割合が多数占める会議を開催し、ひとりひとりが住みやすく過ごしやすいまちづくりを期待します。 (30代 ・ 女性 ・ 西部)
- 女性活用、人材育成、高齢者対策 (70代 ・ 男性 ・ 西部)
- 働く女性の現状について (30代 ・ 女性 ・ 中央)
- 福祉について (30代 ・ 男性 ・ 南部)
- 沼津の子育て支援 (40代 ・ 女性 ・ 中央南)
- あらゆる背景を持つ方が暮らしやすくなるために必要なこと。 (30代 ・ 男性 ・ 東部)

《イベント、情報発信、にぎわいづくりに関するテーマ》

- 地域の「おまつり」について。NUMAZU 自慢フェスタ、はらうまいもんフェスタとか、もっともっと盛り上げられるはず！ (30代 ・ 女性 ・ 西部)
- スポーツ、グルメ、生涯学習など (40代 ・ 女性 ・ 西部)
- 沼津の地域活性化について。産業、特産品のPRについて (40代 ・ 男性 ・ 中央)
- 情報発信力については、市と市民の連携も必要で、更に掘り下げた活動に結び付けたいと思います。 (40代 ・ 男性 ・ 中央)
- イベント(まちおこし) (40代 ・ 男性 ・ 中央)
- 沼津で新しいイベントの企画 (20代 ・ 男性 ・ 中央)
- 住みやすくするにはどのような設備やインフラが必要かは、最も我々にとって死活問題なのですが、誰もが思っていることだと思うので、特筆する事はないです。私は高校生の吹奏楽やマーチングバンド、チアリーディングやバトントワリングなどのイベントを大々的にやってもらいたいです。高校生のパワーは偉大です。プラザヴェルデや文化センターの活用を増やしてほしいし、写真撮影も禁止にせず、むしろコンテストのようなものを作ってみてはどうかと思いました。その他、サブカルチャーのようなイベントももっと増やすのもありかなと。この沼津での経験が若者にとって輝いた記憶になれば、沼津市自体も輝くはずです。 (30代 ・ 女性 ・ 中央)
- 沼津からの情報発信 (60代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 海岸でのイベント (30代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 今回のワークショップでの結果が活かせるのであれば、又、話し合いに参加したいと思っています。次回のテーマを挙げるとしたら、気軽に食べれる三島コロケのようなご当地フードの発掘など (40代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 情報発信にて、ご当地ソングに添えて、沼津ダンシングみたいな踊りを入れたりしたものを作って欲しい。 (60代 ・ 男性 ・ 中央西)

- 観光客を多く呼び込みたい、住民を増やしたいという話が出ているが、そういう客や人に対しての市民のあり方について、考えることがあると思う。沼津市に来て間もなくの頃、駅ビルの店で嫌な思いをしたことが3年経っても心に残っています。 (50代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 沼津のPR(人が住みたくくなるような…人が来たくくなるような…) (40代 ・ 女性 ・ 中央南)
- スポーツ(地区対抗駅伝大会や一般道路を使ったマラソン大会など) (50代 ・ 男性 ・ 中央南)
- 市全体の活性方向(100年の経)ネットワークで実施していると思いますが、情報を広報で出してほしい。 (70代 ・ 男性 ・ 中央南)
- 沼津の魅力UPのために住民が出来ること (50代 ・ 女性 ・ 中央南)
- 観光に関する事 (40代 ・ 女性 ・ 中央南)
- しぼったテーマで話し合いたい「外に発信したい沼津の魅力」「地域活性アイデア会議」 (10代 ・ 男性 ・ 中央南)
- 観光資源を活かす!!市と民間の協力によって儲かる!人が集まる方法! (50代 ・ 男性 ・ 中央)
- 観光資源を利用して、どうやって人を呼び込むか。人口減少が続く今、教育をどう変えていくか。 (10代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 東京オリンピック2020を主にに向けた観光資源のPRについて(もうほぼやってしまったようなものですが) (10代 ・ 女性 ・ 南部)
- 南に片寄りがちな大きな大きいイベントについて (50代 ・ 男性 ・ 東部)
- 沼津から発信出来るものを探そう (40代 ・ 男性 ・ 東部)
- 2020年のオリンピックに向けて、自転車競技が伊豆に来るようなので、沼津にもお客さんに寄ってもらうように…又、西武のようなデパートが、やはりほしいと思います。 (70代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 沼津市全体の歴史遺産の整理、検討する場 (50代 ・ 男性 ・ 中央西)

《人口、雇用に関するテーマ》

- 貧困者がどれくらい存在して、生活を改善するには?貧困者で希望する人、それ以外の方で改善提案をする。貧困者が減ると税金の用途が減り、地域もより活性すると思う。 (20代 ・ 男性 ・ 東部)
- 少子高齢化に対応した課題等 (80代 ・ 男性 ・ 東部)
- どうしたら人・企業が集まるか (30代 ・ 女性 ・ 西部)
- 沼津市の人口減少について。どうしたら人口増になるのか考えてみたい。 (60代 ・ 女性 ・ 西部)
- 人口減少について (80代 ・ 男性 ・ 西部)
- 企業への支援など (20代 ・ 女性 ・ 中央)
- 若者がいないこと。人口減少。 (20代 ・ 女性 ・ 中央)
- 人口増加 (60代 ・ 男性 ・ 中央)
- 少子高齢化対策 (50代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 「自然環境を生かす」「社会環境を造る」が融合した人口密度が上がる市 (70代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 少子化と人口減少 (70代 ・ 男性 ・ 中央西)
- どうしたら出ていった人たちが戻ってくるか。沼津に人を集めるにはどうしたら良いか。 (40代 ・ 女性 ・ 中央南)
- 少子高齢化対策(本当に成長が必要か?“間”の時代なのかな) (40代 ・ 男性 ・ 南部)
- 沼津の人口は増えた方がor 増えない方が良い、望ましいのか? (70代 ・ 男性 ・ 中央南)
- どういう受け入れ体制があると、より様々な背景を持った人たちに定着していただけるか? (30代 ・ 男性 ・ 東部)
- 雇用対策 (50代 ・ 男性 ・ 東部)
- 若者が住み続けていくためには?というテーマ(小中高生に意見を聞く)参加者は若者中心で。 (30代 ・ 女性 ・ 中央西)

《道路、インフラ整備に関するテーマ》

- 空家、空地対策 (50代 ・ 男性 ・ 東部)
- インフラ整備 (40代 ・ 男性 ・ 東部)
- 沼津市には新幹線、がんセンター誘致の話があったが、全部三島市、長泉町に取られた。市議会で決めていることが理解できない。市民と話し合うことが出来ないのか? (80代 ・ 男性 ・ 東部)
- ①駅前開発、併せて高架事業について、②仮想テーマ(駅のドーム化) (50代 ・ 男性 ・ 東部)
- 空家問題について (30代 ・ 女性 ・ 西部)
- 広い公園の整備 (60代 ・ 女性 ・ 西部)

- 高架後の空き地利用について (30代 ・ 男性 ・ 中央)
- 空き店舗利用について (80代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 道路工事の事業について (毎日通勤で使う国道 246 号線等) (20代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 沼津駅前周辺の活性化 (一般車の駐停車の拡大、公共施設の充実など) (70代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 道路環境 (50代 ・ 女性 ・ 中央南)
- 沼津市中心部の開発 (アスルクラロのスタジアムを中心部にして、スタジアムのテナントに周辺の商店を入れるなどして中心部を開発してみてもいいか?) 高校が遠い (中心部に近ければ、中心部の商店が賑わうのではないかな?) 駅高架は中心部のみに関係しないか? 渋滞は一時的である。 (40代 ・ 男性 ・ 中央南)
- 沼津の環境整備 (自然環境の有効活用) (40代 ・ 女性 ・ 中央南)

《防災に関するテーマ》

- 大地震が起きた時の具体的な行動 (水、食糧、トイレなど) (50代 ・ 女性 ・ 西部)
- 東海地震に特化した「地域防災対策」についての討議 (40代 ・ 男性 ・ 西部)
- 防災とまちづくり (60代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 震災と高齢化について (40代 ・ 女性 ・ 南部)
- 沼津市の災害対策 (海岸線が長いので) (40代 ・ 男性 ・ 中央南)

《その他》

- 沼津の財政 (50代 ・ 男性 ・ 西部)
- 特にありません。 (70代 ・ 男性 ・ 中央)
- 今回話したことについて、さらに、実践できる話し合いを期待しています。傾聴し合うことが大切ですね。 (40代 ・ 女性 ・ 中央)
- 年代別に意見の違いを感じました。年代別の会議ならば、もう少しまとまるのでは…と思います。(年代別に思うテーマ→子育て世代、若者や高齢の方など) (50代 ・ 女性 ・ 中央)
- 市が推進しているが進みにくい事、うまくいかない問題などを、市民としてどのように協力できるか、市民で解決できる方法を話し合うなど。 (50代 ・ 女性 ・ 中央)
- 今回は大きなくくりだったと思うので、ピンポイントでテーマを決めてみるのもいいと思います。3 回目の会で、ポイントポイントがつながらなく、つじつまが合っていないという方の意見があったりして、まとめる進行側の皆さんも大変だと思います。 (40代 ・ 男性 ・ 中央)
- 行政への要望だけでなく、行政からの希望も訴える場所があってもいいと思います。 (60代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 小分類のテーマが良いと思います。・交通について・医療について・ゴミ問題について・人口について・税収(市の財政)について・観光について (30代 ・ 男性 ・ 中央西)
- 人“財”活用・ボランティア、NPO 立ち上げ、官民共同事業など (50代 ・ 女性 ・ 中央西)
- 市民として、希望、リクエストばかりでなく、税金を納める以外の自分たちがやるべき事と、その結果どう自分たちにフィードバックされるか等 (40代 ・ 男性 ・ 南部)

問6 会議への感想をご自由にお書きください

- ・全体的に「まちづくりの関心が高まった」、「様々な年代の意見が聞けて良かった」「とても勉強になった」といった肯定的な意見が多くみられた。
- ・70代の参加者から、「若い世代をワークショップに入れた方が良い」という意見が多く見られた。
- ・「自ら行動していきたい」、「沼津のことを考えるきっかけになった」という意見が見られたことからこのワークショップが、まちづくりへの関心向上につながっていると考えられる。

《会議に関する感想》

- 皆さんいろんなことを知っていて、すばらしい方ばかりでした。 (50代・女性・東部)
- 今回、ワークショップに参加させていただき、日常生活を通して地域を改めて考える機会が出来、自分自身も大変勉強になりました。また、色々な方々とコミュニケーションが出来ましたことも良い経験でした。 (70代・男性・東部)
- このようなことがなかなかないので、参加できていろんな情報が知れてよかったです。ありがとうございました。 (20代・女性・東部)
- 皆さん大変に熱心で勉強になりました。沼津愛が伝わりました。 (50代・女性・東部)
- QCサークル活動を思い出す！ (80代・男性・東部)
- 参加してみて、地域の現状を知ることが出来ました。 (50代・男性・東部)
- ワorkshopに参加して、改めて沼津を見つめ直すことができた。 (20代・男性・東部)
- 勉強になった。 (50代・男性・東部)
- なかなか難しいことがありましたが、参加して良かったです。ご配慮ありがとうございました。 (30代・女性・西部)
- 色々と勉強させていただきました。ありがとうございました。 (50代・男性・西部)
- 地域への勉強ができました。ありがとうございました。 (60代・女性・西部)
- 思っていた以上にとてもためになる会議に参加して、本当によかったと思います。 (20代・女性・中央)
- 参加者の色々な意見を聞いて、勉強になりました。 (50代・男性・中央)
- 76歳の私でも、よく内容がわかりました。職員の方も一生懸命にやって下さり、とても安心して話も聞けました。ありがとうございました。 (70代・女性・中央西)
- 一部ではありますが市民の声が聞こえました。 (80代・女性・中央西)
- 参加して、色々な方の意見を聞いて良かった。 (50代・男性・中央西)
- 参加させていただき、ありがとうございました。今後とも市民として宜しくお願い致します。 (20代・男性・中央西)
- いろいろな年代の人の話が聞けて、とてもよかったです。若い人の話を聞いて、世界が広がった気がしました。 (70代・女性・中央南)
- 他の地域の方の意見を聞くことができ、とても良かった。 (50代・男性・中央南)
- 私自身77歳で、久しぶりの会議だったので、びっくりドキドキ。ほとんど役に立たずに申し訳ない！ゴメン!! (70代・男性・中央南)
- 市の職員と一緒に参加して下さり、私のような高齢者が参加し、会話ができたことが良かった。 (70代・女性・中央南)
- わかりやすく、良い時間を過ごすことができました。 (40代・女性・南部)
- 様々な意見、考えを聞ける機会になり、とても勉強になりました。 (30代・男性・南部)
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。 (40代・男性・南部)
- いろいろな意見が聞けて良かった。皆さんが沼津の発展について真剣に考え、鉄道高架問題や災害、防災、高齢化、観光問題等、道路整備… (80代・女性・中央西)
- 他の地域に比べ、片浜地区の住民は、こうした問題について関心がないと思った。 (60代・男性・中央西)
- 仲間意識が高まって大変良かった。 (60代・男性・中央西)
- 沼津市民、捨てたもんじゃない！こんなに一所懸命地元を考えている人達がいる。照れずに、もっともっと発信“沼津のいいところ” (60代・女性・中央西)
- 様々な意見があり、参考になりました。その中で一番欠けているものは、情報発信であることに気づかされました。 (50代・男性・中央西)
- 今住んでいる場所が、そんなところで、普段地域のことなど何も考えてこなかったもので、今回改めて、自分の住んでいる場所、育ったこと、自分のことを見 (30代・女性・中央西)

つめ直すきっかけになってよかったなと思いました。いろいろな意見が出ましたけど、総合的に住みやすいところだと改めて感じました。

- 世代間の差はあっても、沼津を思う気持ちは変わらないということを強く感じました。沼津に明るい芽もあるのだと思いました。(60代・男性・中央西)
- 皆さんおっしゃっていましたが、今までここまで沼津のことを考えたことがなかったの、このような機会をいただき、ありがとうございました。参加させていただき、改めて沼津のことを知ることができて良かったです。(40代・女性・中央南)
- 自分の居住地域だけでなく、近隣地域の方の話を聞くことができ、同じ沼津に住む者の意見、悩みを聞くことができて良かったです。是非、未来の沼津市を明るいものにしたいと思います。(50代・女性・中央南)
- 地域の見直しをするのに良い機会でした。又、他の人の考え、意見が聞けて良かった。特に若い人の意見が新鮮で良かった。共有する意見等が他地域でもあることに気が付いた。(60代・男性・中央南)
- 色々な地域の方々と意見交換ができ、情報を知ることができました。有意義な時間でした。普段の生活で体験できないような会議に参加でき、本当に良かったです。ありがとうございました。(30代・女性・中央南)
- 皆さんがしっかりとした意見や考えがあることを知れて良かったです。別地区も方々も同じような悩みを持っていました。(50代・女性・中央南)
- 今まで沼津に住んでいてもわからない事を、いろいろと知ることが出来良かったです。(もう少し沼津、自分の住んでいる所を知っていれば良かったと思いました。)(70代・女性・中央南)
- 他の地区や地域のこと、沼津のことをより知り、よく考えるきっかけになり、とても良い経験になりました。このような会議によって多くの視点で、沼津を見ることができた。(10代・男性・中央南)
- 今回このような機会に参加できてよかったと思います。正直なところ、沼津の人たちが沼津をどう思っているか知りたかったので、様々な意見が聞けて良かったです。(20代・女性・中央)
- 参加者は、皆沼津が大好きであることを感じました。沼津愛を感じたこの会議は、楽しかったです。(50代・男性・中央)
- 貴重な経験をありがとうございました。沼津に興味が湧きました！(20代・男性・中央)
- 地域の特色がよくわかり、地元を見る目もより一層ウキウキとするものになりました。ありがとうございました。(30代・女性・東部)
- 市民の1人として意見や要望を発言する機会がもてて、ありがたかったです。いろいろな人の意見が聞けて、若い人のSNS発信とかクラウドファンディングとか聞いて明るい未来への可能性を感じました。東部地区への関心がなかったが、今日の発表を聞いて良かった。沼津全体として見る視野が広がって、良い機会になりました。ありがとうございました。(50代・女性・東部)
- 自分の住んでいる地域以外のいいところ、不安なところがわかりました。困っているのは、どこの地区の方も一緒だと思います。(60代・女性・東部)
- もっともっと議論したかったです。ありがとうございました。(70代・男性・中央西)
- 人がたくさん寄れば、意見がぶつかることもあると思います。お互いに(私は)良いイメージをもって対話をすれば、より人間関係も深まるし、良いものが出来上がると思います。今回参加させていただき勉強になりました。(40代・女性・中央)
- 地域と住まいにより感想、意見が異なり、取りまとめに苦労があったと思う。(70代・男性・中央西)
- 他地域のことも知りたいです。(30代・男性・中央)

《会議の参加者の選定について》

- 普通なかなか話を聞くことができない世代の意見を聞くことができました。若い人達でも、もっと沼津をよくしたいと思っている人もいると知れました。高校生や大学生など未来につながる意見を聞きたいと思いました。温故知新。(30代・女性・東部)
- 参加頂いた市民の生活体によって、環境も生活水準もまちまちです。どのような方が参加されたかは不明ですが、貧富の差が広がらないようにして頂きたいです。今回の打ち合わせで上がった困りごとは、一部であることを認識しなくてはならないと感じました。(20代・男性・東部)
- 大変勉強になり、家に帰りノートに書き込んでいます。同じ地区から2~3人出すのではなく、他地区から出してもらえれば良いと思う。(70代・女性・南部)
- 地区ごと集まっても沼津市はどの地区も全部同じような意見で時間の無駄なので、年齢層ごと集まって話し合った方が良いのではと思いました。最後にいろいろな年齢層が集まって話あった方が良いと思います。(40代・男性・東部)

- 今回は良かったですが、年齢別（世代別）での討論会があればと思います。（テーマをそれぞれ決めて）（ 70代・男性・西部 ）
- 中高生の参加の会合を行なって、若い人達の考えを聞く会を開いても良いかと思ひます。（ 70代・男性・中央 ）
- 高校生（18歳、選挙にも参加していただけるので）にもこのような開催があれば、参加をお願いしたらどうか。（ 70代・男性・中央西 ）
- 若い方の参加者が少ない事が残念でした。広く意見を求める場なので、参加者の年齢構成がバランス良くなるように調整してもいいと思ひます。・各校区、各地域からたくさんの課題が出てきました。全てではありませんが、行政にしか対応できない課題については1つ1つ確実に解決してほしいと思ひます。必ず沼津は良くなっていくと思ひます。市長を始め、市役所職員の方々においてはこの後が大事だと思ひます。よろしくお願ひします。（ 30代・男性・中央西 ）
- 年齢をもう少し下げて、中高生も話し合いの場に参加出来たらと思ひています。（ 40代・女性・中央西 ）
- 参加者の年齢層（20～80代）をバランス良くした方が、尚、多くの意見交換ができると思ひます。（ 70代・女性・中央西 ）
- それぞれの地域、年齢などで困りごとが個人的に違ふので、年齢別他での開催を願う（特に若い世代）。市長の意見が聞けて良かったです。（ 50代・女性・中央西 ）
- 目的をしっかりとる事と、参加者の選別（地区割の人数、年齢分布等）をもう少し検討してほしいかった。（ 70代・男性・中央南 ）
- 人の選考をするにあたり、もっと若い方を入れたいと思ふ。（ 70代・女性・南部 ）

《進行、ファシリテーターについて》

- ファシリテーターの方の進め方（まとめ方）がとても上手で感心しました。自分の意見が少しでも反映されればと思ひて、毎回参加しました。振り返るともっと斬新なアイデアも出せたかと思ひます。こうしたアイデアを集約できる場（現代版目安箱みたい？）があると、行政側の視点に留まらない施策ができるかも…（既にあつたのならすみません）。（ 50代・女性・中央西 ）
- 進行の方がとても優しく、安心した気持ちになりました。（ 40代・女性・東部 ）
- 司会が上手でスムーズな進行、見事でした。（ 70代・男性・中央 ）
- 議事進行はさすがに上手ですね。（ 50代・女性・中央南 ）
- 担当スタッフの皆様、お疲れ様でした。ファシリテーターは大変そうです。お疲れ様でした。（ 40代・男性・南部 ）
- グループディスカッションでの進行は良かったと思ふが、今回に関しては、テーマが大きすぎる為、時間等に課題があるように感じました。地域の色々な意見が聞けた事は非常に貴重な経験になりました。ありがとうございました。（ 40代・男性・中央 ）
- 会議のタイムマネジメントを考えてほしい。参加者の中に話し足りない方もいたと思ひます。公平に機会を設けてほしい。第三回はプレゼンに力を入れていたが、もっと自由に意見交換できる場を設定しても良かったのではないだろうか？（ 40代・男性・東部 ）
- 会議全体の流れや、何を決めるかなどのその日のゴールを明確に伝えていただければ、スムーズな会議、運営になると思ひます。又、終了時間は、様々な人が集まっているので、きちんと守るべきだと思ひます。（ 40代・男性・中央 ）
- プレーンストーミングはベストだと思ふが、時間が足りない、倍はほしい。（ 60代・男性・中央 ）
- 1人の方の意見ばかりが強調されてしまい、少し残念に思つた（第3回）。第1、2回は、自分の意見を付箋に書いて貼るシステムがとても良く、言いにくいことも書くことで上手に伝えられたと思ふ。市長へのプレゼンテーションは、市長がうなずかれた姿を見て、とてもうれしく思つた。このような会議に参加させて頂き感謝です。ありがとうございました。（ 50代・女性・中央 ）
- データベースの議論ができる良かった。（ 60代・男性・中央 ）
- 故郷へUターンしてきた身としましては、沼津の人達とお話できて、まず楽しかったです。SNS等を見てこういったワークショップのイベントというのが毎週のように行われていて、自分が思っていたより、沼津はものすごく活気があり、これは都市部ではまず無かつたことなので、とても良い長所というか、強みだと思ひます。普通に生活していても地域の人達と知り合う事も話す事もないですし、もっと気軽な座談会等があるといいと思ひますし、活性にもつながると思ひます。あと会場で聞かれることを事前に教えてもらっていたら、宿題として上手くまとめてじっくり考えられたのになと思ひます。（ 40代・男性・中央 ）

- ファシリテーターの方が上手に進行をコントロールできた回、コントロールが上手くなかった回がありました。人、組合せなどもあるとは思いますが、ファシリテーターの方々のボトムアップをすると良いと思います。(30代・男性・中央西)
- 会議の会場はなるべく公共交通機関の利用できる所、駅から近い所なら参加者が増えるのではないかと。(40代・男性・中央南)
- 子どもの居る人や、土日に仕事をしている人が多いので、その所をもう少し考えて日程を決めてもらえれば、参加者が増えると思う。(子どもは会議の間、預ける所がないので、預けられれば良いな) 時間的にも10時〜とかのがいいかな？(30代・女性・南部)
- 第3回の校区別会議の他の校区との距離が近過ぎて、聞き取りづらかった。プレゼンテーションをするのに、ポインターがあった方が良かったと思った。パワーポイントの資料の字が細かくて少し見づらかった(手元の資料を見ながら確認した)。(30代・女性・南部)
- 小人数のファシリテートは良かったと思います。その中で発表者を決めることで指名し合うことは避けたいと思った。子ども達が触れあえるスポーツイベントを増やしてほしい。(40代・男性・東部)

《会議の継続について》

- 頼重市長さんに替わり、沼津がとても良い方向に変わり始め、今回も住民の声をこのように拾って下さる機会を設けて下さって感謝しています。ですが、沼津市は昔からの問題・課題を多く抱えていて、一度にすべての減らしていくことは、たいへんです。私共は、普段、昼間都内で仕事をしており、マクロな立場で沼津にお役に立てる人やことを多少ご紹介などすることができると思います。ですので、また少人数でも意見を拾っていただける様な機会作っていただければと思いました。(50代・女性・中央西)
- 私は年齢が多く、この会議に参加して若い人の意見を聞くことが出来たのは、大変に嬉しい。このような会議を多く開くことが、沼津の未来志向につながると思います。(80代・男性・東部)
- 自分の住んでいる地域、それ以外の地域について知ることができ、東部地域(金岡地区)は住みやすい街であることがわかりました。職員が市長を“さん”付けするのはおかしいのでは？終わってしまうのが淋しい。他地域の話聞いてみたい。(50代・男性・東部)
- このような会議がもう少しあればと思います。(40代・男性・中央西)
- 市会の話し合いの他の一般市民の地域デザインワークショップは、話し合いの場を作っていただき、今後も毎年行なってください。(60代・男性・中央西)
- 「各校区→地区」という議論の進め方は、地域の全体像をとらえるにはよいが、深い掘り下げがしづらくなる面があると思われます。「自治会を介さずに」市長への要望、思いを伝えられるというところは、この会議の一つのポイントだと思います。その点を活かし、より校区単位にフォーカスした具体的な議論ができるとより良いと思います。3日間ありがとうございました。(20代・男性・中央南)
- 沼津市の発展向上のため、ポイントをまとめて次回につながればと思います。(80代・男性・西部)

《市長へのプレゼンテーションについて》

- 市長の丁寧なご回答に心から感謝します。(70代・男性・東部)
- 市長さんに直接お話しできる機会はなかなかないと思いますので、貴重な体験となりました。ありがとうございました。(30代・女性・東部)
- 市長との直接対話 Good (50代・男性・西部)
- 地域愛が強い方が多く参加されていたため、さまざまな意見があり、楽しく参加できました。市長の直接のコメントを聞くことができたことも、市長の人となりを感じて本当によかったと思います。ありがとうございました。(50代・女性・中央)
- 毎回、この話し合いって意味があるのかな？と思っていました。市長が真剣に聞いて下さったので、参加して良かったと思いました。(30代・女性・中央)
- 面白い人がたくさんいて、楽しかったです。市長さんから沼津を変えていきたいという熱量を感じて、期待も増してわくわくしました。また、こういうのを開催してもらいたいです。(10代・男性・中央西)
- 自分の住んでいる地域の課題点を見て、改善点や未来を捉えた今後の方向性などを、多世代に渡って話し合いができたことがとても良かった。また、それを市長に向けてプレゼンテーションできたのもいい機会だった。(10代・女性・南部)
- 多くの方が市のあり方に関心を持っているということが素晴らしいと思う。市長を始め、発言する人が早口で聞き取りにくかった。高齢の方もいるので、ゆ

っくり話してほしい。モニターは文字が小さくて見えないのでいらなと思う。会場は明るい方が良い。

《今後の市の取り組みへの期待》

- この3回の会議が終わってからが本番だと思います。貴重な休みをつぶして参加した多くの方々の”沼津愛”を一つでも多く1年以内に形にしてください。それは口で形にするのではなく、行動と結果で形にすることを願っています。一燈照隅万燈照国。この会議で生まれた沼津愛の数々をたくさんの人たちに繋げて、課題解決し、沼津をもっともっと明るく照らせる魅力ある市にしてください。派手さはいらないので地味に住みたくなる無難な市にしてください。何もしなければ1年で灯は消えると思うので。(30代・男性・東部)
- 1つ1つ実現して頂きたい。(50代・男性・東部)
- この会議がどのくらい役に立ったか、3年後位に検証することも必要だと思った。(60代・男性・東部)
- 非常に多種多様な意見が出た事は良い事だと思います。是非、意見を参考にさせていただきたいと思います。(40代・男性・東部)
- 今回のように市民が直接意見を言える場があるのは、とても良い事だと思います。年齢も様々で古くから住んでいる方の意見も伺うことができ、居住年数の浅い自分には勉強になることが多かったです。今後は出た意見を実現していただければ幸いです。こういう活動は、是非継続していただきたいと思います。(40代・女性・東部)
- 一般の市民の意見が、市のまちづくりに実際に反映されるとうれしいです。(この時だけの「市民の声」になりませんように)ありがとうございました。(30代・女性・東部)
- デザインワークショップに参加させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。ぜひ、今回のこの会議の内容(良い方向性)が目に見え形で見える形で実現してほしいです。(50代・男性・東部)
- 一般市民の小さな意見を1つ1つ取り込み、貴重な税金や資金をうまく使い、沼津市が今までよりも住みやすくなり、子どもたちの未来を託せる街にしてください(なるといいです)。市長さんが短時間でしか対応した返答を頂いて、とてもよかったです。東部、西部地域のことも考えてくださっていることがわかりよかったです。沼津の子守歌のことがでて、それにもお答えを頂き素晴らしいと思いました。(50代・女性・西部)
- 今回の地域の声が早期に反映され「やっぱり参加して良かった」と思えるよう、活動の推進を期待しております。(40代・男性・西部)
- 6年ぶりに沼津に戻ってきて、人通りの少なさ、シャッター通りなど、自分が思う問題点が、多くの方と共有でき良かったです。今回、皆で出しあった要望が、実現できるようになって欲しいです。(20代・女性・中央)
- 今回の結果が、市政に対して何がどう反映されたかを、具体的な報告の機会を設けて欲しい。やりっぱなし、やって満足では、税金のムダ遣い。(30代・男性・中央)
- 私がこの会議に参加したきっかけは、私の中で「住みたい街No.1=沼津」になればいいなという思いからでした。この会議を通して、地元大平のこと、沼津中央南地区のことに関心が高まり、自分にもできることや、やらなければいけないことがあることを実感しました。私たちひとりひとりの市民が、小さなことかもしれませんが、できることはやりたいと思います。ただ、市民レベルでは限界がありますので、どうか沼津市行政の力で「よりよい沼津」を目指していただきたいと思います。(40代・女性・中央南)
- デザインワークショップの後に、どのように沼津を企画、設計していくのが重要だと思います。(60代・男性・南部)
- 是非、今回の我々の意見を現実化するよう、行政の努力よりも結果を楽しみに期待しております。(50代・女性・東部)
- この会議がどのように生かされ、前回の実績がどの程度のものだったかを知りたかった。1円でも税金を使っているのであれば、結果を求めます。(30代・男性・東部)
- 色々な地域の意見が聞けて、やはり不便な所はだいたい同じだった。良い所はこれからも伸ばしていき、改善する点は早急に解決してほしい。せっかく市民の意見を聞いても何も変わらないのなら、このようなワークショップは意味がないと思う。目に見える形で反映させてほしい。小さい子どもだけでなく、小中高生への補助を厚くしてほしい。小さい子より大きくなってからの方が、お金も時間もかかる。そこを補助できたら目玉になると思う。(30代・女性・中央西)

- 年齢問わず、いろいろな世代からの話が聞けて良かった。個人でいろんな想い!!があるのがよく分かり、ただその要望の実現が一般市民の力ではどうにもならないことがたくさんあるので、行政の力を発揮してこれから頑張りたい。(50代・女性・中央西)

《今後の自らの行動について》

- 今まで知らなかったことがいっぱいあって、最近、身近なところへの目配りや情報収集を心掛けるようになった。(70代・男性・東部)
- 毎回参加が楽しみでした。(緊張とワクワクで)興奮気味で帰宅していました。一方、私達が話し合っている旨は本当に届くのであろうか?という不安もありました。今日は特に濃い内容の話し合いでした。市長さんからの誠実な返答を聞いて安心しました。それでも、このようなワークショップに参加して地域を知ろう!と、3カ月間私自身が受け身ではなく行動するようになったので、世代、地域に分けてでも、一緒でもこのような会を開催していただく事が、人の心、人を動かすと感じました。ありがとうございました。(30代・女性・中央)
- 市長へのプレゼンまでしたということで、これがどこまで反映されるか、どのように変わっていくか楽しみです。皆がどんな意見を持っているかを知ることができました。これから、地域、沼津を”意識”して生活していきます。イベント、ボランティア等があれば参加します。鉄道高架のお話、初めて賛成してもいいかもと思いましたが、完成はいつ?その前に整備することがあるのではと思いました。(50代・女性・中央)
- 問題点や課題は明確になってきていると思います。一市民として解決につながる行動をしていきたいと思っています。(40代・男性・中央)
- 当たり前のことですが、同地区、同地域の中でも、様々な思い、考え、悩みがあるということ、改めて感じました。住んでいるところ、身の回りのこと、環境・人・もの・ことについての良さや課題を再認識できる良い機会となりました。今日は中央地域の話も聞けたので、沼津中心市街地のもつ課題についても気付きました。生まれて学生時代まで第五地区で育ちましたので、昔を懐かしくも思いました。駅北口、南口のにぎわい、中央ガード(あまねガード)をこえたお街の活気・楽しさを今も覚えています。ふるさと「ぬまづ」への思いをこれからも大切に、未来の「ぬまづ」に自分ができることを探していきたいです。来春、東京の大学を卒業して、沼津に戻ってこようと考えている娘にも、この会議で得たことを伝えたいと思いました。ありがとうございました。(50代・女性・中央西)
- 退職して3年経つわけですが、沼津で働きたくになりました。参加したことでコミュニケーションがとれた、これだけでも私には進歩。良いまちづくりをよろしく願います。ありがとうございました。(60代・女性・中央西)
- この会議の内容(意見、情報等)を地元自治会活動で使用、参考にさせていただきます。(60代・男性・中央西)
- 市民の方と真剣に、町の向上の為の話し合いに参加できて良かったと思います。これから心がけて良いまちづくりに協力していきます。(70代・女性・中央南)
- 沼津市が良くなって欲しいと願っているメンバーと3回にわたり、会議に参加できて大変嬉しく思っています。皆の思いはひとつ。沼津が元気になって欲しい事です。私の出来る限りはお手伝いさせていただきます。住んでいて良かったと胸を張れる街づくりにしたいです。(40代・女性・中央南)
- 21年間住んでいて、真剣に地域について考える機会はなかったので良い経験になりました。同じ地域に住むいろいろな世代の方と意見を交わしていく中で、改めて沼津のいいところだったり、不便なところだったりと再発見ができたと思います。より良い沼津のために、少しでも役に立てたら嬉しいです。(20代・女性・中央)
- 地域のまちづくりの案が出たので、まず地域でできる事が具体的になるように、地域の自治会に報告することができたら良いと思う。市長の考えが直接聞くことができ、本当に良かったです。是非、夢を実現させましょう。(60代・女性・東部)
- ・様々な背景を持つ方と議論が出来て、非常に刺激になりました。次はもう少し枠を広げた活動になると、未来志向でいいかもしれません(海外の方とか、障害を持つ方など)。
・この会議で話したことを契機に、具体的な地域の取り組みにつなげていけると楽しくなりそうだなと思いました。(市と市民が共同にやる方がベスト?市はサポートメインで…)(30代・男性・東部)
- 様々な立場からご意見を伺うことができ、とても勉強になりました。一見相反するようなことを言っている、ゴールは今住んでいる沼津をどう良くするかなので、市民の皆さんがどれだけ本気で住みやすいまちにしたいと望んでいることが分かりました。機会があれば、また参加したいですし、私自身が沼津に

対して何ができるか、よく考えながら実行しようと思います。貴重な体験をありがとうございました。

質問があります。（市役所に対してで、今回にあまり関係ないですが）外国人に日本語を教えるボランティアや、生活上困っていることの手助けをしてあげるには、どのような場所に問合せれば良いですか？私の住んでいる地域は外国人がとても多く、文化の違いから細かいトラブルになる時もあります。それは、彼らがどうしたらいいかわからないからだと思うのです。

《その他》

- 3回とも赤ちゃんを連れて参加できるよう、部屋等を用意して頂きありがとうございました。沼津の現状やみなさんの意見を聞くことができ、とても良い体験ができました。課題も多いと思いますが、頑張ってください。個人的には音楽が気軽にできる場所がもっと欲しいです。 (30代・女性・東部)
- 地域の現状や長所、短所、課題や自慢したいところなど自分1人では届かない範囲まで考えることができる良い機会でした。意見交換で言えなかったことは、絵に描いてポストカードにしたり、アクセサリーを作ってイベントやフリマへ参加し販売しているのですが、マルシェなどが少なく、富士、清水、静岡、東京のイベントへよく行っています。沼津の絵描き仲間たちとよく「沼津で気軽に参加できるマルシェがあったらいいね」と話しています。スポーツに力を入れているとのことでしたので、後回しになってしまうかもしれませんが…沼津で絵を描きたいです！よろしく願いいたします。 (20代・女性・東部)

